

西都市こころの健康に関する意識調査

集計結果

令和 5 年 11 月

西都市

目 次

I 調査の概要

II 回答者の属性

III 調査の結果

1. 悩みやストレスなどに関することについて

- 問 6 現在の自分の「からだ」の健康状態について
- 問 7 現在の自分の「こころ」の健康状態について
- 問 8 心の健康の度合い(K6 得点)
- 問 9 あなたの不満や悩みやつらい気持ちを受け止め、耳を傾けてくれる人
- 問 10 誰かに相談したり、助けを求めたりすること
- 問 11 悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由
- 問 12 日常生活での悩みやストレスを解消するために、よく行うこと

2. うつ病や自殺などに関することについて

- 問 13 「うつ病のサイン」について
- 問 14 「うつ病のサイン」が続くときの医療機関への受診
- 問 15 「うつ病のサイン」が続くときの医療機関への受診の理由
- 問 16 家族など身近な人の「うつ病のサイン」に気づいた時の反応
- 問 17 身近な人の「うつ病のサイン」に気づいた時の対応の理由
- 問 18 周りで自殺をした方の有無
- 問 19 自殺をした方との関係
- 問 20 身近な方を亡くした時の公的な相談機関や民間団体の支援の利用状況
- 問 21 自殺に対する考え
- 問 22 身近な人から「死にたい」と打ち明けられたときの対応
- 問 23 これまでの人生の中で、本気で自殺したいと考えたことの有無
- 問 24 本気で自殺したいと考えた要因
- 問 25 自殺を思いとどまった理由
- 問 26 自殺未遂の経験の有無
- 問 27 こころの悩みの相談先の情報の入手方法
- 問 28 こころの悩みの相談窓口の認知度
- 問 29 今後、必要と思われる自殺対策
- 問 30 今後、必要と思われる子供・若者向けの自殺対策
- 問 31 今後、必要と思われる女性向けの自殺対策
- 問 32 今後、必要と思われる 60 歳以上の方向けの自殺対策

3. 新型コロナウイルス感染症による影響について

問 33 新型コロナウイルス感染症がこころの健康状態に及ぼした影響の有無

問 34 新型コロナウイルス感染症がこころの健康状態に及ぼした影響の要因

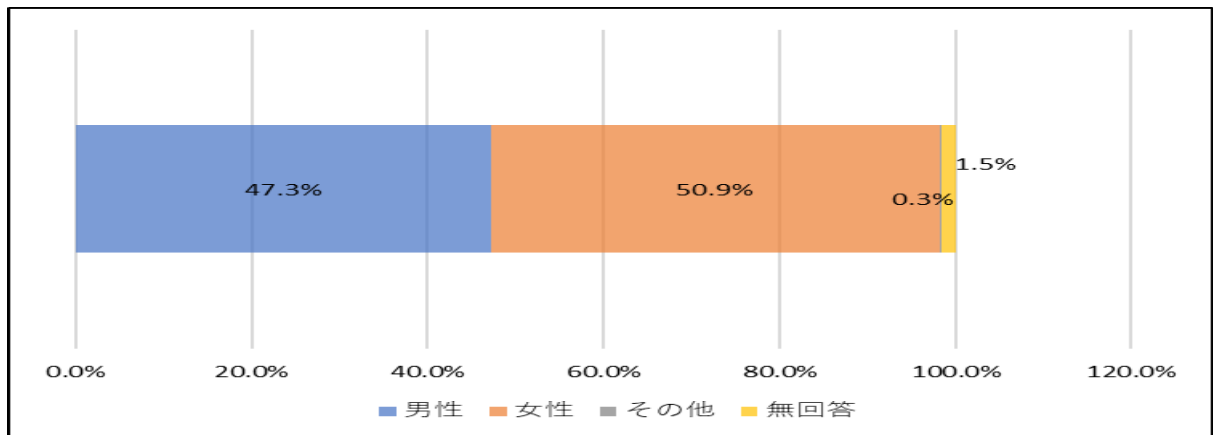
I 調査の概要

1. 調査の目的 「西都市自殺対策行動計画」の改定（第2期）に向けた基礎資料とするため、西都市における市民のこころの健康や自殺に関する意識や実態を把握することを目的に実施しました。
2. 調査対象 無作為に抽出した18歳以上の市民1,000人
3. 調査期間 令和5年9月13日～同年9月30日
4. 調査方法 調査票の配布：郵送
調査票の回収：郵送又はインターネット
5. 回収結果 回収数(率)：336人(33.6%)
(うち、郵送回収は306人、インターネット回収は30人)
6. 調査項目 (1) 悩みやストレスなどに関することについて
(2) うつ病や自殺などに関することについて
(3) 新型コロナウイルス感染症による影響について

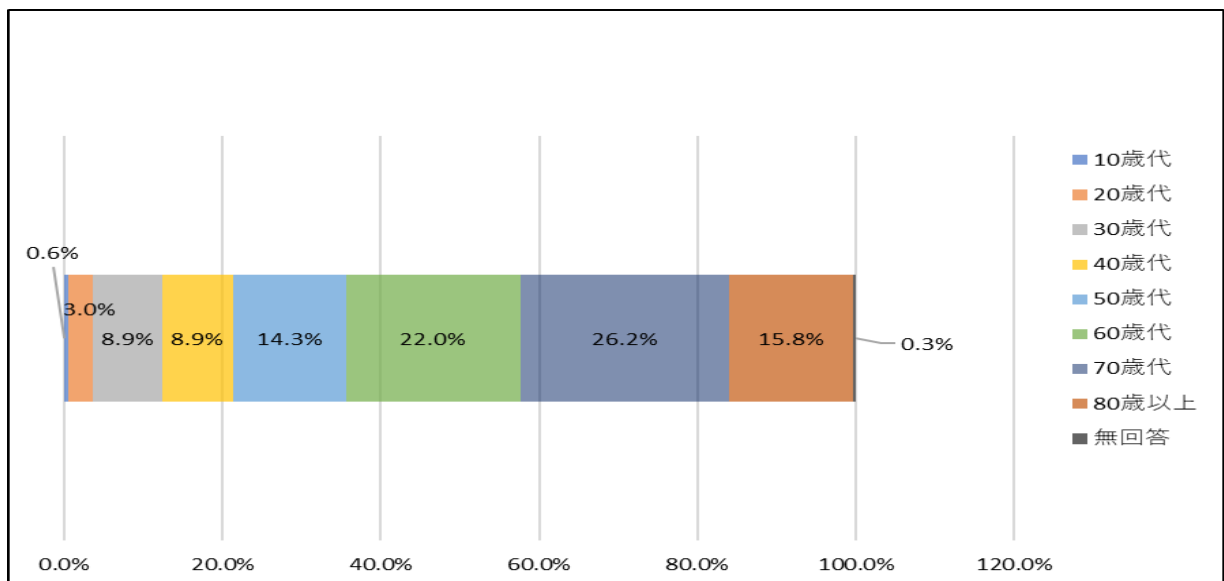
Ⅱ 回答者の属性

- ・回答者の性別は、「男性」の割合が 47.3%、「女性」が 50.9%、「その他(どちらでもある、答えたくない等)」が 0.3%、「無回答」が 1.5%となっている。
- ・回答者の年齢は、「70 歳代」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「60 歳代」が 22.0%となっている。
- ・回答者の職業をみると、「無職」の割合が 25.3%と最も高く、次いで「勤めている(正社員・正職員)」が 22.3%となっている。
- ・回答者の配偶者・パートナーの有無については、「配偶者・パートナーあり(同居)」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「配偶者・パートナーはいない(死別・離別を除く)」が 12.2%となっている。
- ・回答者の世帯構成は、「2 世代」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「配偶者・パートナーのみ」が 34.2%となっている。

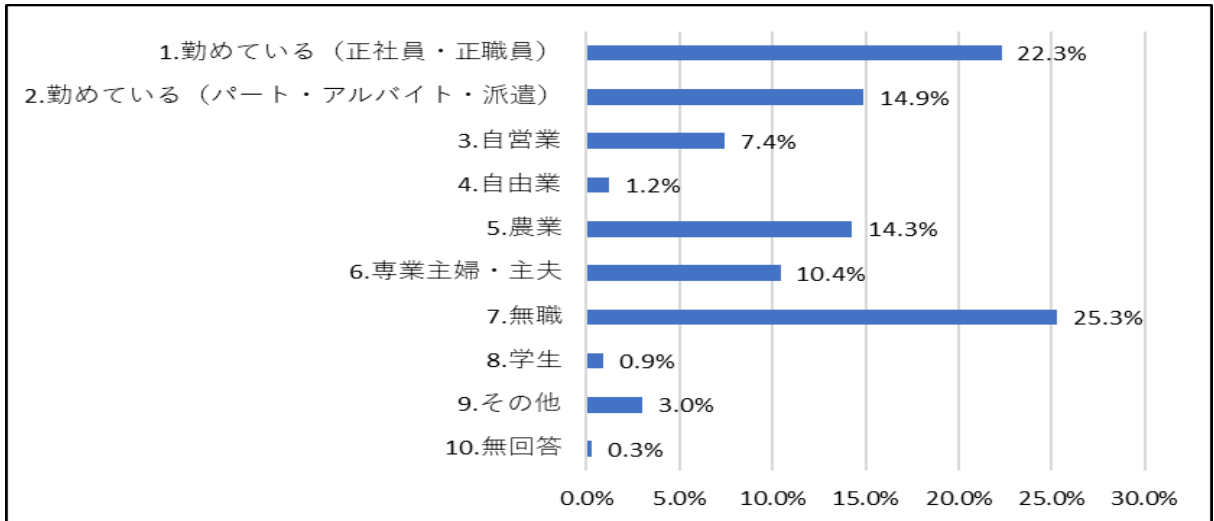
問 1 性別



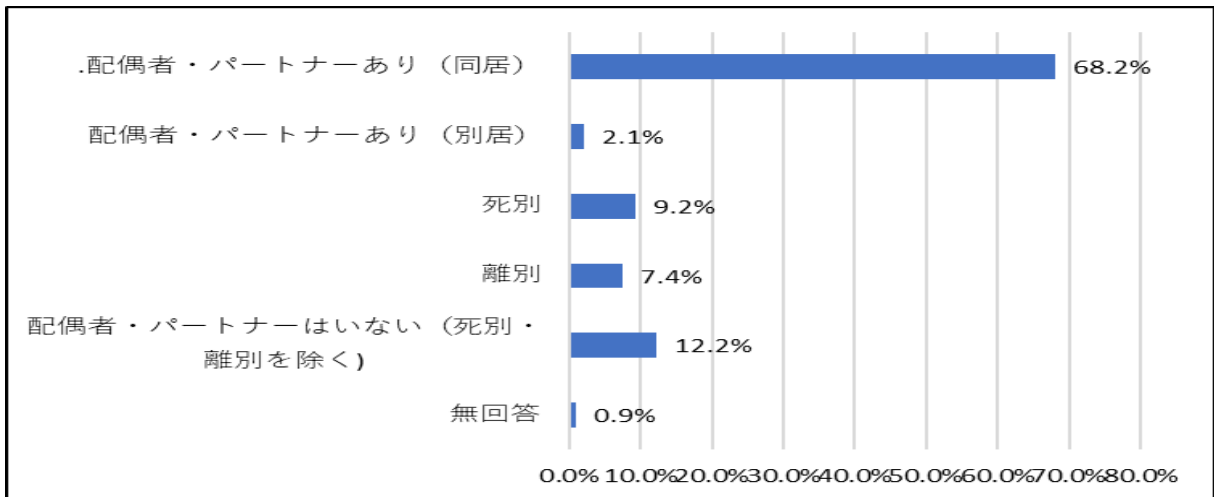
問 2 年代



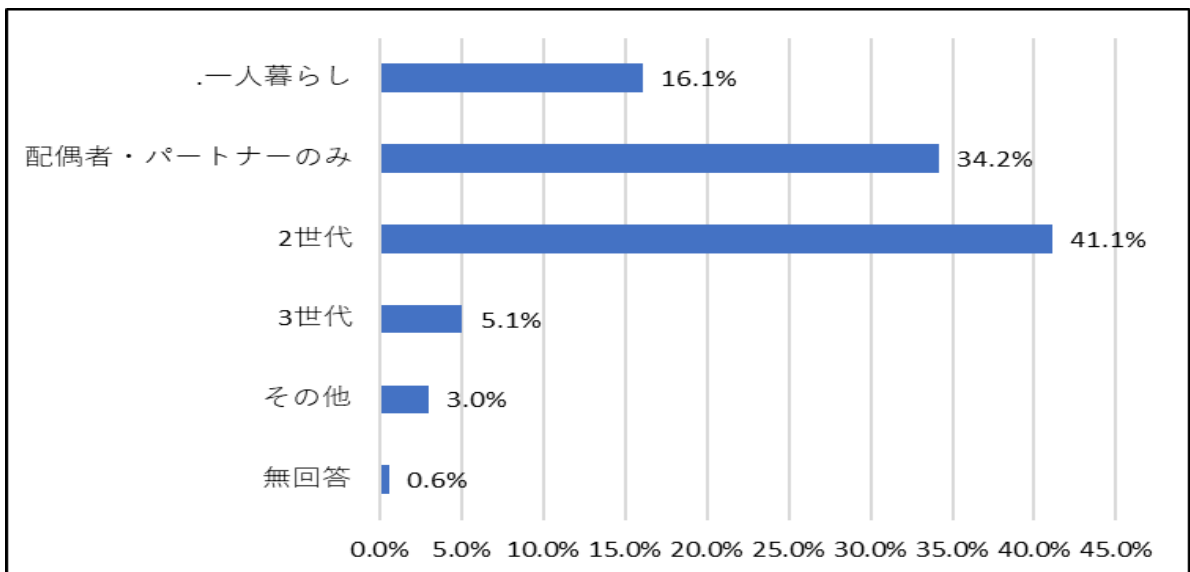
問3 職業



問4 配偶者・パートナーの有無



問5 世帯構成



Ⅲ 調査の結果

1. 悩みやストレスなどに関することについて

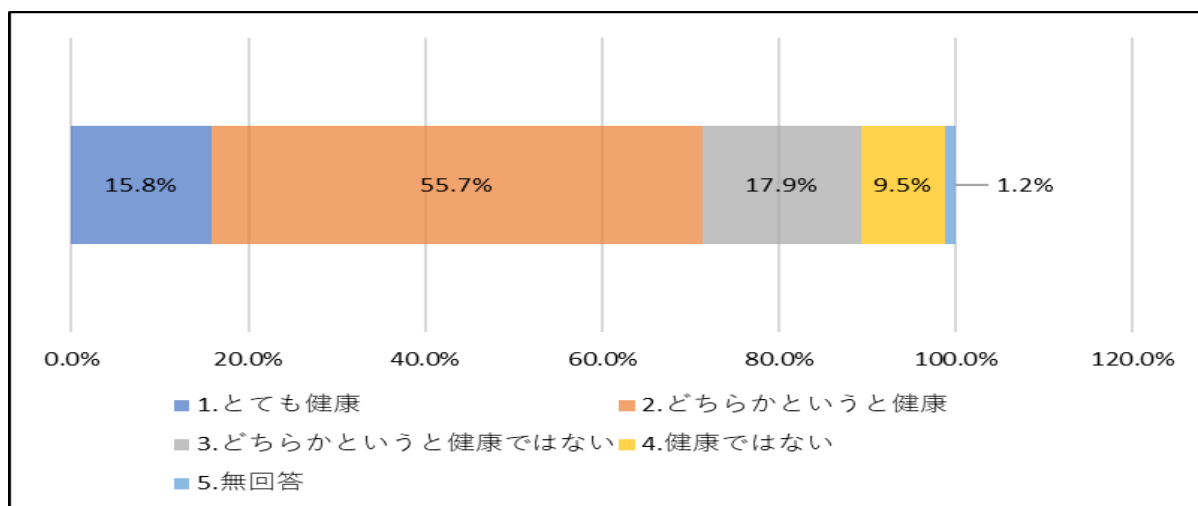
問6 現在の自分の「からだ」の健康状態をどう思いますか。

「とても健康」が15.8%、「どちらかという健康」が55.7%、「どちらかという健康ではない」が17.9%、「健康ではない」が9.5%となっている。

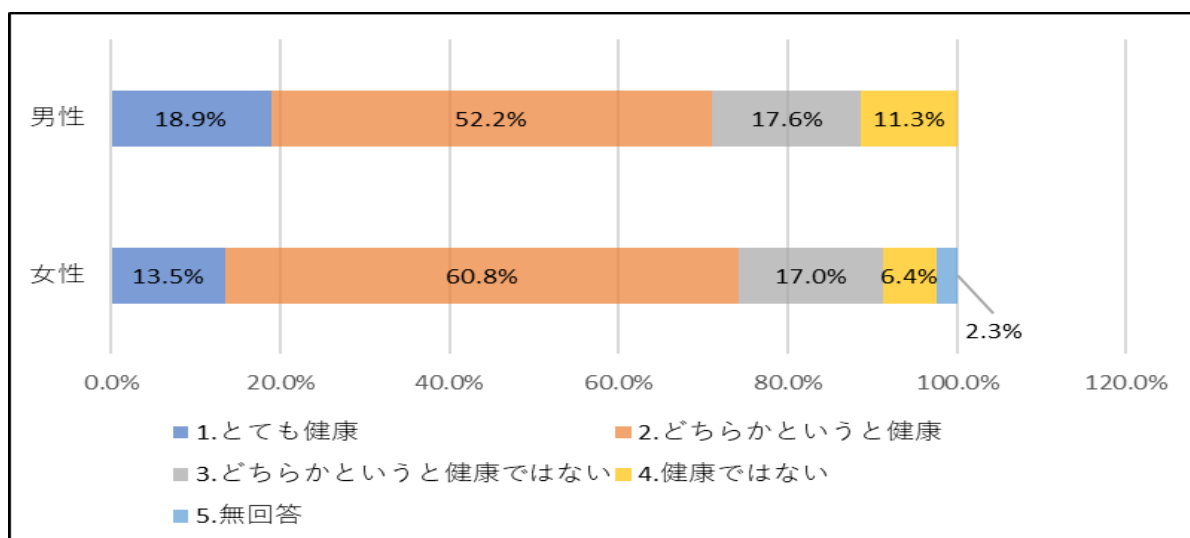
性別でみると、「とても健康」と「どちらかという健康」を合わせた「健康である（計）」と答えた方の割合に性差はないが、「健康ではない」と答えた方の割合は、女性（6.4%）より男性（11.3%）が高くなっている。

年代別でみると、「どちらかという健康ではない」と「健康ではない」を合わせた『健康でない（計）』と答えた方の割合は、年齢層が高いほど割合が高くなる傾向にある。

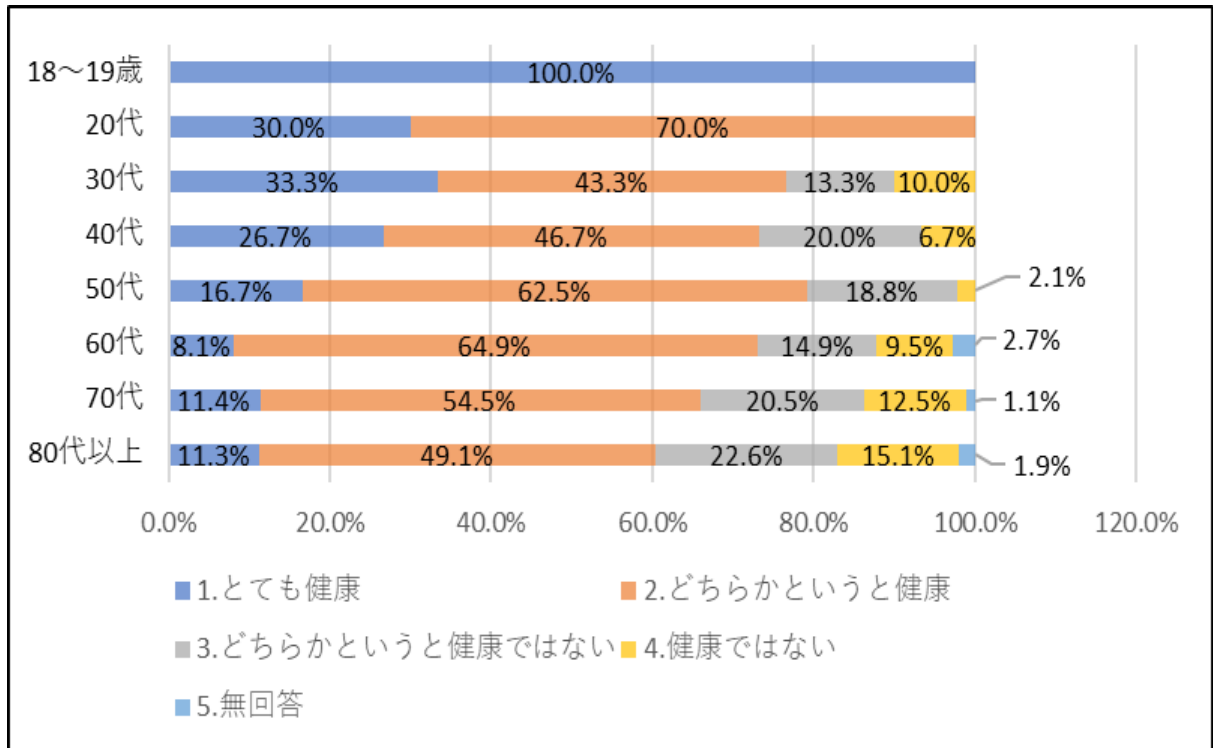
【全体】



【性別】



【年代別】



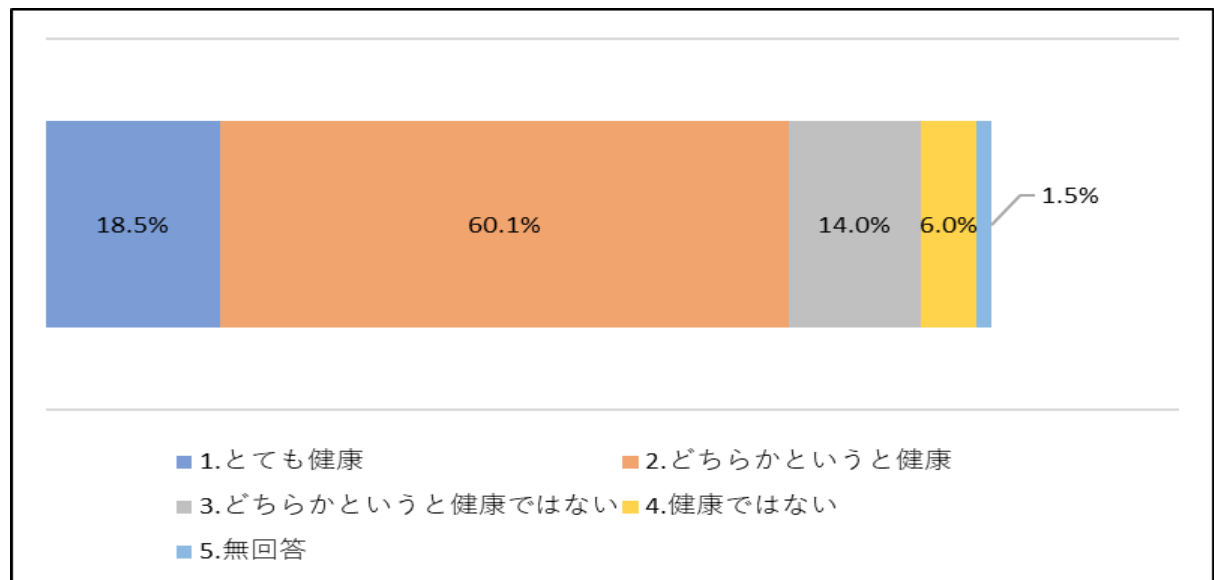
問7 現在の自分の「ころ」の健康状態をどう思いますか。

「とても健康」が18.5%、「どちらかという健康」が60.1%、「どちらかという健康ではない」が14.0%、「健康ではない」が6.0%となっている。

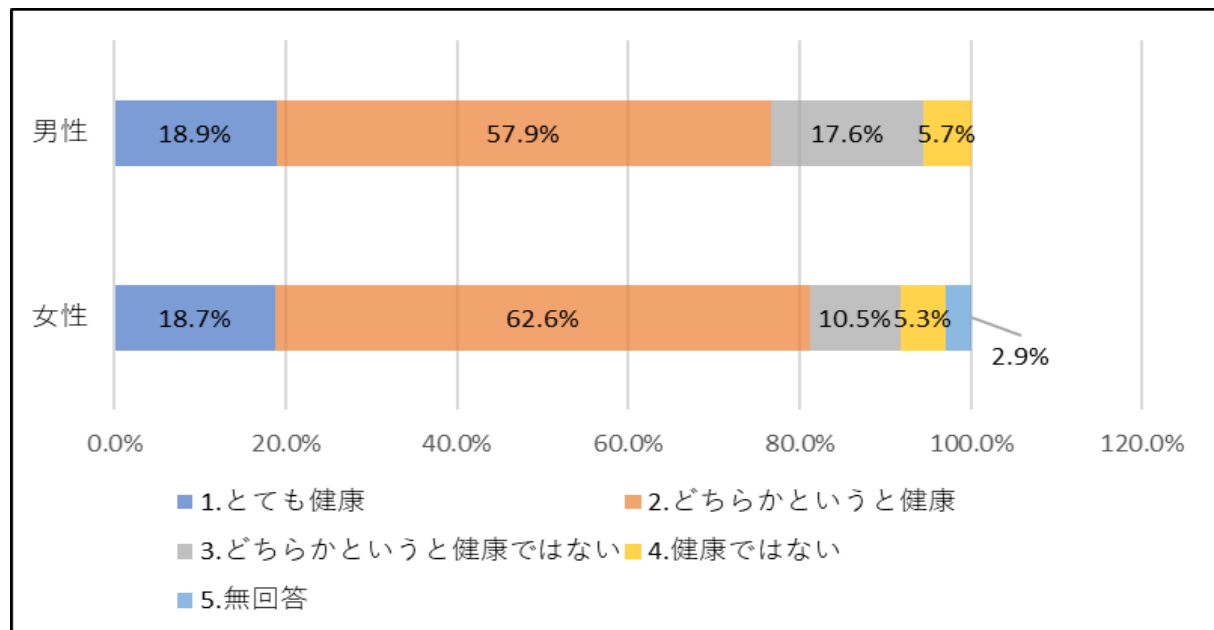
性別でみると、大きな差はない。

年代別でみると、「どちらかという健康ではない」と「健康ではない」を合わせた『健康でない（計）』と答えた方の割合は、「80歳代」が37.7%と最も高く、次いで「70歳代」が21.6%、「20歳代」が20%となっている。

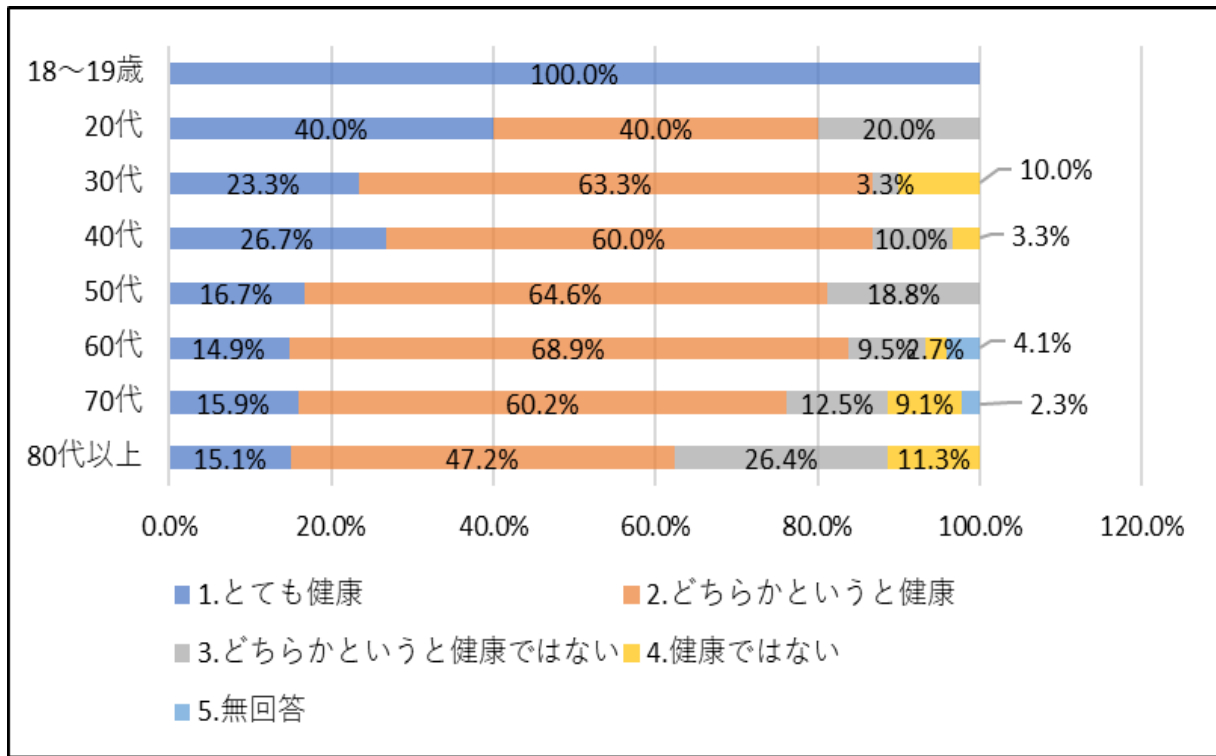
【全体】



【性別】



【年代別】



問8 あなたは、過去1か月間にどのくらいの頻度で下記(1)から(6)に示したようなことがありましたか。

※K6・・・米国のkesslerらによって、うつ病・不安障がいなどの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発された指標。

- (1) 神経過敏だと感じたことがある。
- (2) 絶望的だと感じたことがある。
- (3) そわそわ落ち着かなく感じたことがある。
- (4) 気分が落ち込んで、何か起こっても気が晴れないように感じたことがある。
- (5) 何をするにも骨折りだと感じたことがある。
- (6) 自分は価値のない人間だと感じたことがある。

の6項目ごとに「いつも」4点、「たいてい」3点、「ときどき」2点、「少しだけ」1点、「まったくない」0点を与え、合計点を算出したもの。

合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があると考えられている。

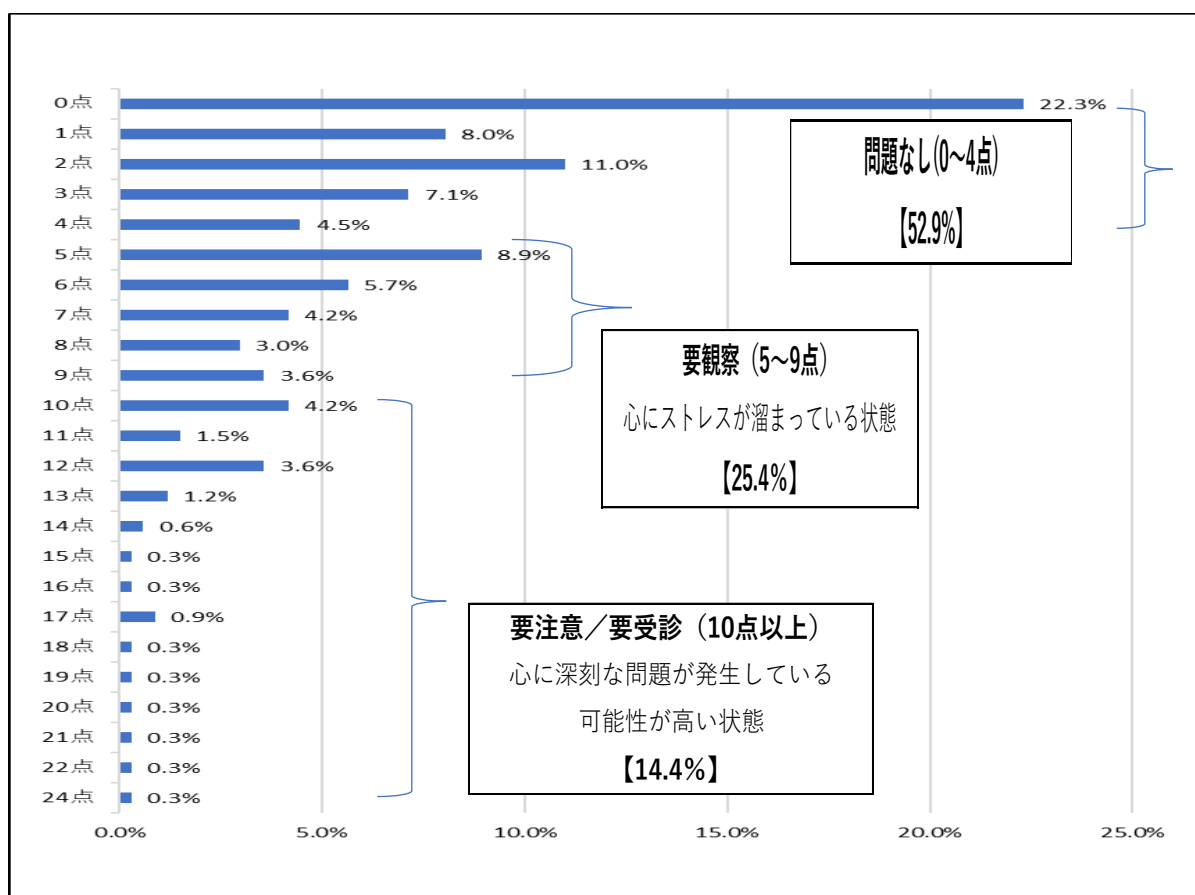
出典：厚生労働省

「問題なし(0～4点)」の割合が52.9%と最も高く、以下、「要観察(5～9点)」が25.4%、「要注意／要受診(10点以上)」が14.4%となっている。

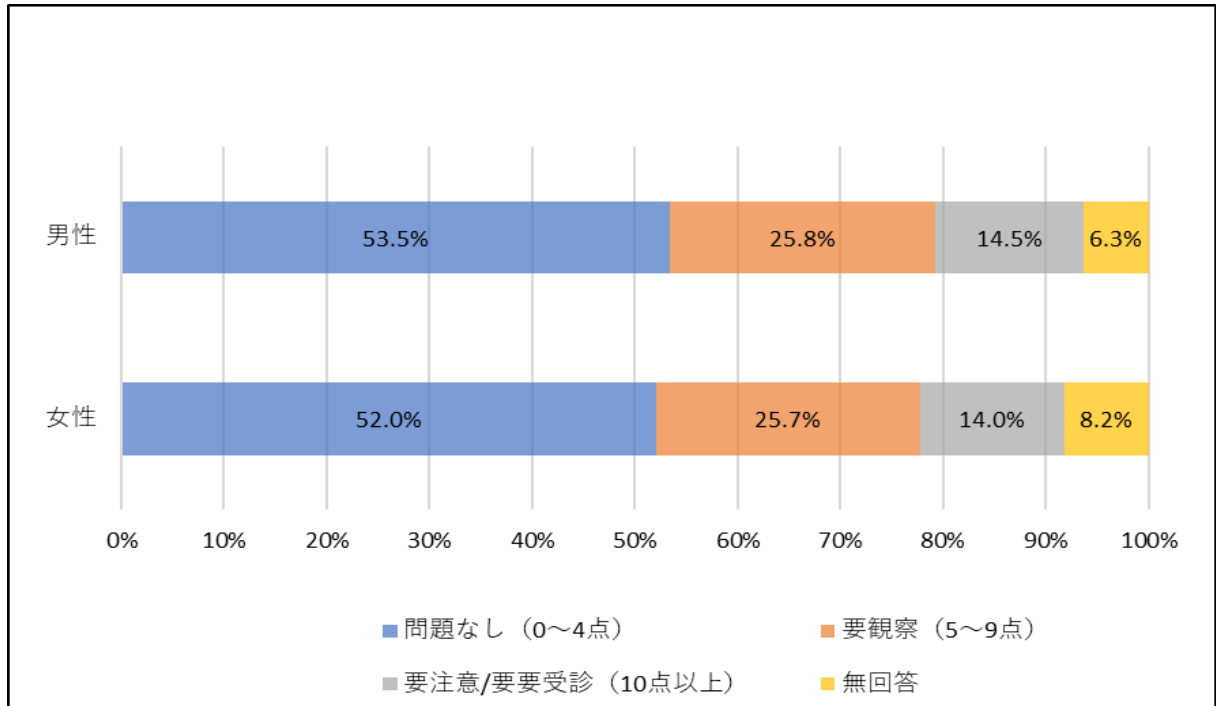
性別でみたところ、大きな差はない。

年代別でみると、「要注意／要受診(10点以上)」の割合は、「20歳代」が30.0%と最も高く、次いで「30歳代」が26.7%、「60歳代」が13.5%となっている。

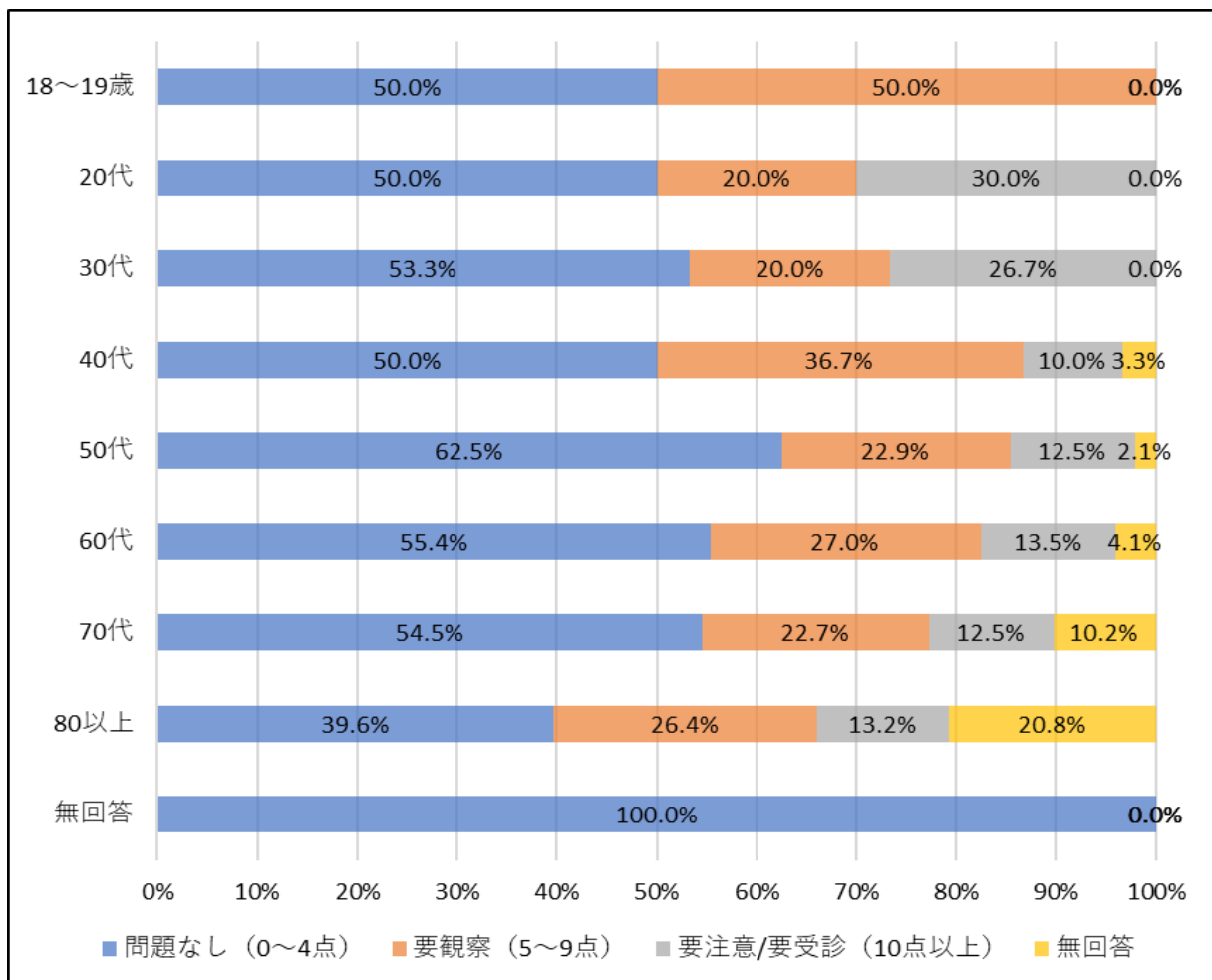
【合計点による分布(全体)】



【合計点による分布(性別)】



【合計点による分布(年代別)】



問9 あなたの不満や悩みやつらい気持ちを受け止め、耳を傾けてくれる人はいると思いますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

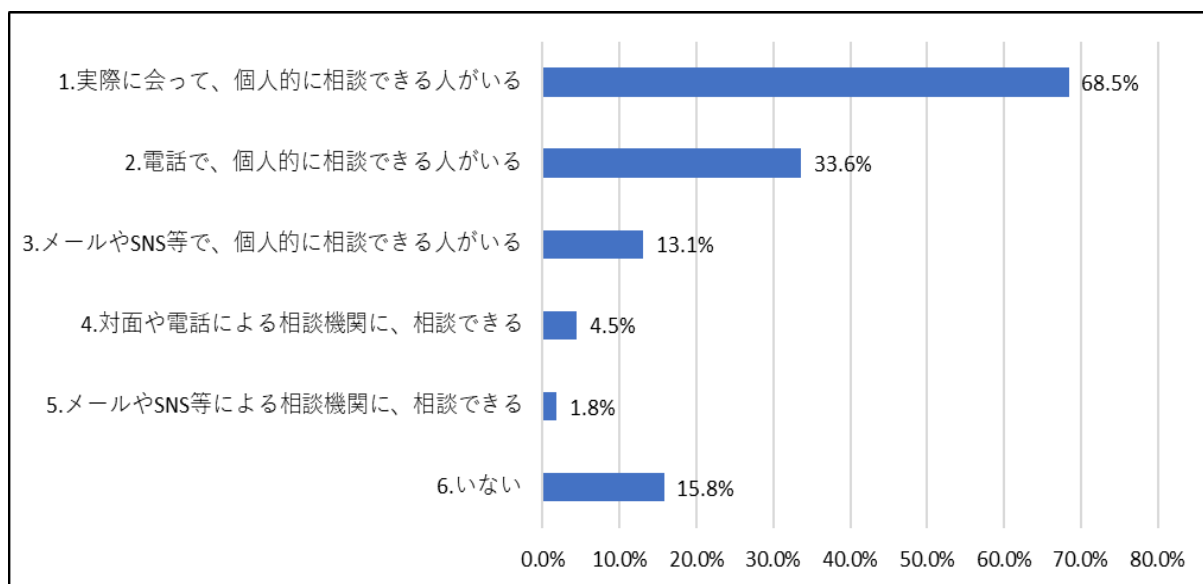
「実際に会って、個人的に相談できる人がいる」と答えた方の割合は 68.5%と最も高く、次いで「電話で、個人的に相談できる人がいる」が 33.6%となっている。

性別でみると、「いない」と答えた方は、女性（9.9%）より男性（22.0%）が高くなっている。

年代別でみると、「いない」と答えた方の割合は、「70 歳代」が 20.5%と最も高く、次いで「80 歳代以上」が 18.9%となっている。

「20 歳代」から「80 歳代以上」の年代において、「実際に会って個人的に相談できる人がいる」と答えた方の割合が高い。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1.実際に会って、個人的に相談できる人がいる	65.4%	70.8%	50.0%	80.0%	80.0%	86.7%	77.1%	66.2%	56.8%	66.0%
2.電話で、個人的に相談できる人がいる	28.9%	37.4%	100.0%	27.3%	40.0%	43.3%	27.1%	24.3%	35.2%	39.6%
3.メールやSNS等で、個人的に相談できる人がいる	8.8%	17.0%	0.0%	0.0%	40.0%	26.7%	14.6%	14.9%	9.1%	1.9%
4.対面や電話による相談機関に、相談できる	5.7%	2.9%	0.0%	10.0%	3.3%	3.3%	6.3%	2.7%	3.4%	7.5%
5.メールやSNS等による相談機関に、相談できる	2.5%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	2.1%	4.1%	0.0%	1.9%
6.いない	22.0%	9.9%	0.0%	10.0%	10.0%	13.3%	10.4%	16.2%	20.5%	18.9%

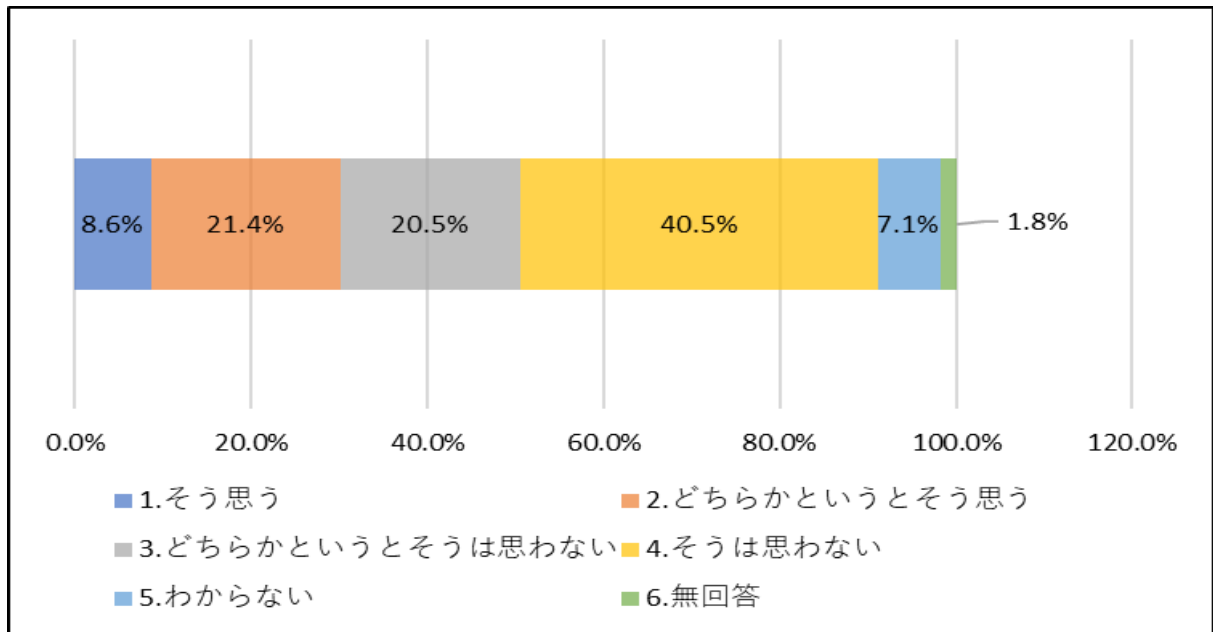
問 10 あなたは、悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。

「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた『ためらいを感じる(計)』の割合は、30.0%、「そうは思わない」「どちらかというと思わない」を合わせた『ためらいを感じない(計)』の割合は 61.0%となっている。

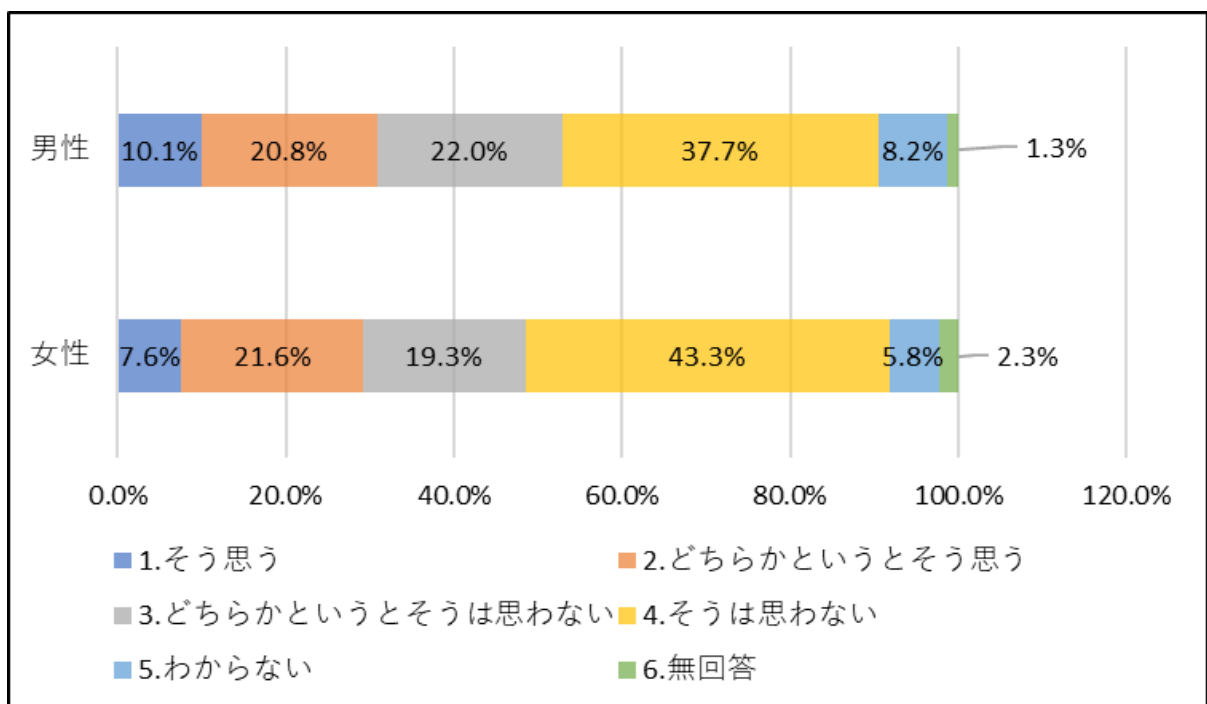
性別でみると、大きな差はない。

年代別でみると、『ためらいを感じる(計)』の割合は、「50 歳代」が 41.6%と最も高く、次いで「20 歳代」が 40.0%となっている。

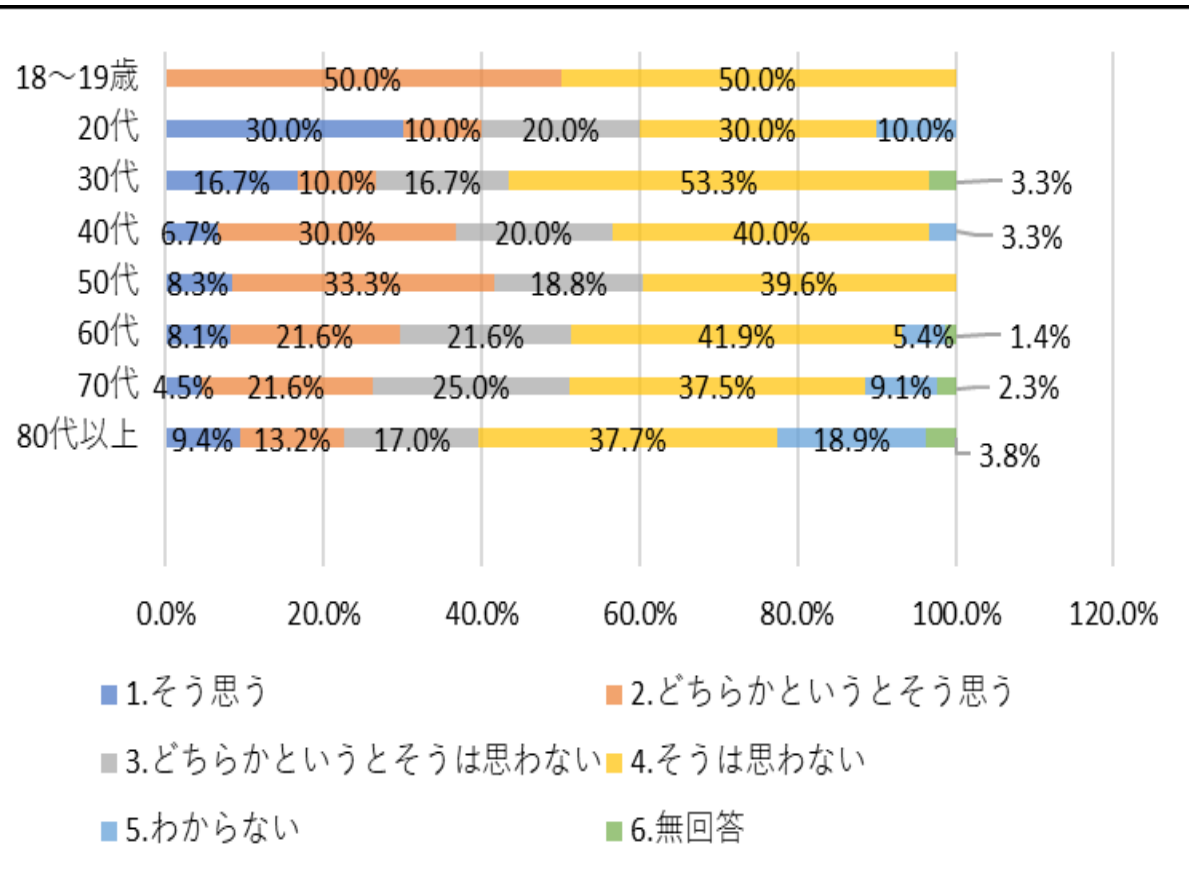
【全体】



【性別】



【年代別】



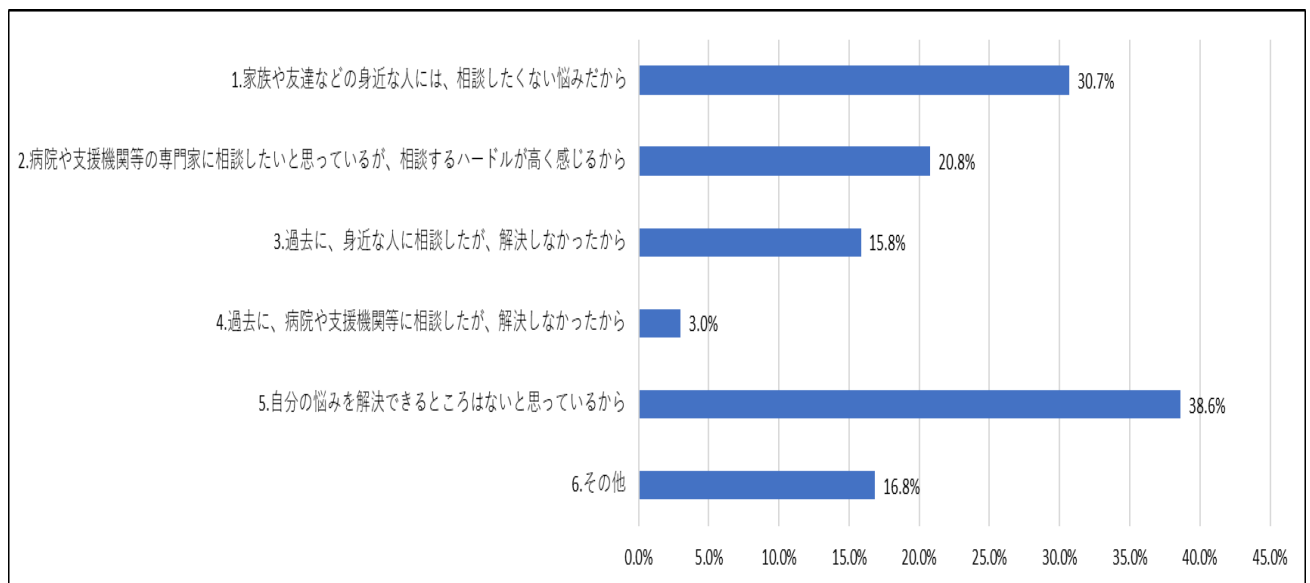
問 11 【問 10 で「1 そう思う」、「2 どちらかというと思う」と答えた方にお伺いします】

誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由について、
以下の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

『ためらいを感じる(計)』と答えた方（101 人）に理由を聞いたところ、「自分の悩みを解決できるところはないと思っているから」と答えた方の割合が 38.6%と最も高く、以下「家族や友達などの身近な人には、相談したくない悩みだから」が 30.7%、「病院や支援機関等の専門家に相談したいと思っているが、相談するハードルが高く感じるから」が 20.8%となっている。

年代別でみると、「20 歳代」から「40 歳代」の各年代において「家族や友達などの身近な人には、相談したくない悩みだから」、「60 歳代」から「80 歳代以上」各年代において、「自分の悩みを解決できるところはないと思っているから」と答えた方の割合が高い。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1. 家族や友達などの身近な人には、相談したくない悩みだから	28.6%	34.0%	0.0%	50.0%	62.5%	54.5%	15.0%	22.7%	17.4%	50.0%
2. 病院や支援機関等の専門家に相談したいと思っているが、相談するハードルが高く感じるから	20.4%	22.0%	0.0%	25.0%	37.5%	27.3%	15.0%	13.6%	26.1%	16.7%
3. 過去に、身近な人に相談したが、解決しなかったから	16.3%	14.0%	0.0%	50.0%	0.0%	27.3%	15.0%	18.2%	13.0%	8.3%
4. 過去に、病院や支援機関等に相談したが、解決しなかったから	4.1%	2.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	5.0%	4.5%	0.0%	0.0%
5. 自分の悩みを解決できるところはないと思っているから	40.8%	36.0%	0.0%	25.0%	50.0%	36.4%	25.0%	36.4%	43.5%	58.3%
6. その他	14.3%	20.0%	100.0%	50.0%	0.0%	18.2%	30.0%	18.2%	8.7%	0.0%

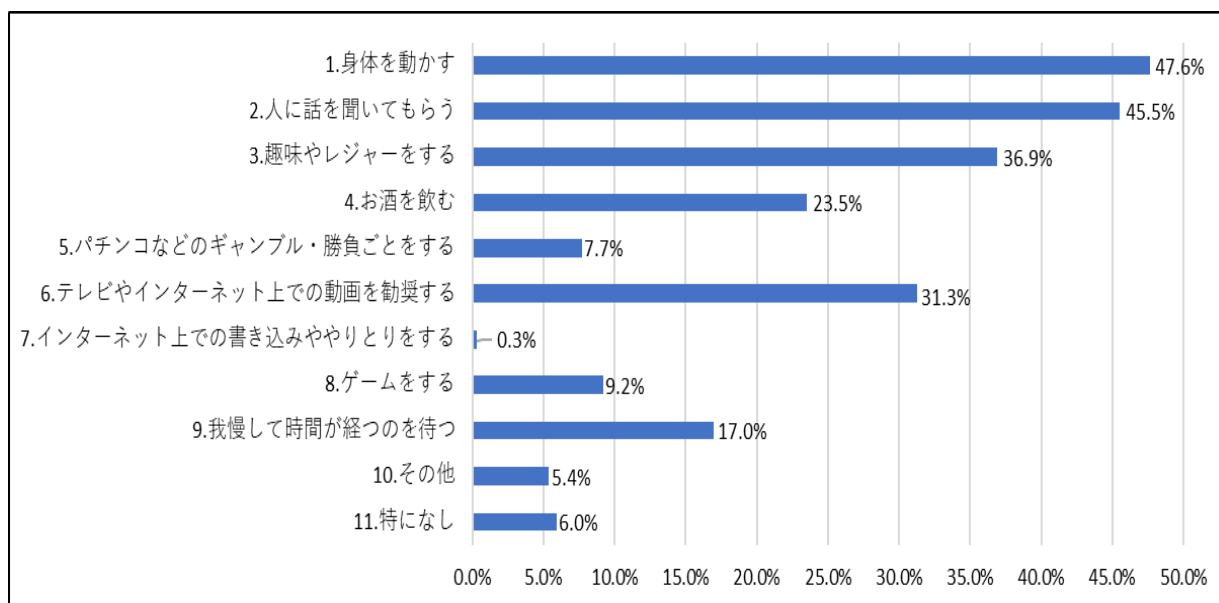
問 12 あなたが、日常生活での悩みやストレスを解消するために、よく行うことは何ですか。
 以下の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

「身体を動かす」と答えた方の割合が 47.6%と最も多く、以下「人に話を聞いてもらう」が 45.5%、「趣味やレジャーをする」が 36.9%となっている。

性別でみると、男性では「身体を動かす」の割合が 54.7%と最も高く、女性では、「人に話を聞いてもらう」の割合が 65.5%と最も高くなっている。

年代別でみると、「20 歳代」から「60 歳代」で「人に話を聞いてもらう」、60 歳代以上で「身体を動かす」、「20 歳代」から「40 歳代」で「趣味やレジャーをする」の割合が高くなっている。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1.身体を動かす	54.7%	40.9%	50.0%	30.0%	40.0%	43.3%	35.4%	48.6%	50.0%	64.2%
2.人に話を聞いてもらう	23.9%	65.5%	50.0%	40.0%	50.0%	53.3%	62.5%	48.6%	38.6%	30.2%
3.趣味やレジャーをする	37.7%	35.7%	50.0%	40.0%	50.0%	43.3%	33.3%	41.9%	31.8%	30.2%
4.お酒を飲む	32.7%	14.6%	0.00%	10.0%	46.7%	33.3%	27.1%	25.7%	17.0%	13.2%
5.パチンコなどのギャンブル・勝負ごとをする	13.8%	2.3%	0.00%	0.00%	6.7%	3.3%	12.5%	9.5%	5.7%	9.4%
6.テレビやインターネット上での動画を勧奨する	28.9%	32.2%	0.00%	20.0%	60.0%	40.0%	35.4%	35.1%	18.2%	26.4%
7.インターネット上での書き込みややりとりをする	0.00%	0.6%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.4%	0.00%	0.00%
8.ゲームをする	11.3%	7.6%	50.0%	20.0%	23.3%	20.0%	12.5%	6.8%	3.4%	1.9%
9.我慢して時間が経つのを待つ	15.1%	19.3%	0.00%	30.0%	23.3%	20.0%	18.8%	17.6%	12.5%	15.1%
10.その他	4.4%	6.4%	0.00%	10.0%	10.0%	3.3%	6.3%	9.5%	1.1%	3.8%
11.特になし	6.3%	4.7%	0.00%	0.00%	0.00%	3.3%	4.2%	2.7%	11.4%	9.4%

2. うつ病や自殺などに関することについて

問 13 あなたは、「うつ病のサイン」を知っていましたか。

以下に挙げた症状を「うつ病のサイン」といいます。

このような症状が2週間以上続く場合、うつ病の可能性があります。

○自分で感じる症状

気分が沈む、悲しい、イライラする、集中力がない、好きなこともやりたくない、大事なことを先送りにする、物事を悪いほうへ考える、決断ができない、自分を責める、死にたくなる

○周りから見てわかる症状

表情が暗い、涙もろい、反応が遅い、落ち着きがない、飲酒量が増える

○身体に出る症状

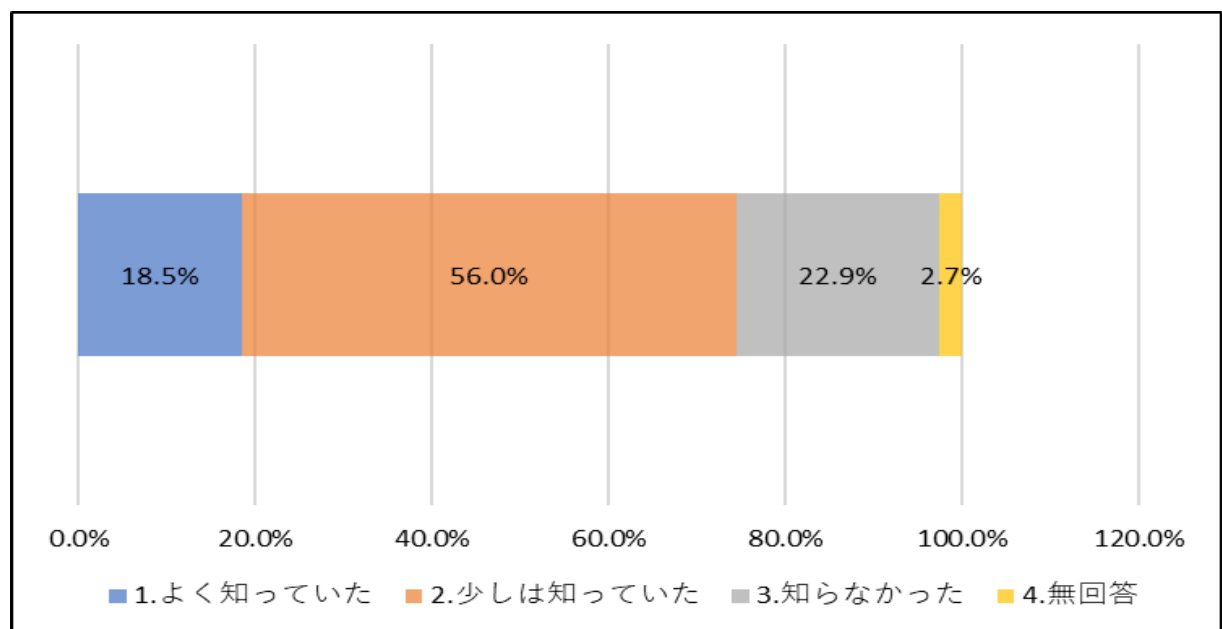
眠れない、食欲がない、便秘がち、身体がだるい、疲れやすい、性欲がない、頭痛、動悸、胃の不快、めまい

「うつ病のサイン」について、「よく知っていた」が18.5%、「少しは知っていた」が56.0%、「知らなかった」が22.9%となっている。

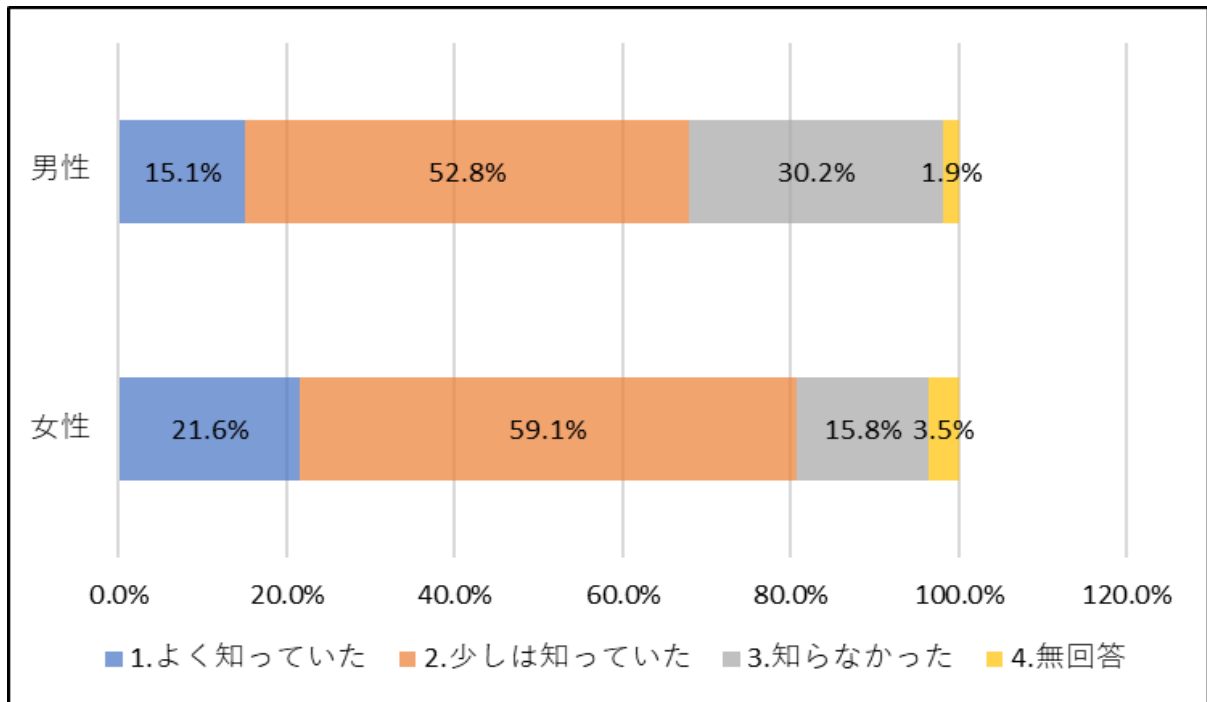
性別でみると、「よく知っていた」、「少しは知っていた」を合わせた『知っていた（計）』と答えた方の割合は、男性（67.9%）より女性（80.7%）が高くなっている。

年代別でみると、「よく知っていた」と「少しは知っていた」を合わせた『知っていた（計）』と答えた方の割合は、「40歳代」が最も高い。

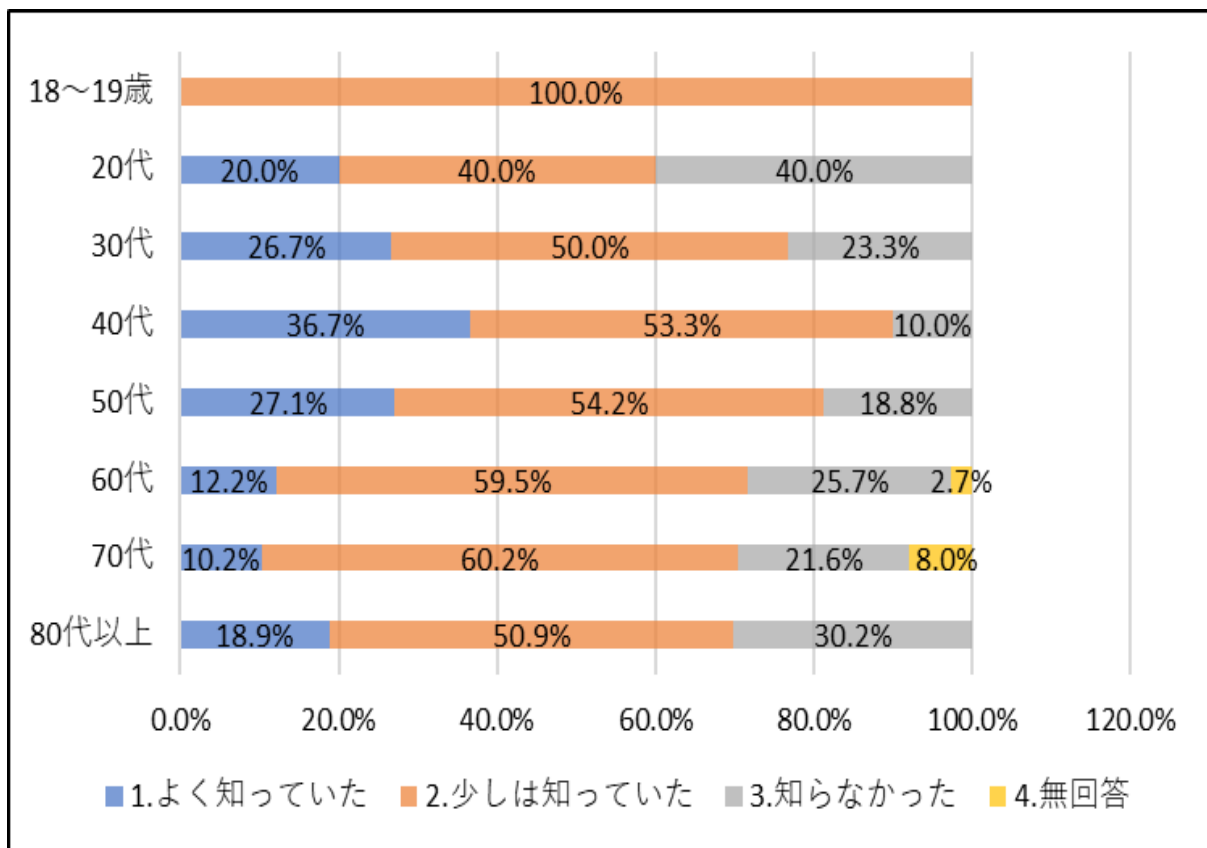
【全体】



【性別】



【年代別】



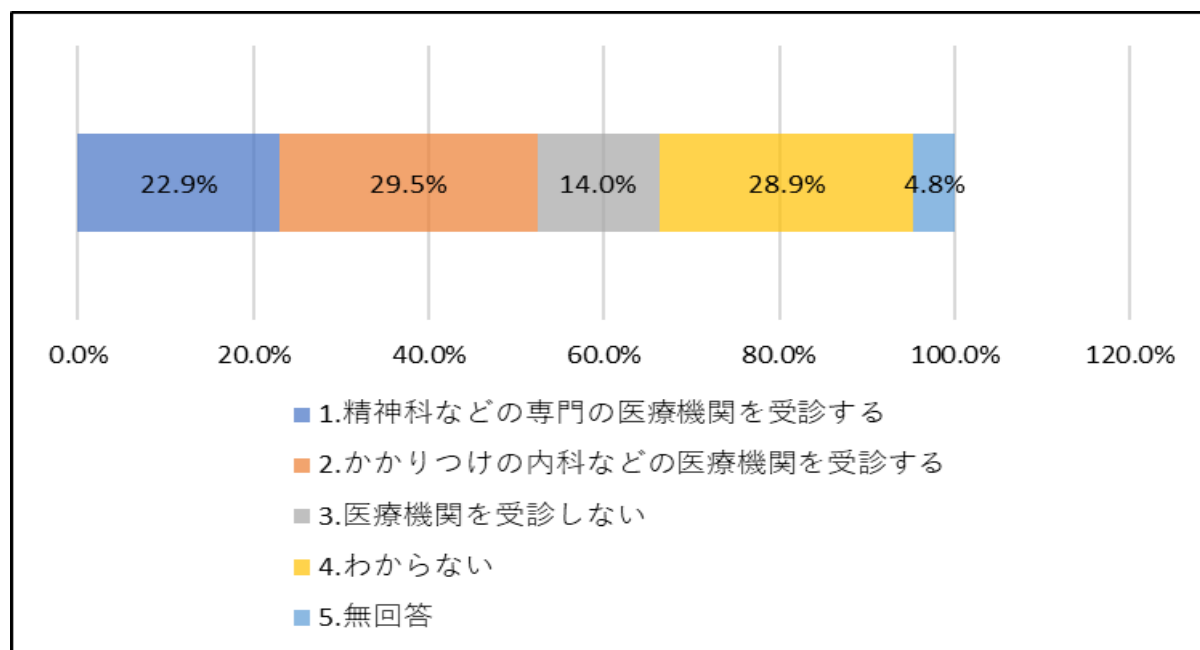
問 14 仮に、あなたが2週間以上、上記のような症状「うつ病のサイン」が続くとき、医療機関を受診しますか。以下の中であなたの考えに最も近いもの1つだけに○をつけてください。

「かかりつけの内科などの医療機関を受診する」と答えた方の割合が29.5%と最も高く、以下、「わからない」が28.9%、「精神科などの専門の医療機関を受診する」が22.9%、「医療機関を受診しない」が14.0%となっている。

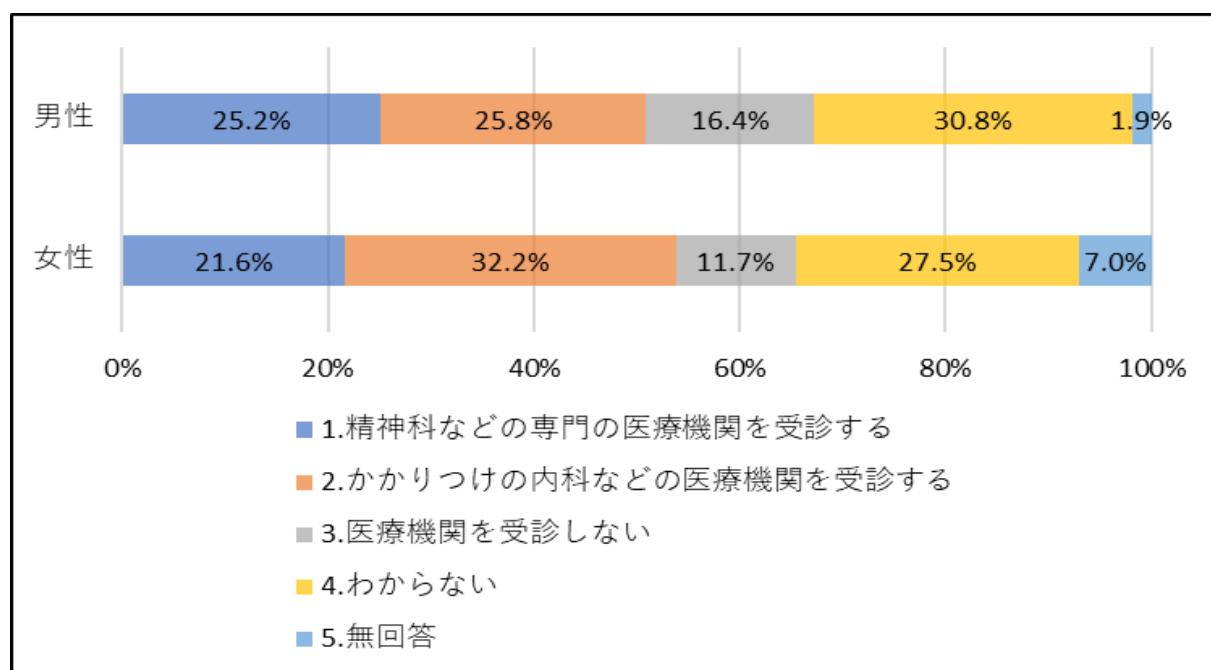
性別でみたところ、大きな差はない。

年代別でみると、年齢層が高いほど「かかりつけの内科などの医療機関を受診する」と答えた方の割合が高くなる傾向にある。

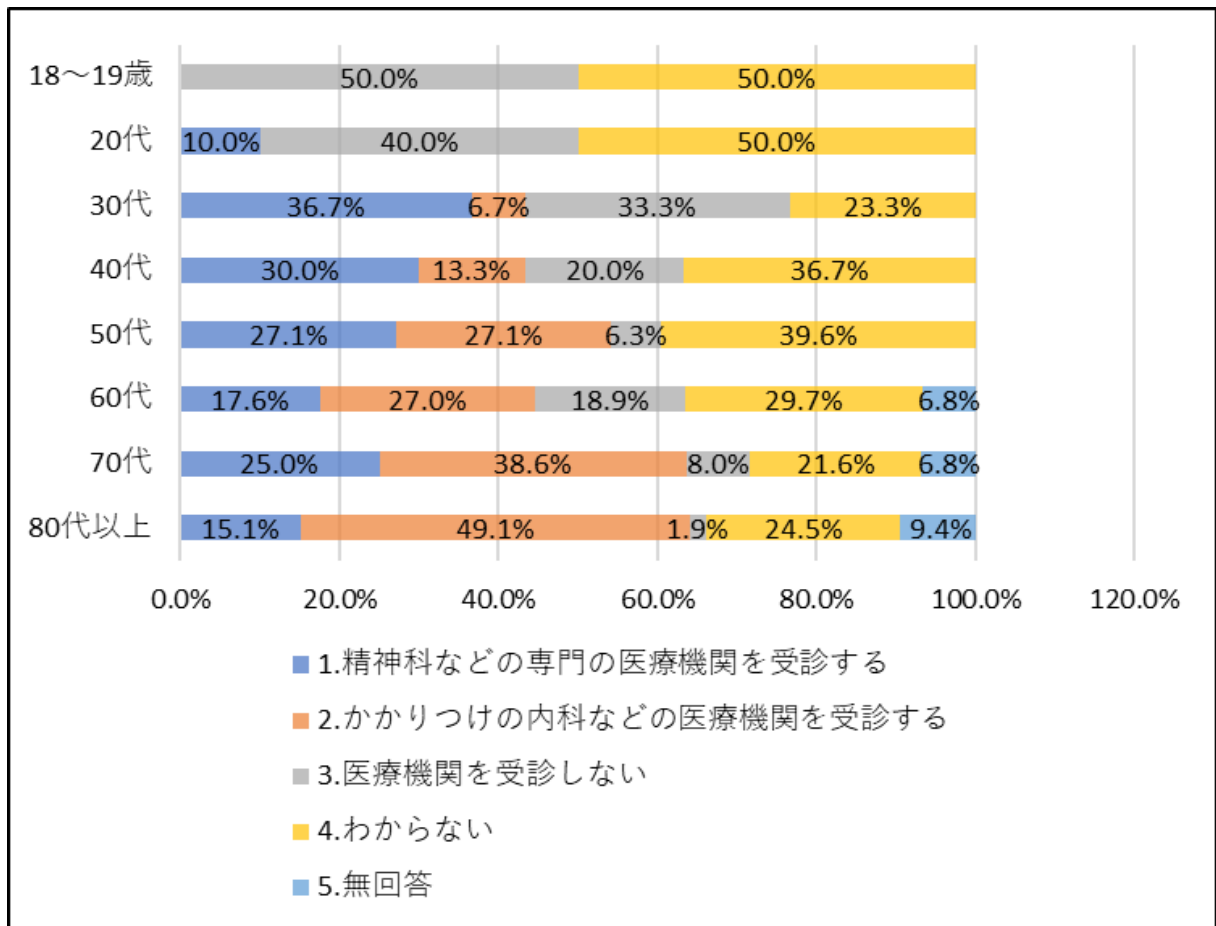
【全体】



【性別】



【年代別】



問 15 【問 14 で「3 医療機関を受診しない」と答えた方にお伺いします】

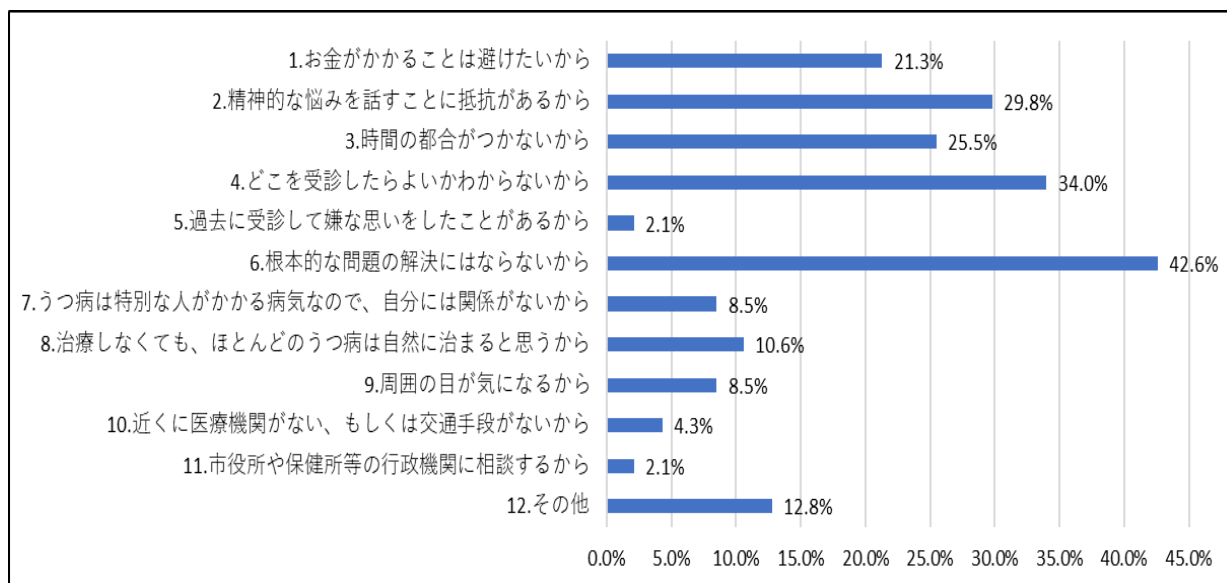
それは、どのような理由からですか。

以下の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

「医療機関を受診しない」と答えた方（46 人）に理由をきいたところ、「根本的な問題の解決にならないから」と答えた方の割合が 42.6%と最も高く、以下「どこを受診したらよいか分からないから」が 34.0%、「精神的な悩みを話すことに抵抗があるから」が 29.8%、「時間の都合がつかないから」が 25.5%などとなっている。

年代別でみると、「50 歳代」、「60 歳代」、「70 歳代」で「根本的な問題の解決にならないから」と答えた方の割合が最も高くなっている。また、「30 歳代」、「40 歳代」、「60 歳代」の約 4～5 割が「どこを受診したらよいか分からないから」と答えている。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1. お金がかかることは避けたいから	34.6%	5.0%	100.0%	50.0%	20.0%	33.3%	33.3%	7.1%	0.0%	100.0%
2. 精神的な悩みを話すことに抵抗があるから	23.1%	40.0%	0.0%	25.0%	20.0%	50.0%	0.0%	35.7%	28.6%	100.0%
3. 時間の都合がつかないから	30.8%	20.0%	0.0%	25.0%	40.0%	33.3%	66.7%	14.3%	14.3%	0.0%
4. どこを受診したらよいか分からないから	26.9%	45.0%	0.0%	0.0%	40.0%	50.0%	33.3%	42.9%	14.3%	100.0%
5. 過去に受診して嫌な思いをしたことがあるから	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
6. 根本的な問題の解決にはならないから	50.0%	35.0%	0.0%	0.0%	40.0%	50.0%	66.7%	50.0%	42.9%	100.0%
7. うつ病は特別な人がかかる病気なので、自分には関係がないから	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	14.3%	0.0%	0.0%
8. 治療しなくても、ほとんどのうつ病は自然に治まると思うから	11.5%	5.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	28.6%	100.0%
9. 周囲の目が気になるから	11.5%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
10. 近くに医療機関がない、もしくは交通手段がないから	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	100.0%
11. 市役所や保健所等の行政機関に相談するから	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
12. その他	15.4%	10.0%	0.0%	25.0%	20.0%	0.0%	33.3%	7.1%	0.0%	0.0%

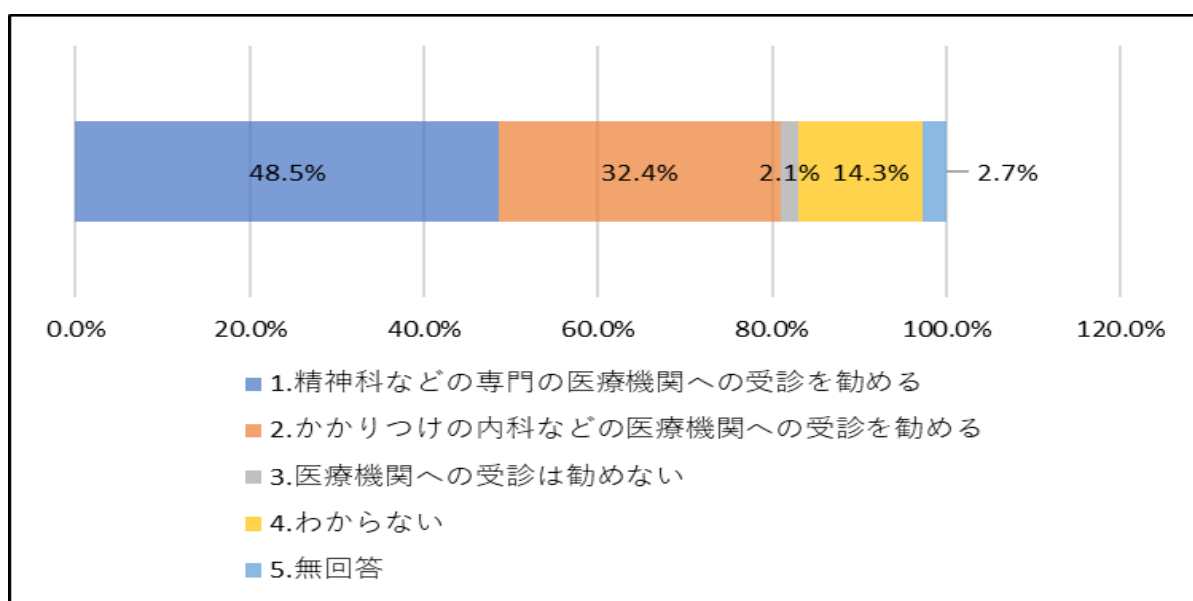
問 16 仮に、あなたが、あなたの家族など身近な人の「うつ病のサイン」に気づいたとき、医療機関への受診を勧めますか。以下の中であなたのお考えに最も近いもの 1 つだけ に○をつけてください。

「精神科など（心療内科を含む）の専門の医療機関への受診を勧める」と回答した方の割合が 48.5%と最も高く、以下、「かかりつけの内科などの医療機関への受診を勧める」が 32.4%、「わからない」が 14.3%、「医療機関へ受診は勧めない」が 2.1%となっている。

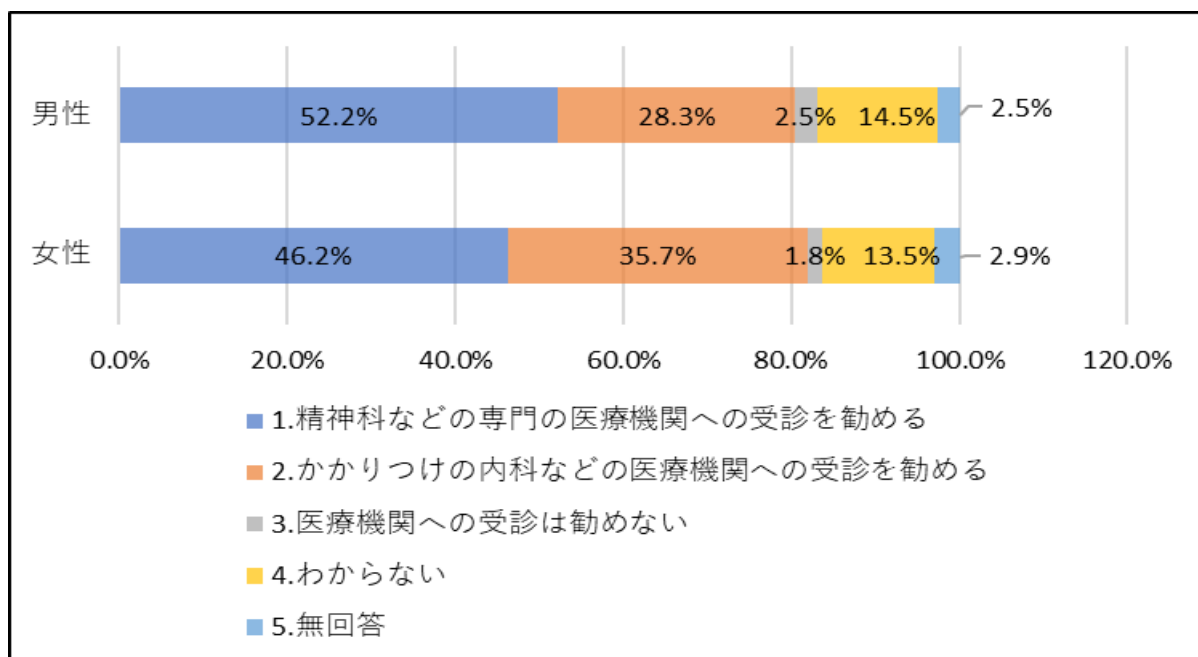
年代別にみたところ、「精神科など（心療内科を含む）の専門の医療機関への受診を勧める」と答えた方の割合は、「30 歳代」が 73.3%も最も高く、以下、「20 歳代」と「40 歳代」が 60.0%、「50 歳代」が 58.3%などとなっている。

「60 歳代」、「70 歳代」においては、約 4 割が「かかりつけの内科などの医療機関への受診を勧める」と回答していた。

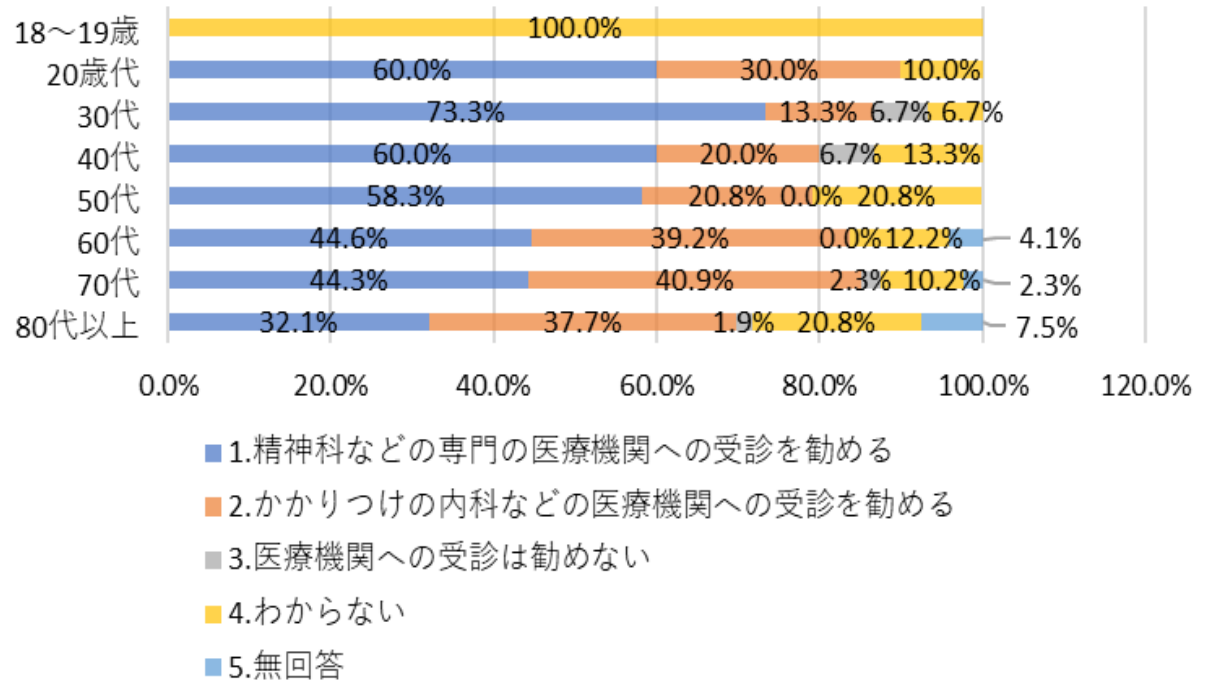
【全体】



【性別】



【年代別】



問 17 【問 16 で「3 医療機関への受診は勧めない」と答えた方にお伺いします】

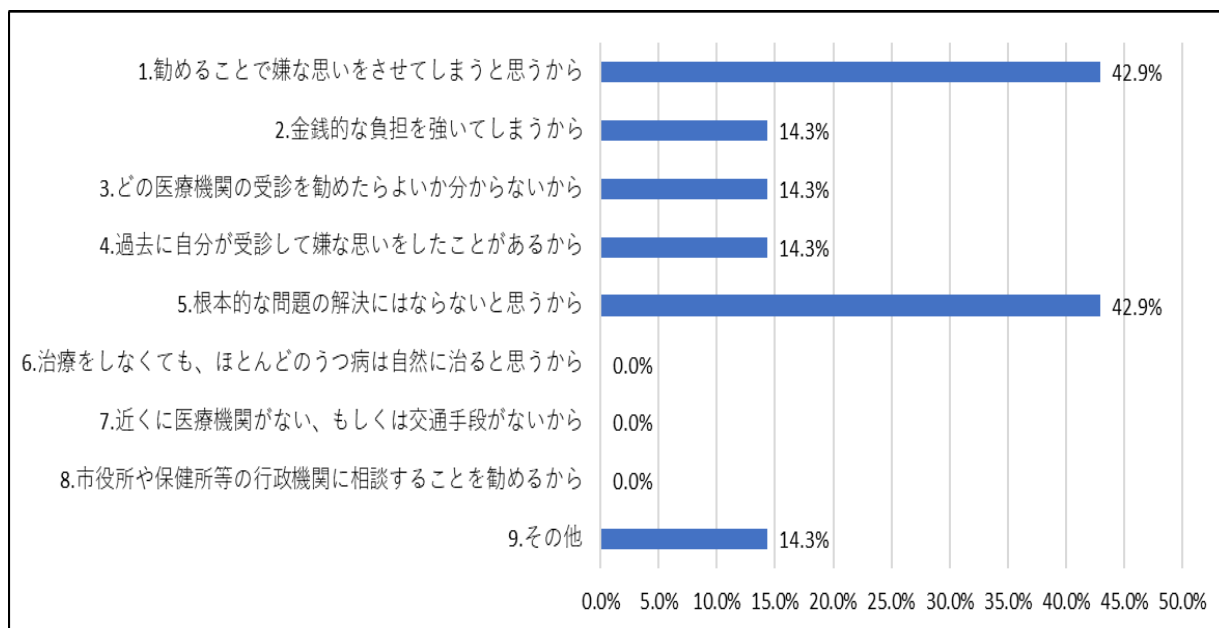
それは、どのような理由からですか。

以下の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

「医療機関への受診は勧めない」と回答した方（7 人）に理由を聞いたところ、「勧めることで嫌な思いをさせてしまうと思うから」と「根本的な問題の解決にはならないと思うから」と答えた方の割合が 42.9%と同率で高く、以下、「金銭的な負担を強いてしまうから」、「どの医療機関の受診を勧めたらよいか分からないから」、「過去に自分が受診して嫌な思いをしたことがあるから」、「その他」が 14.3%などとなっている。

年代別でみたところ、「30 歳代」、「40 歳代」、「80 歳以上」では「勧めることで嫌な思いをさせてしまうと思うから」と回答した方の割合が他の年代よりも高くなっている。

【全体】



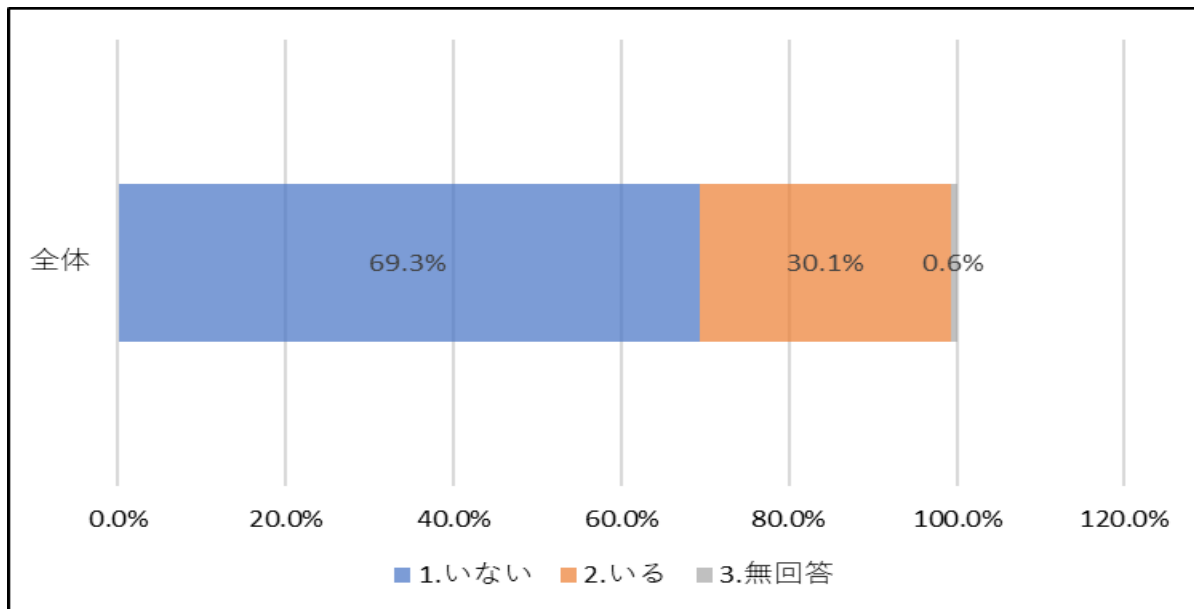
【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1. 勧めることで嫌な思いをさせてしまうと思うから	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2. 金銭的な負担を強いてしまうから	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3. どの医療機関の受診を勧めたらよいか分からないから	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 過去に自分が受診して嫌な思いをしたことがあるから	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5. 根本的な問題の解決にはならないと思うから	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
6. 治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思うから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7. 近くに医療機関がない、もしくは交通手段がないから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. 市役所や保健所等の行政機関に相談することを勧めるから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9. その他	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

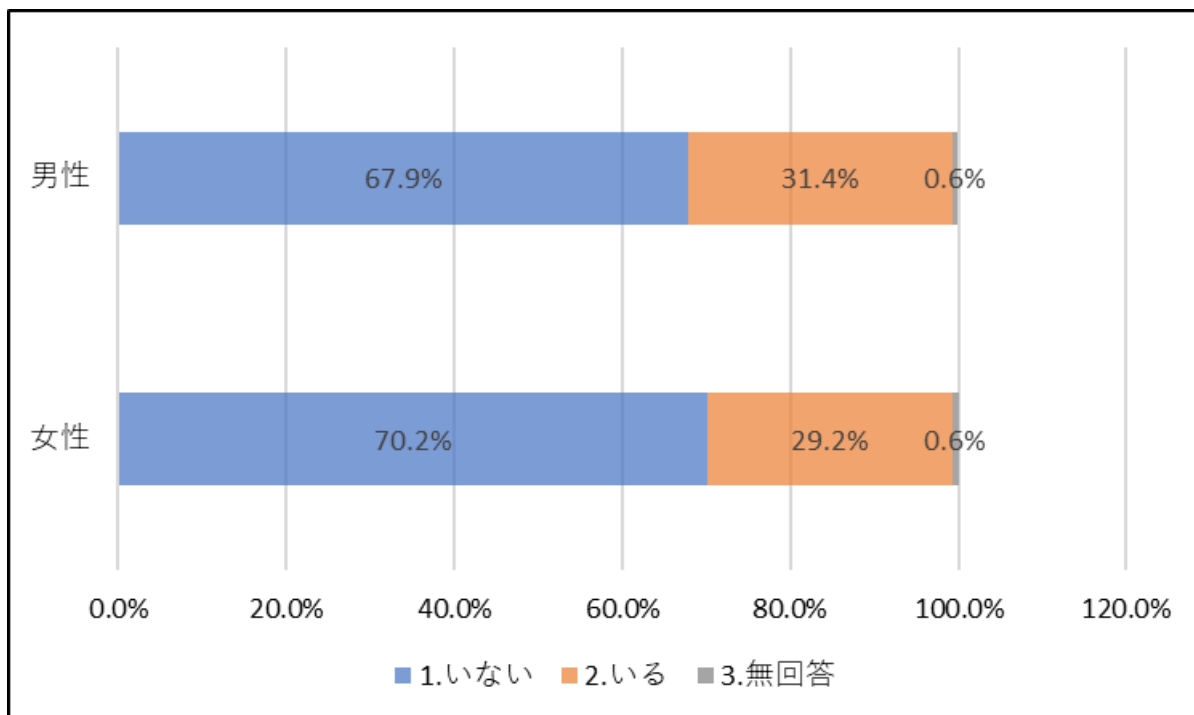
問 18 あなたの周りで自殺をした方はいらっしゃいますか。

「いる」と答えた方の割合は 30.1%、「いない」と答えた方の割合は 69.3%となっている。
年代別でみたところ、「いる」と回答した方の割合は、「60 歳代」が 37.8%と最も高く、以下、「50 歳代」が 37.5%、「40 歳代」が 36.7%、「30 歳代」が 33.3%などとなっている。

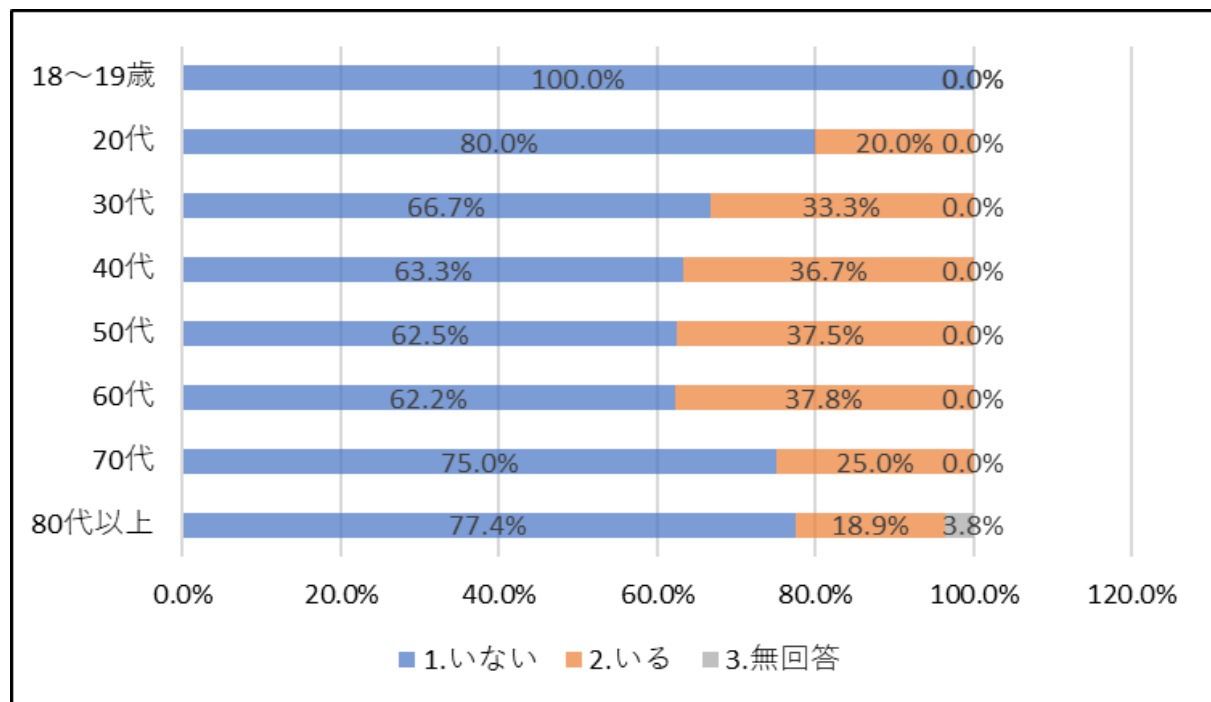
【全体】



【性別】



【年代別】



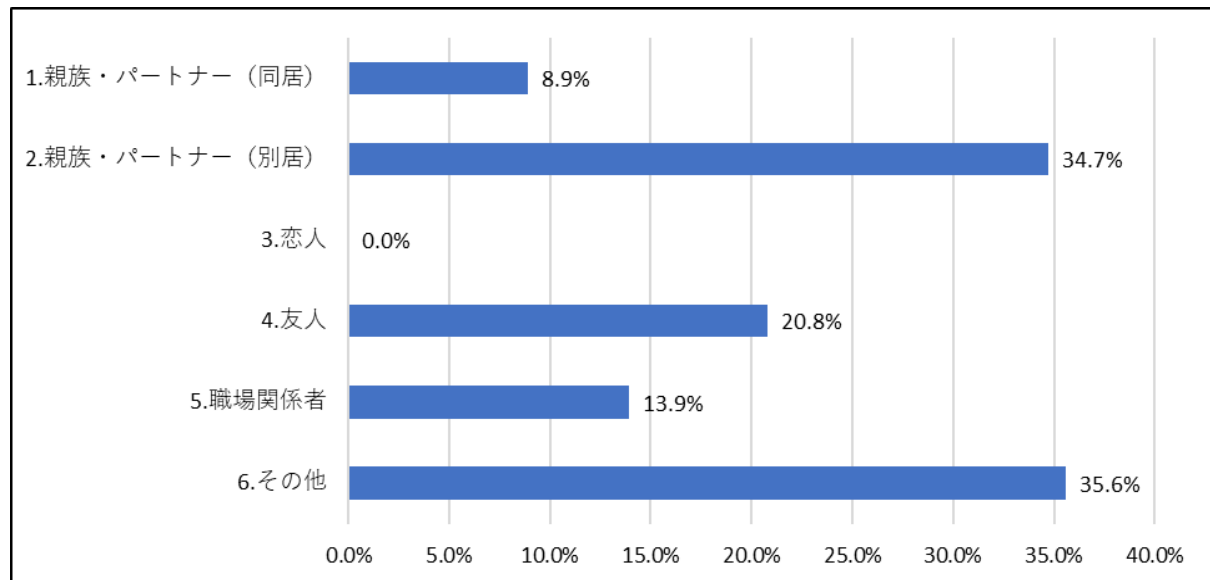
問 19 【問 18 で「2 いる」と答えた方にお伺いします】

その人との関係であてはまるものすべてに○をつけてください。

「いる」と答えた方(101 人)にその人との関係を聞いたところ、「親族・パートナー(別居)」と答えた方の割合が 34.7%と最も高く、以下、「その他」が 35.6%、「友人」が 20.8%、「職場関係者」が 13.9%となっている。

年代別でみると、「60 歳代」から「80 歳代以上」の年代で「親族・パートナー (別居)」、「20 歳代」で「友人」、「40 歳代」と「50 歳代」で「職場関係者」の割合が最も高くなっている。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1. 親族・パートナー (同居)	10.0%	8.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	5.6%	7.1%	18.2%	10.0%
2. 親族・パートナー (別居)	32.0%	36.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	22.2%	35.7%	45.5%	40.0%
3. 恋人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 友人	30.0%	12.0%	0.0%	50.0%	30.0%	18.2%	16.7%	28.6%	4.5%	30.0%
5. 職場関係者	18.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	36.4%	27.8%	10.7%	0.0%	10.0%
6. その他	30.0%	42.0%	0.0%	50.0%	30.0%	45.5%	38.9%	35.7%	36.4%	20.0%

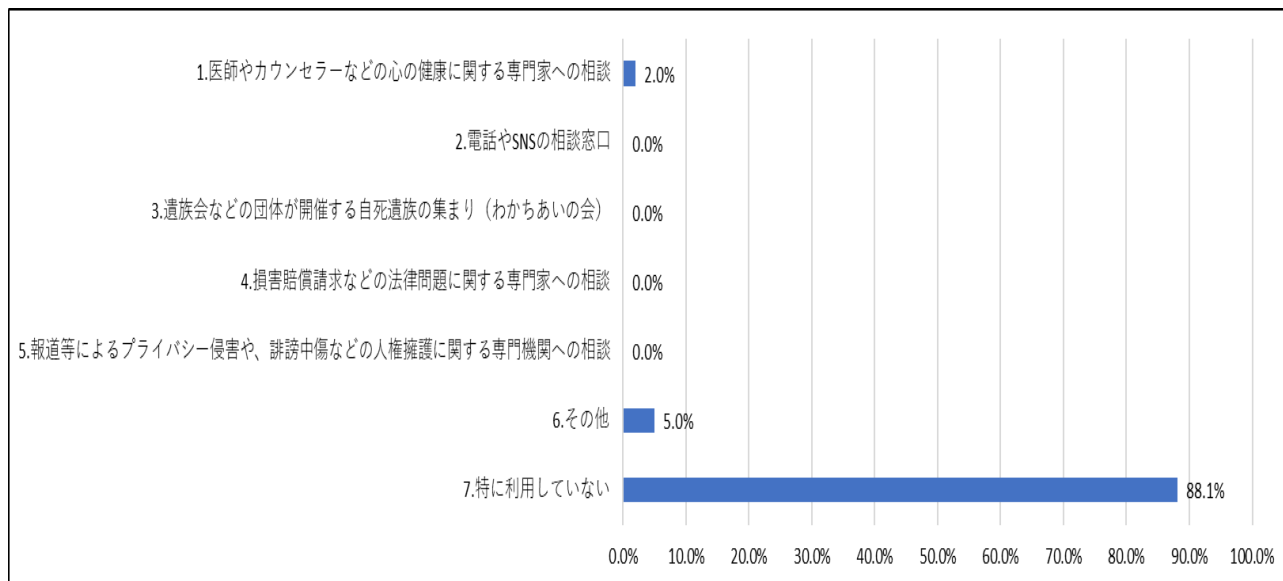
問 20 【問 18 で「2 いる」と答えた方にお伺いします】

身近な方を亡くした時、ご自身が公的な相談機関や民間団体の支援を利用しましたか。利用した支援にあてはまるものすべてに○をつけてください。

「いる」と答えた方(101 人)に、利用した支援機関をきいたところ、「特に利用していない」と答えた方の割合が 88.1%と最も高く、以下、「その他」が 5.0%、「医師やカウンセラーなどの心の健康に関する専門家への相談」が 2.0%などとなっている。

年代別でも、「18～19 歳」を除く全ての年代で、「特に利用していない」の割合が最も高くなっている。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1. 医師やカウンセラーなどの心の健康に関する専門家への相談	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	3.6%	0.0%	0.0%
2. 電話やSNSの相談窓口	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 遺族会などの団体が開催する自死遺族の集まり（わかちあいの会）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 損害賠償請求などの法律問題に関する専門家への相談	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5. 報道等によるプライバシー侵害や、誹謗中傷などの人権擁護に関する専門機関への相談	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. その他	4.0%	6.0%	0.0%	50.0%	10.0%	0.0%	5.6%	3.6%	0.0%	10.0%
7. 特に利用していない	90.0%	86.0%	0.0%	100.0%	90.0%	100.0%	77.8%	92.9%	81.8%	90.0%

問 21 あなたは、自殺についてどのように思いますか。

次の(1)から(6)のそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いもの 1 つだけ に○をつけてください。

- (1)自殺せずに生きていれば良いことがある
- (2)自殺する人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いている
- (3)自殺する人は、よほどつらいことがあったのだと思う
- (4)自殺は、その多くが防ぐことのできる社会的な問題である
- (5)生死は最終的に本人の判断に任せるべきである
- (6)責任を取って自殺することは仕方がない

(1) 自殺せずに生きていれば良いことがある

「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『そう思う (計)』の割合は 74.7%、『そう思わない』と「ややそう思わない」をあわせた『そう思わない (計)』の割合は 8.4%となっている。

年代別でみると、『そう思わない (計)』の割合は、「20 歳代」が 30.0%で最も高くなっている。

(2) 自殺する人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いている

「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『そう思う (計)』の割合は 52.1%、『そう思わない』と「ややそう思わない」をあわせた『そう思わない (計)』の割合は 10.1%となっている。

年代別でみると、『そう思わない (計)』の割合は、「20 歳代」と「30 歳代」が 20.0%で最も高くなっている。

(3) 自殺する人は、よほどつらいことがあったのだと思う

「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『そう思う (計)』の割合は 73.5%、『そう思わない』と「ややそう思わない」をあわせた『そう思わない (計)』の割合は 4.5%となっている。

年代別でみると、『そう思わない (計)』の割合は、「40 歳代」が 16.7%で最も高くなっている。

(4) 自殺は、その多くが防ぐことのできる社会的な問題である

「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『そう思う (計)』の割合は 56.0%、『そう思わない』と「ややそう思わない」をあわせた『そう思わない (計)』の割合は 17.5%となっている。

年代別でみると、『そう思わない (計)』の割合は、「30 歳代」が 46.7%で最も高くなっている。

(5) 生死は最終的に本人の判断に任せるべきである

「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『そう思う (計)』の割合は 23.8%、『そう思わない』と「ややそう思わない」をあわせた『そう思わない (計)』の割合は 41.9%となっている。

年代別でみると、『そう思う (計)』の割合は、年齢層が低いほど割合は高くなる傾向にあり、「18 歳～19 歳」、「20 歳代」では『そう思う (計)』の割合は半数以上を占めている。

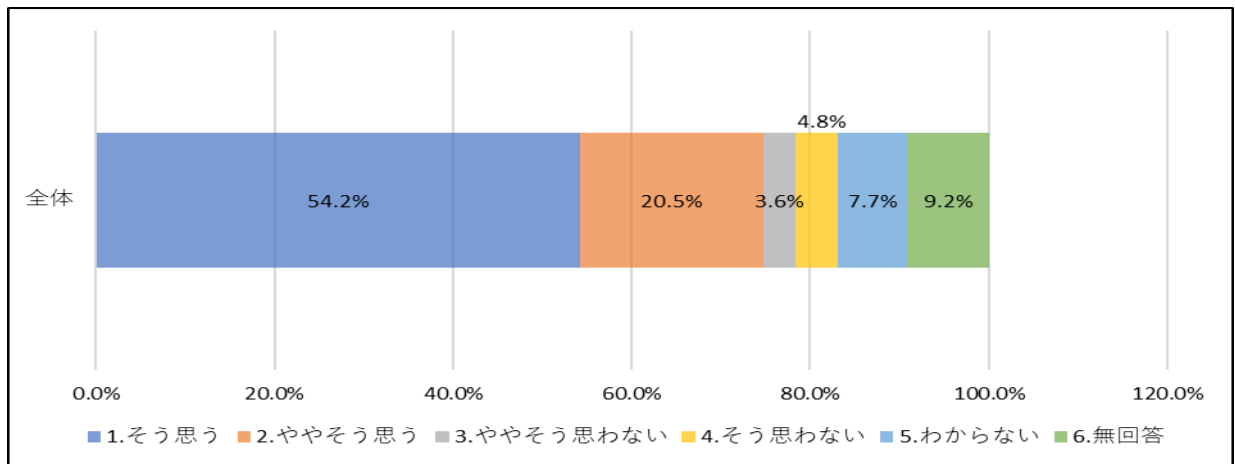
(6) 責任を取って自殺することは仕方がない

「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『そう思う (計)』の割合は 6.0%、『そう思わない』と「ややそう思わない」をあわせた『そう思わない (計)』の割合は 62.8%となっている。

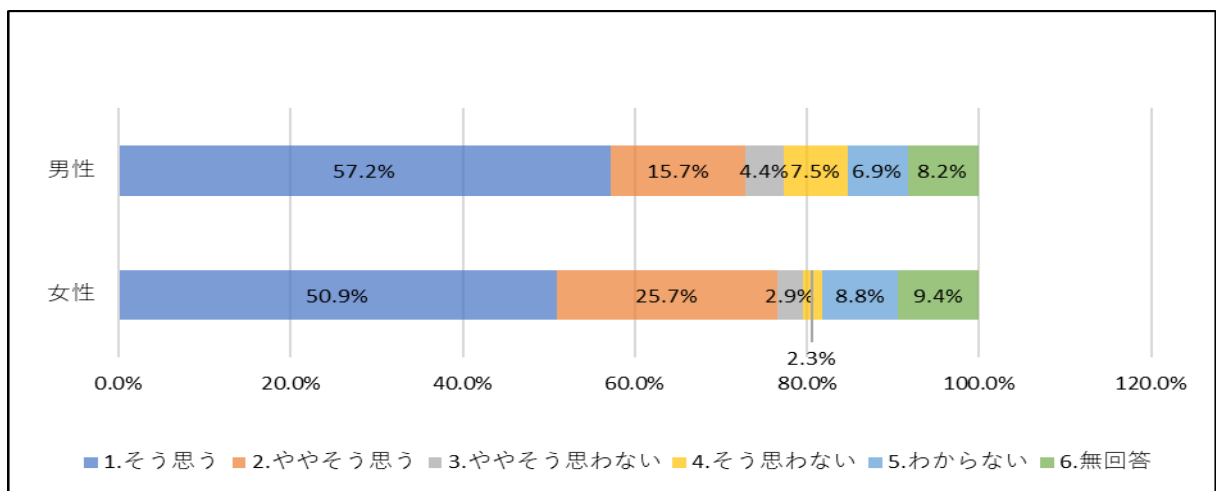
年代別でみると、『そう思わない (計)』の割合は「20 歳代」が 90%で最も高くなっている。

(1) 自殺せずに生きていれば良いことがある

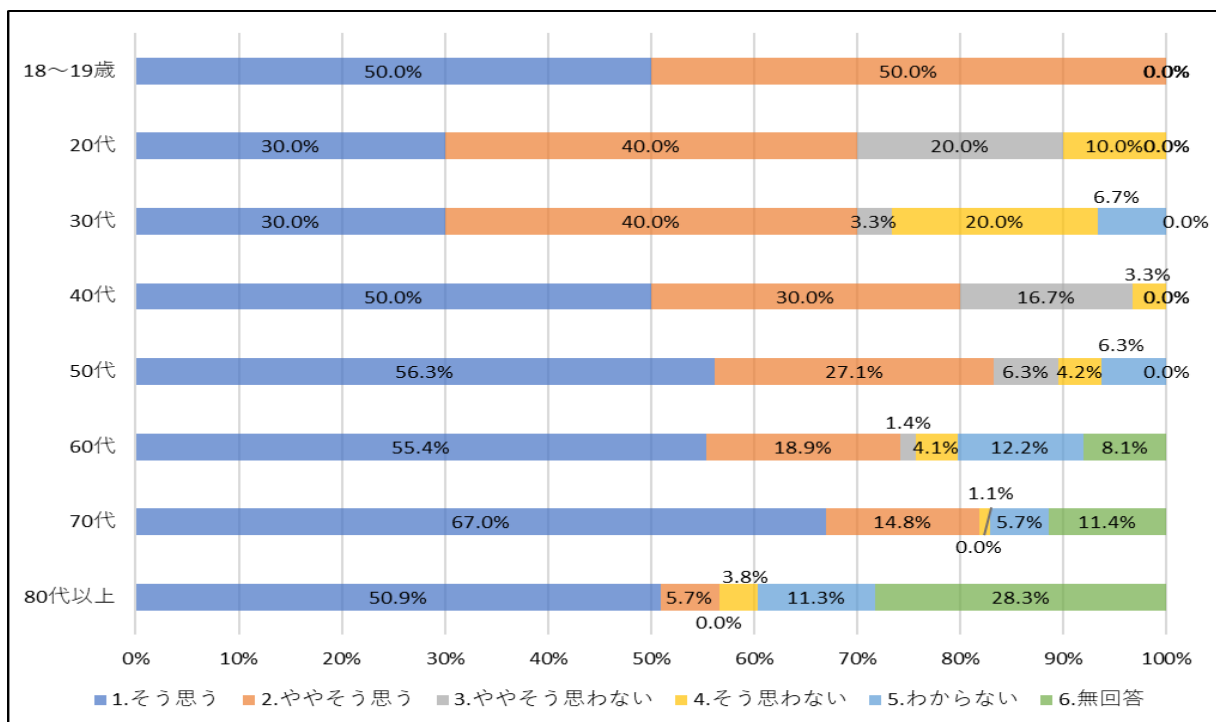
【全体】



【性別】

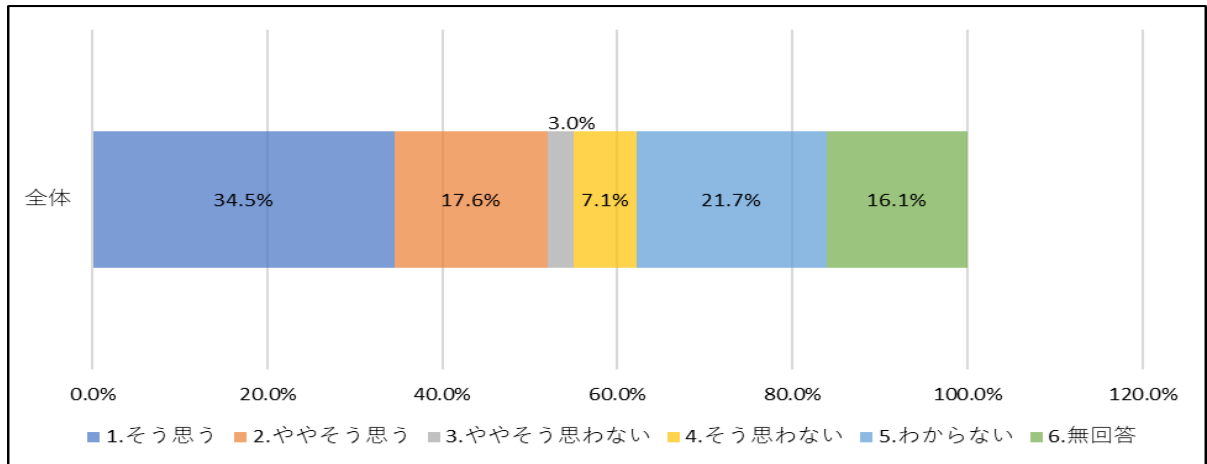


【年代別】

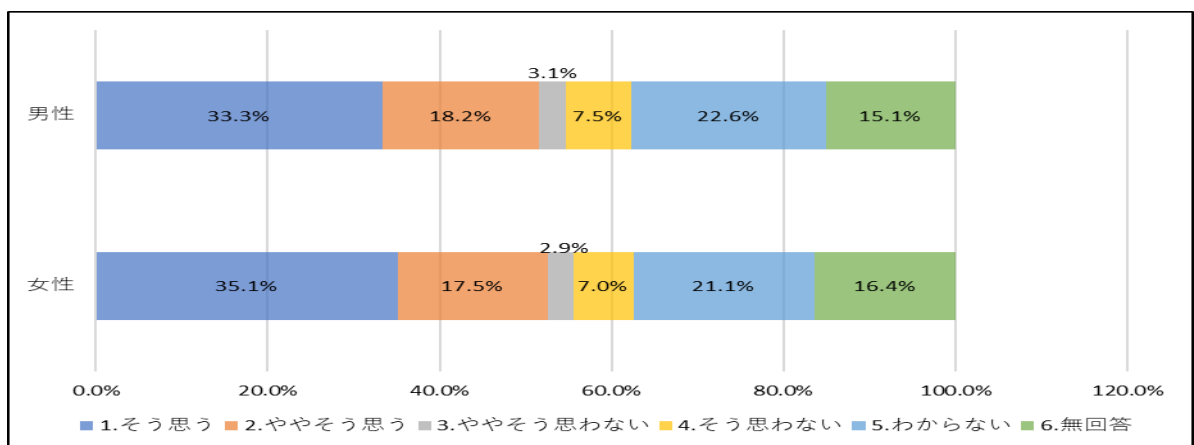


(2) 自殺する人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いている

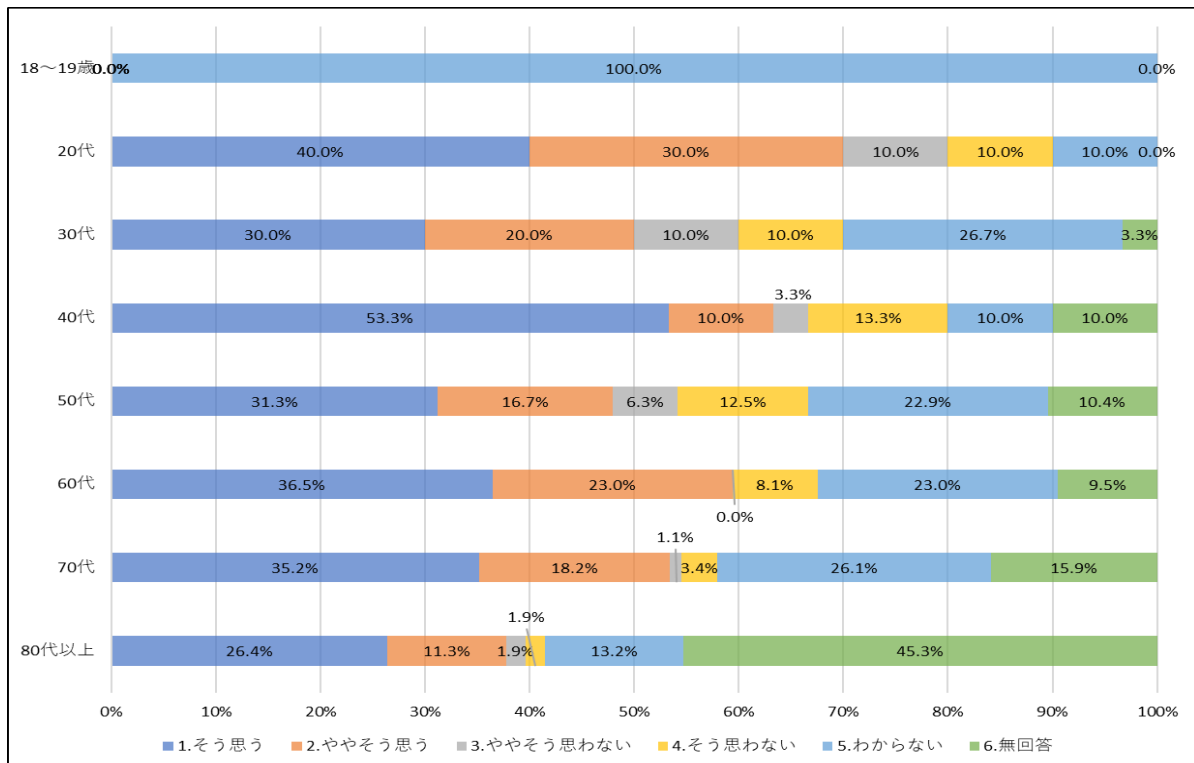
【全体】



【性別】

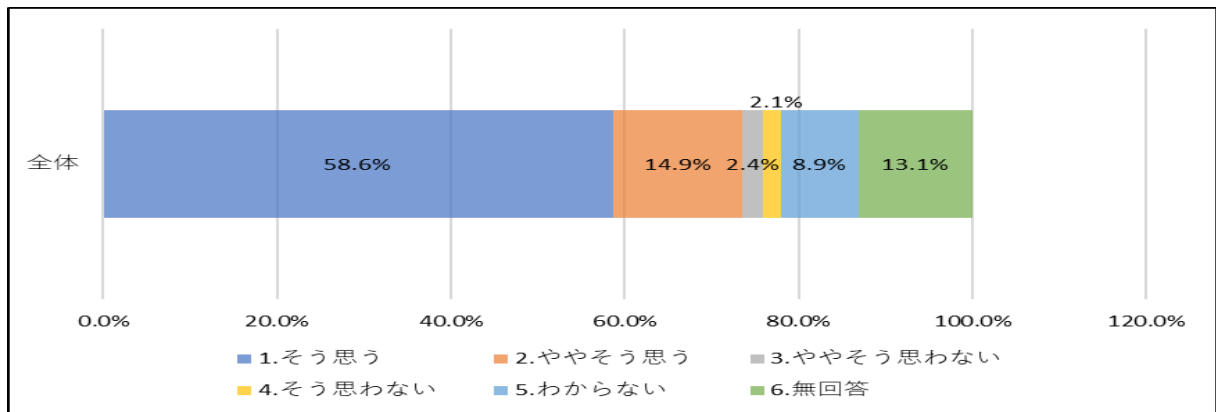


【年代別】

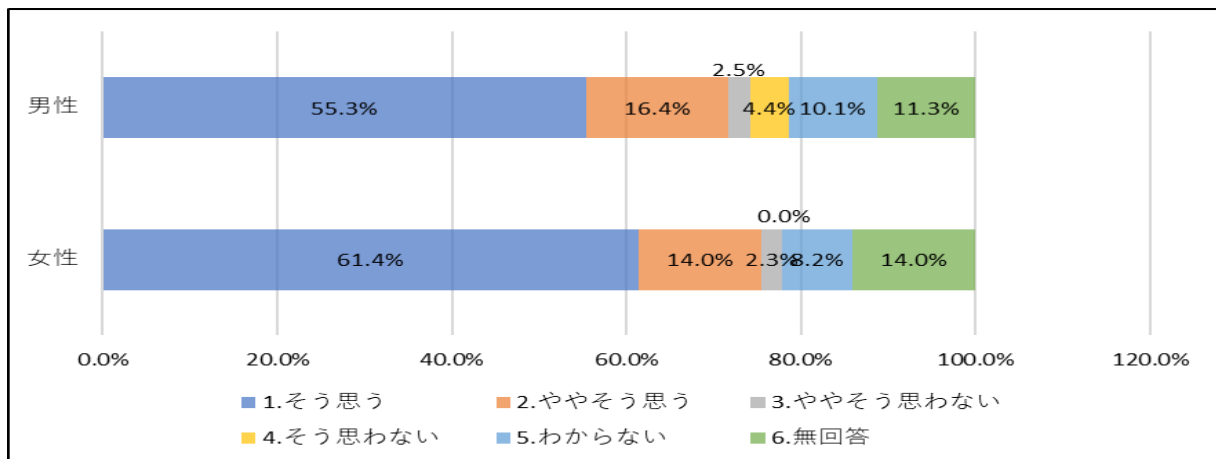


(3) 自殺する人は、よほどつらいことがあったのだと思う

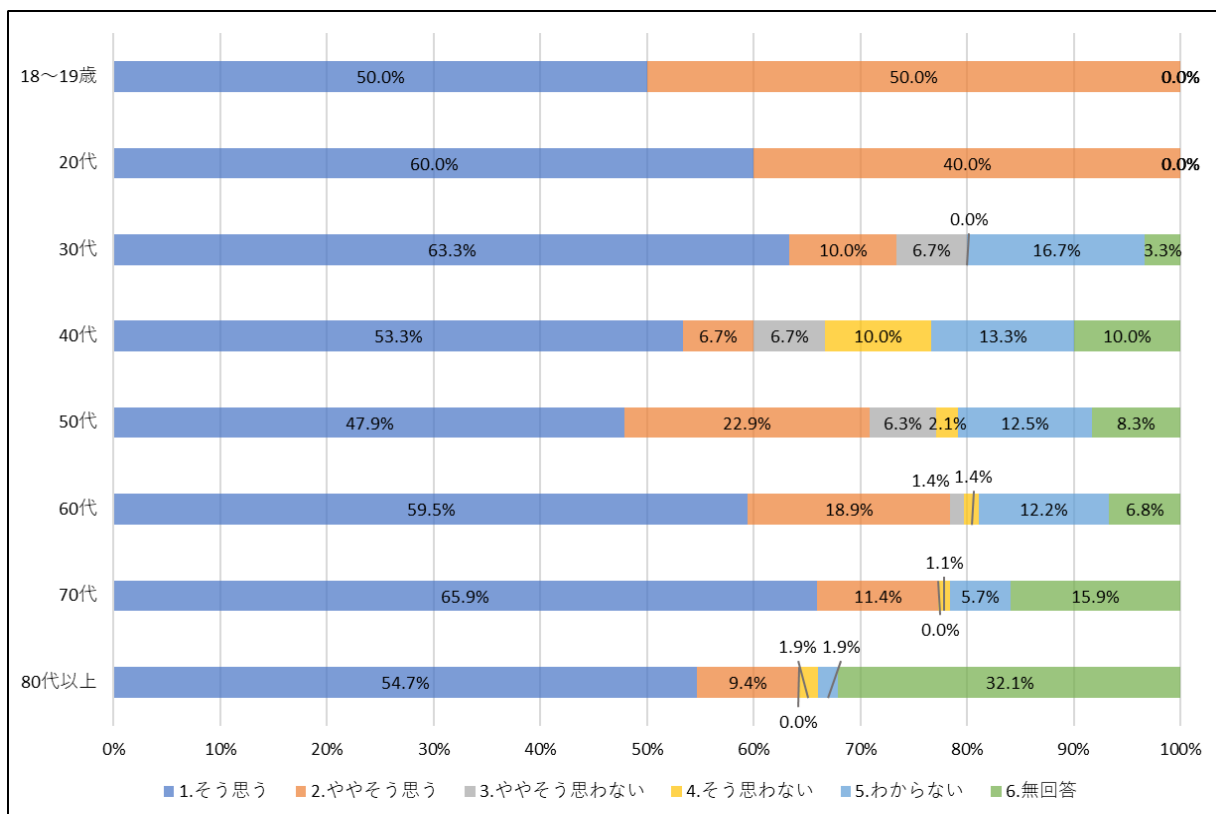
【全体】



【性別】

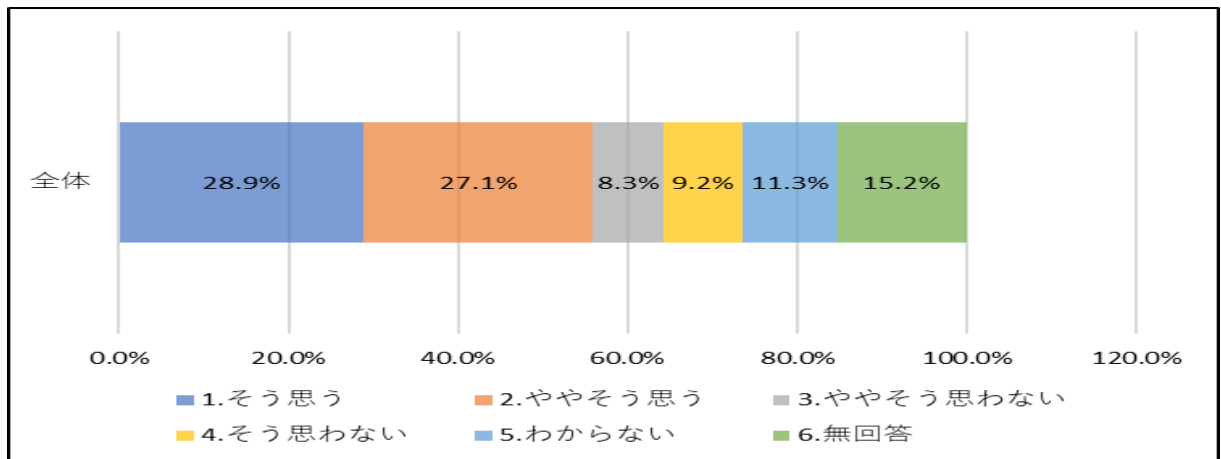


【年代別】

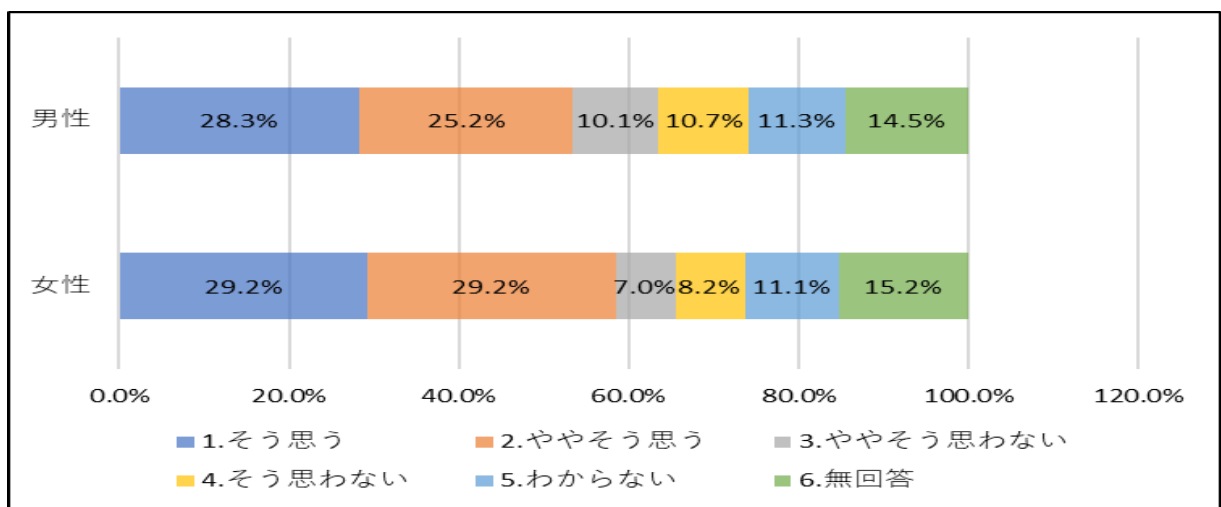


(4) 自殺は、その多くが防ぐことのできる社会的な問題である

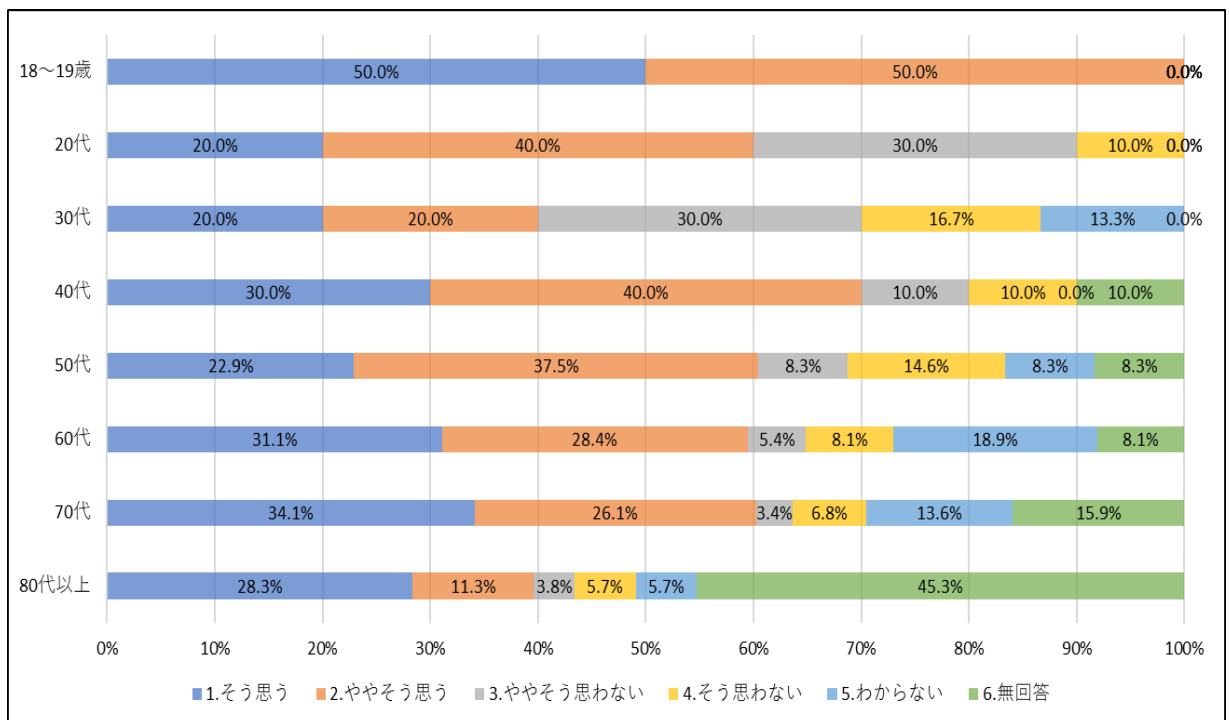
【全体】



【性別】

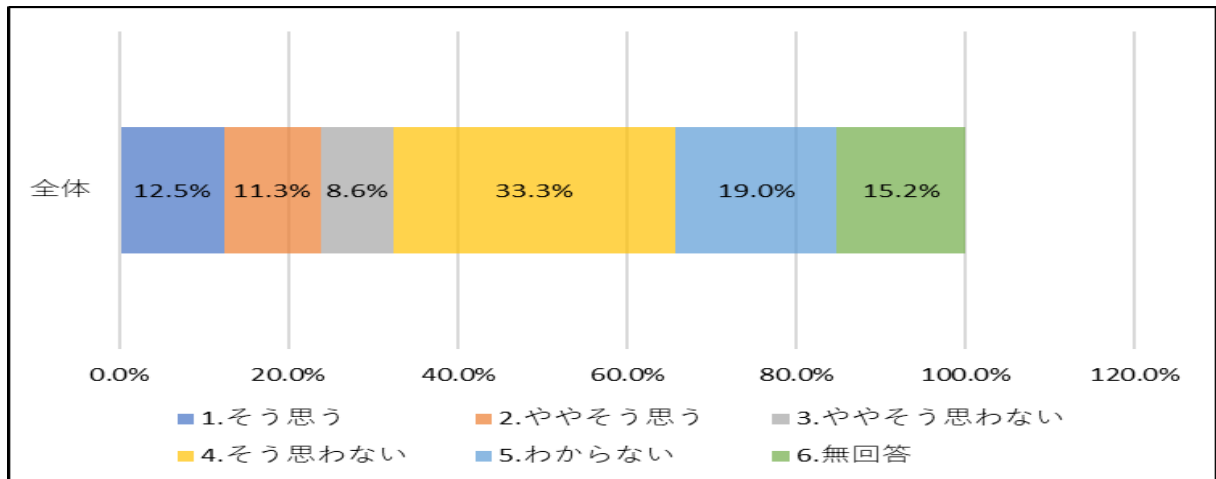


【年代別】

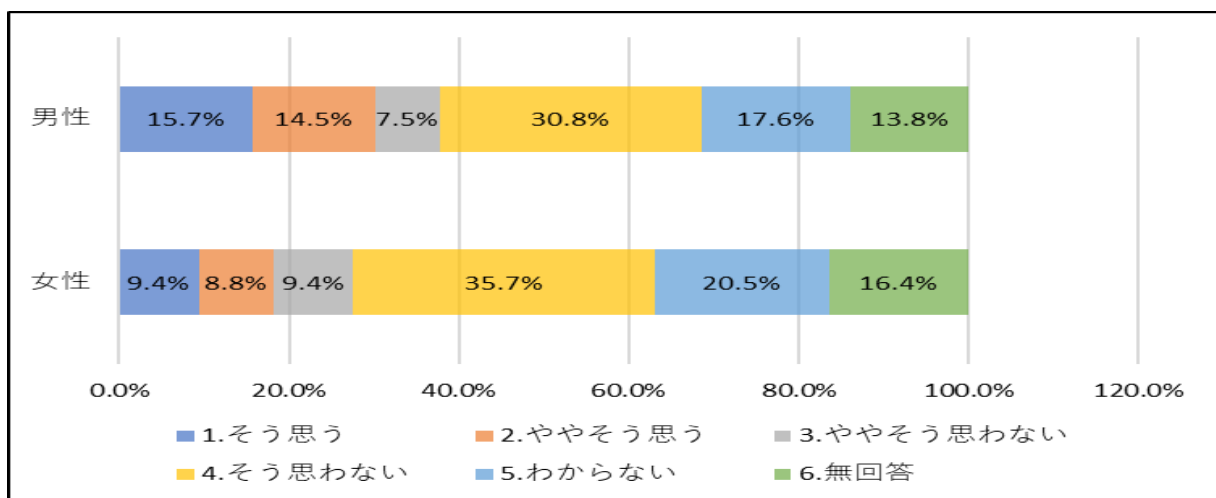


(5) 生死は最終的に本人の判断に任せるべきである

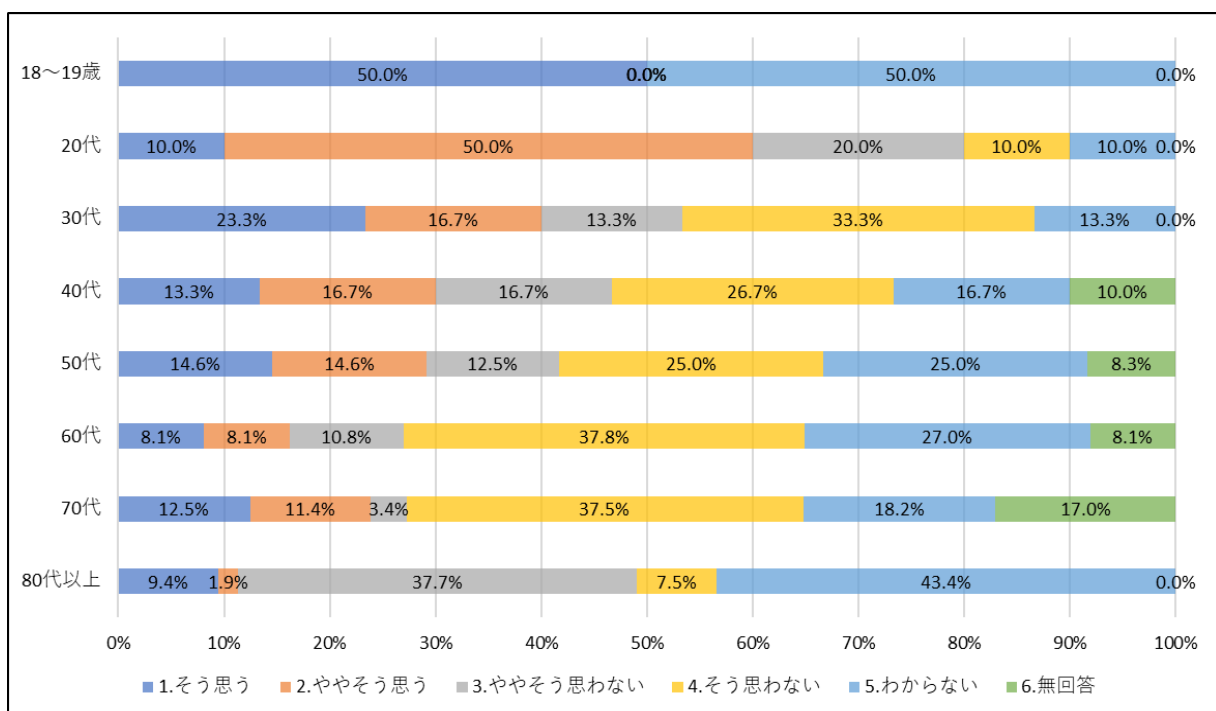
【全体】



【性別】

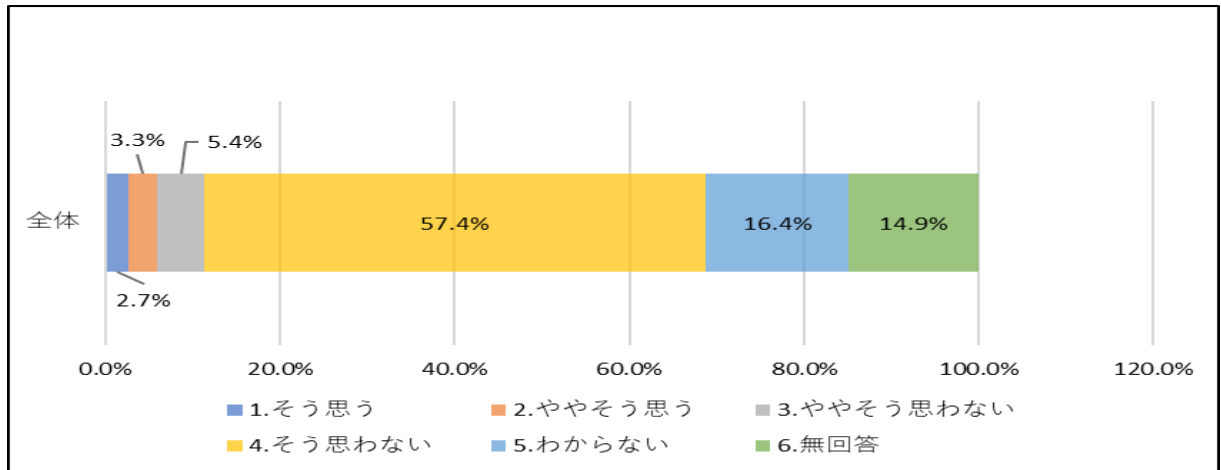


【年代別】

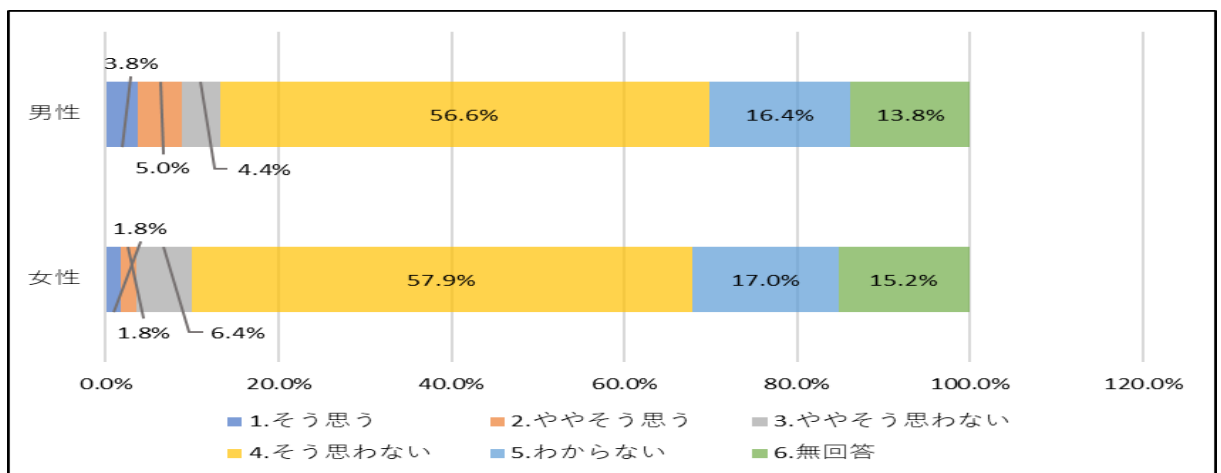


(6) 責任を取って自殺することは仕方がない

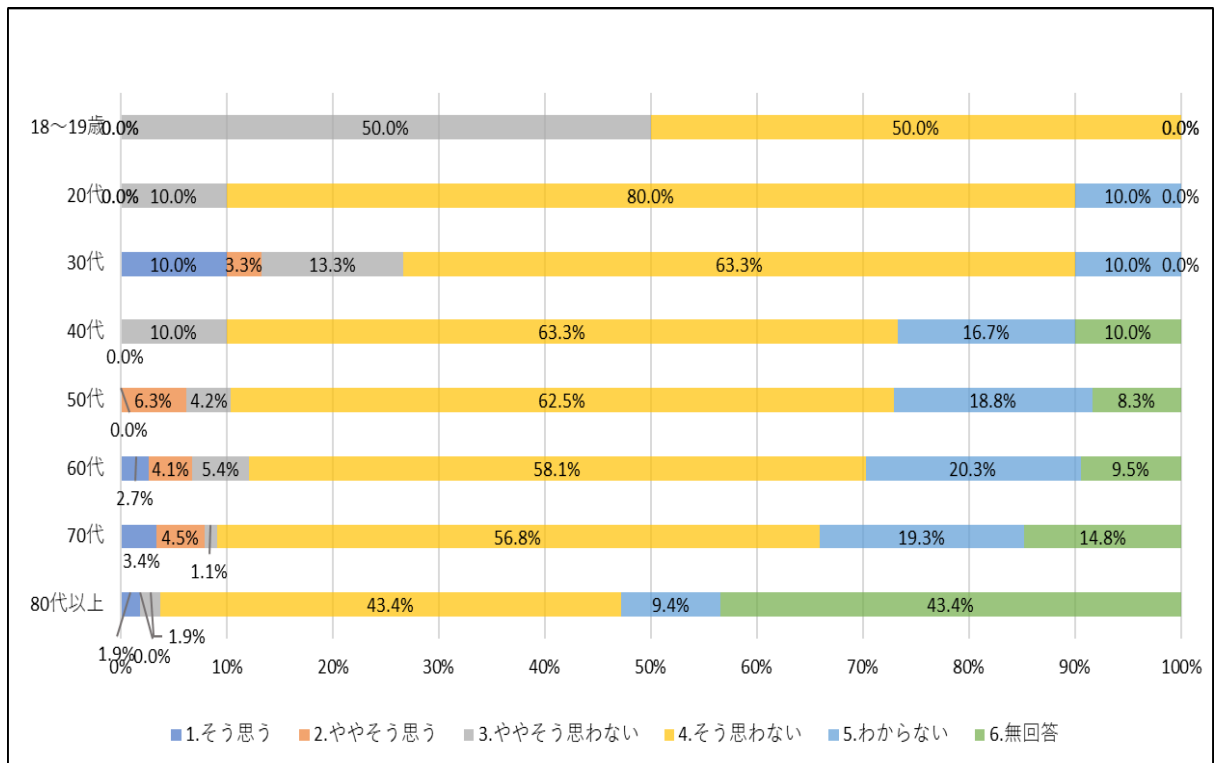
【全体】



【性別】



【年代別】



問 22 あなたは、もしも身近な人から「死にたい」と打ち明けられたとき、どう対応するのがよいと思いますか。

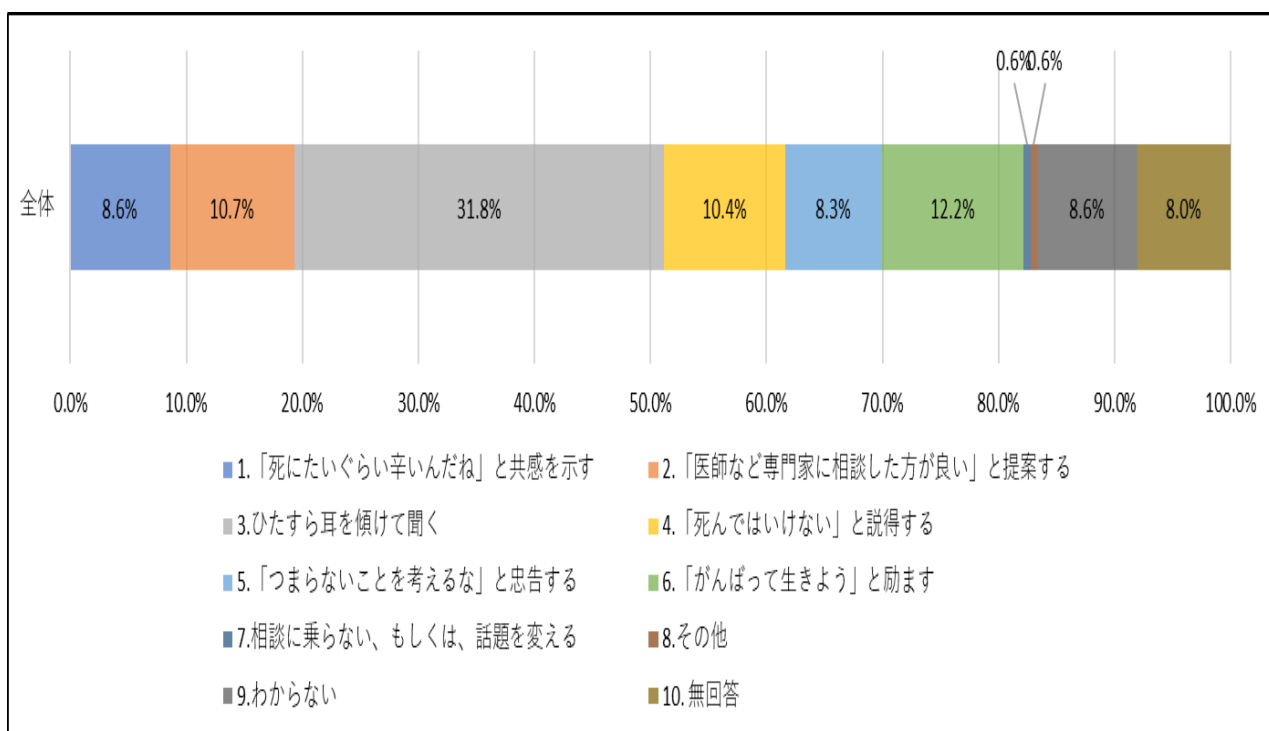
以下の中であなたのお考えに最も近いもの 1 つだけ に○をつけてください。

「ひたすら耳を傾けて聞く」と回答した方の割合が 31.8%と最も高く、以下、「「がんばって生きよう」と励ます」が 12.2%、「医師など専門家に相談した方が良い」と提案する」が 10.7%などとなっている。

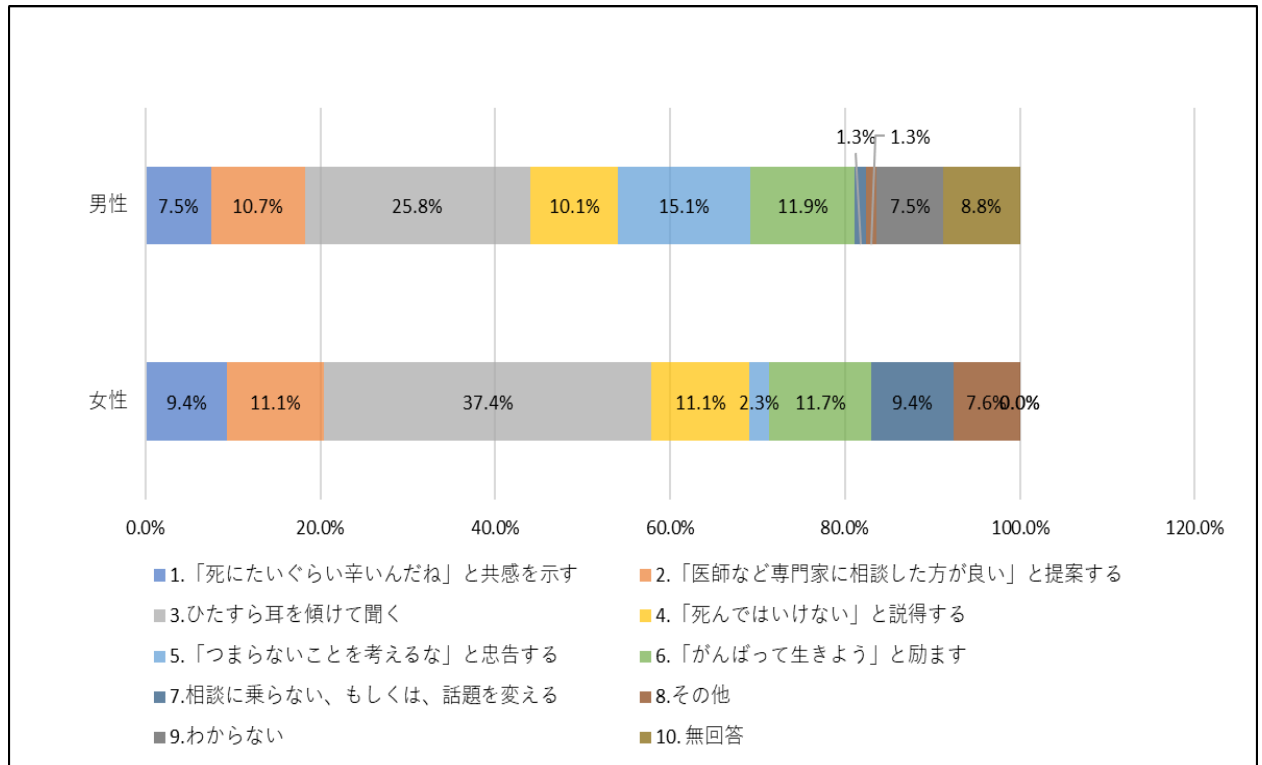
性別でみたところ、「忠告する」「励ます」と答えた方の割合は、女性よりも男性の方が高く、「共感を示す」「提案する」「耳を傾けて聞く」「説得する」と答えた方の割合は、男性よりも女性の方が高くなっている。

年齢別でみると、「80 歳以上」を除く全ての年代で「ひたすら耳を傾けて聞く」の割合が最も高い。

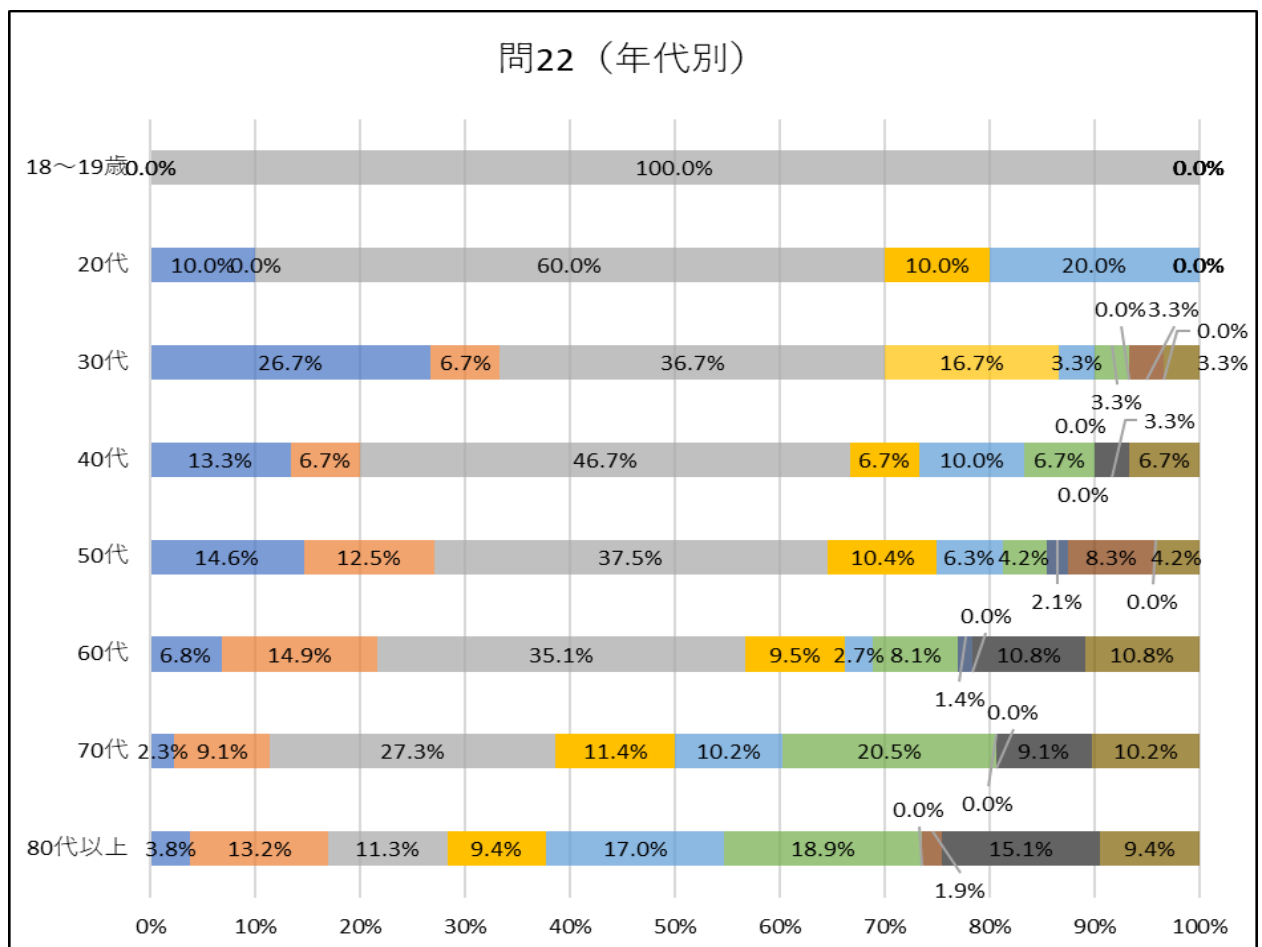
【全体】



【性別】



【年代別】



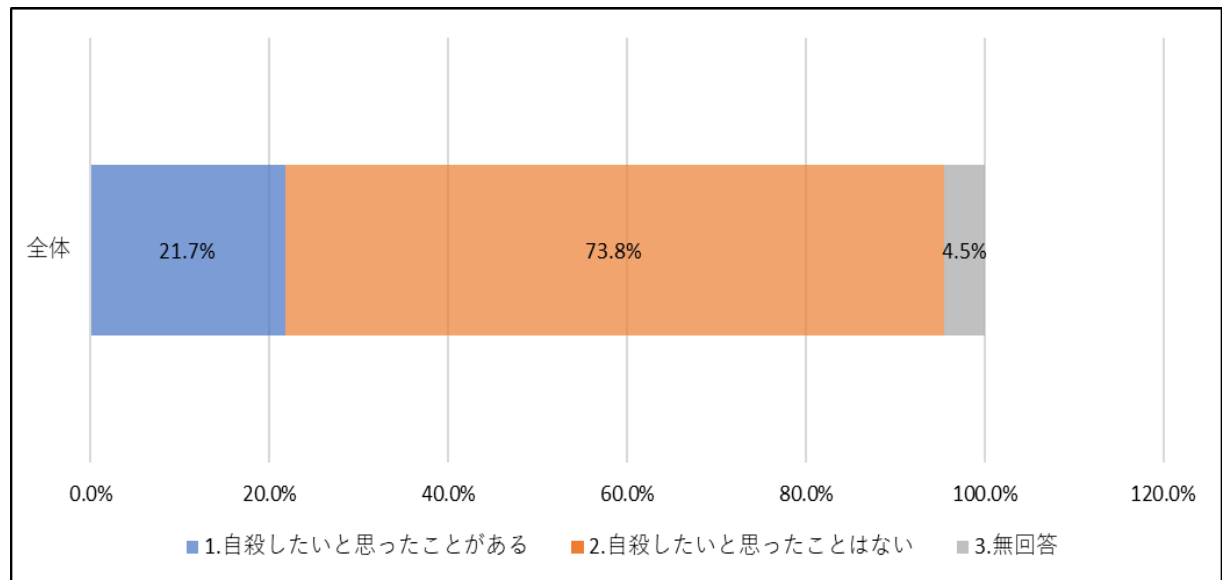
問 23 あなたは、これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことがありますか。
以下の中であなたに最も近いもの 1 つだけ ○をつけてください。

「自殺したいと思ったことがある」と答えた方の割合は 21.7%、「自殺したいと思ったことはない」と答えた方の割合は 73.8%となっている。

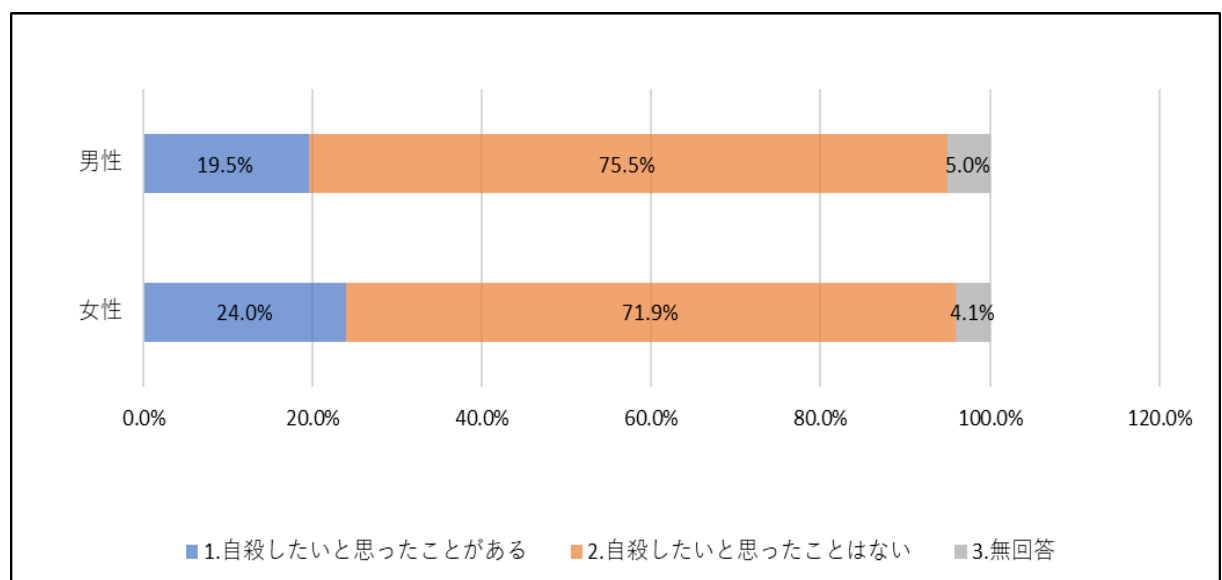
性別でみると、「ある」と答えた方の割合は、男性（19.5%）よりも女性（24.0%）が高くなっている。

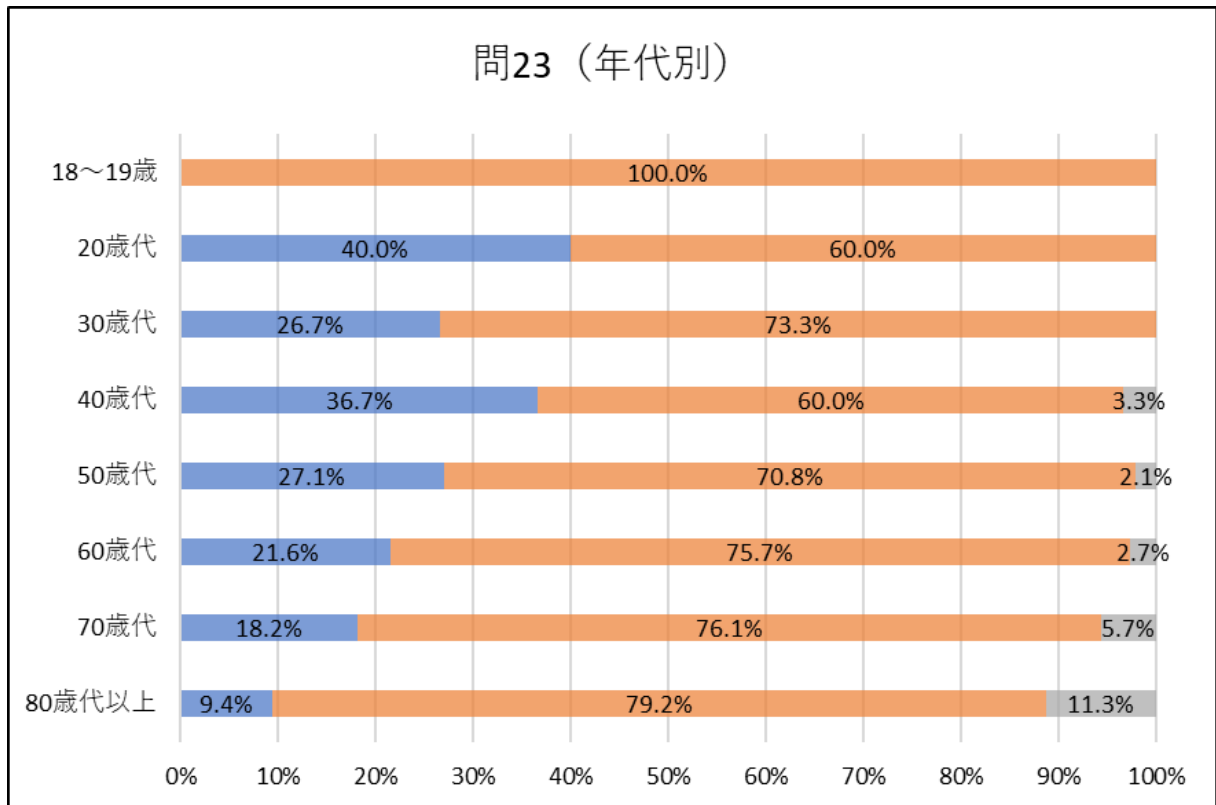
年代別でみると、「20 歳代」が 40.0%と最も高く、以下、「40 歳代」が 36.7%、「50 歳代」が 27.1%などとなっている。

【全体】



【性別】





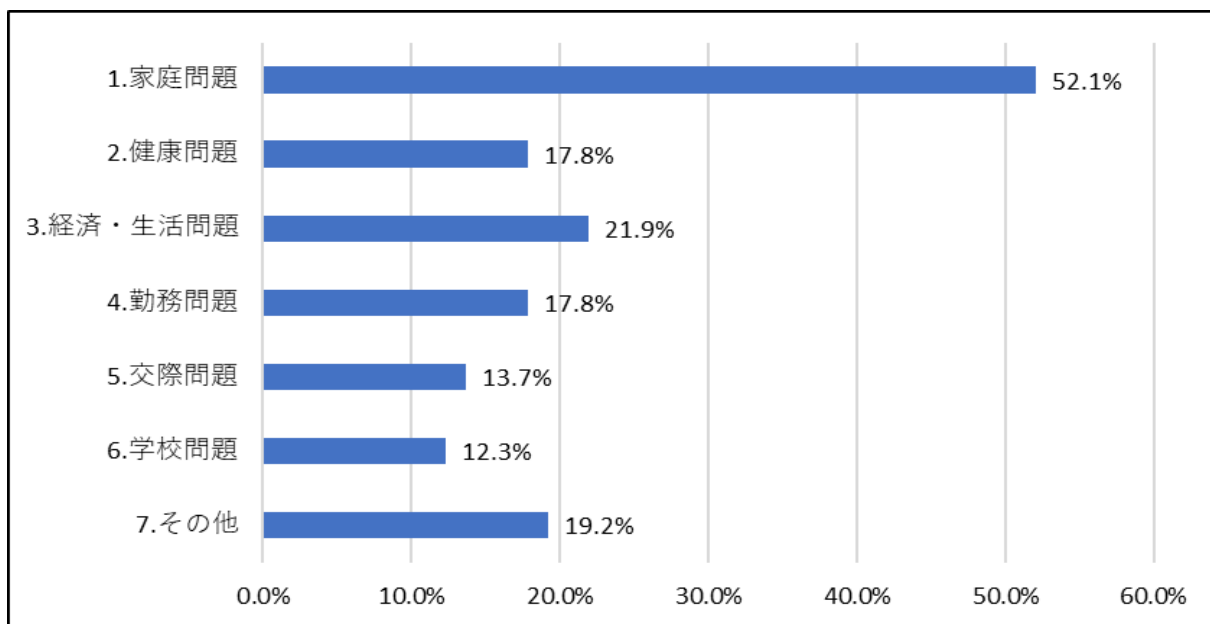
問 24 【問 23 で「1 自殺したいと思ったことがある」と答えた方にお伺いします】

それは、どのような事柄が原因ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「自殺したいと思ったことがある」と答えた方（73 人）に、原因を聞いたところ、「家庭問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病等）」と答えた方の割合が 52.1%と最も高く、以下、「経済・生活問題（倒産、業績不振、負債、失業、借金等）」が 21.9%、「勤務問題（転勤、仕事の不信、職場の人間関係、長時間労働等）」と「健康問題」が 17.8%などとなっている。

性別でみると、「家庭問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病等）」と答えた方の割合が男性 35.5%、女性が 65.9%と最も高くなっている。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1.家庭問題	35.5%	65.9%	0.0%	25.0%	37.5%	54.5%	53.8%	56.3%	68.8%	20.0%
2.健康問題	22.6%	14.6%	0.0%	0.0%	25.0%	36.4%	7.7%	25.0%	6.3%	20.0%
3.経済・生活問題	22.6%	22.0%	0.0%	25.0%	50.0%	36.4%	23.1%	12.5%	12.5%	0.0%
4.勤務問題	25.8%	12.2%	0.0%	25.0%	50.0%	27.3%	30.8%	0.0%	6.3%	0.0%
5.交際問題	19.4%	9.8%	0.0%	100.0%	12.5%	9.1%	23.1%	0.0%	6.3%	0.0%
6.学校問題	19.4%	7.3%	0.0%	50.0%	25.0%	18.2%	0.0%	6.3%	12.5%	0.0%
7.その他	16.1%	19.5%	0.0%	25.0%	37.5%	9.1%	7.7%	18.8%	12.5%	60.0%

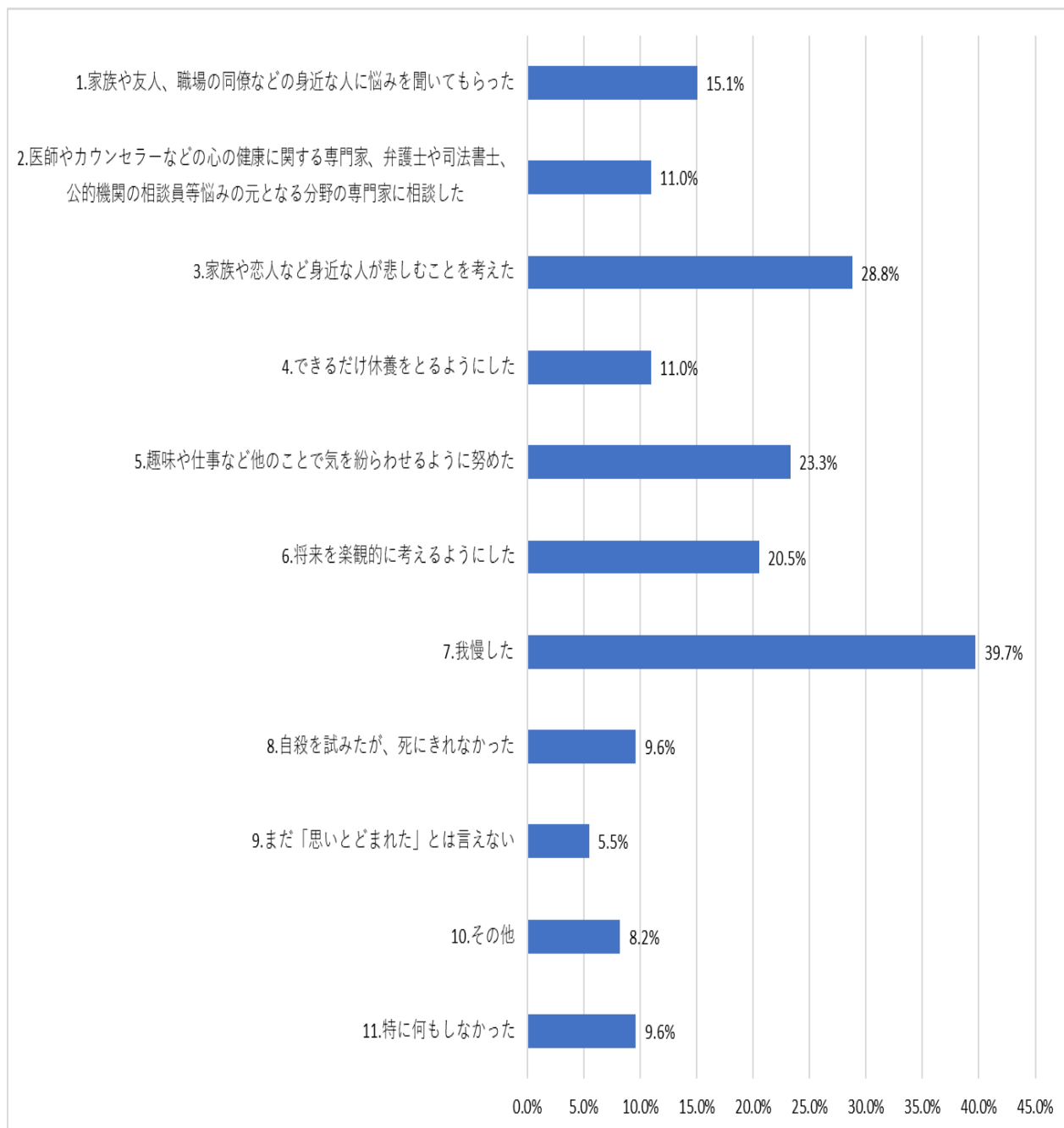
問 25 【問 23 で「1 自殺したいと思ったことがある」と答えた方にお伺いします】

そのように考えたとき、どのように自殺を思いとどまりましたか。以下の中であてはまるものすべてに○をつけてください。

「自殺したいと思ったことがある」と答えた方（73 人）に、どのようにして思いとどまったかを聞いたところ、「我慢した」と答えた方の割合が 39.7%と最も高く、以下、「家族や恋人など身近な人が悲しむことを考えた」が 28.8%、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」が 23.3%などとなっている。

年代別でみると、「我慢した」と回答した方の割合は、「30 歳代」「70 歳代」「80 歳代以上」の各年代において他の年代よりも高くなっている。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1.家族や友人、職場の同僚などの身近な人に悩みを聞いてもらった	16.1%	14.6%	0.0%	50.0%	0.0%	9.1%	15.4%	12.5%	12.5%	0.0%
2.医師やカウンセラーなどの心の健康に関する専門家、弁護士や司法書士、公的機関の相談員等悩みの元となる分野の専門家に相談した	6.5%	14.6%	0.0%	0.0%	12.5%	27.3%	23.1%	6.3%	0.0%	0.0%
3.家族や恋人など身近な人が悲しむことを考えた	29.0%	29.3%	0.0%	25.0%	37.5%	54.5%	23.1%	12.5%	31.3%	20.0%
4.できるだけ休養をとるようにした	9.7%	12.2%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	15.4%	12.5%	6.3%	0.0%
5.趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	25.8%	22.0%	0.0%	25.0%	12.5%	27.3%	30.8%	18.8%	31.3%	0.0%
6.将来を楽観的に考えるようにした	25.8%	17.1%	0.0%	0.0%	12.5%	54.5%	23.1%	25.0%	6.3%	0.0%
7.我慢した	29.0%	48.8%	0.0%	25.0%	50.0%	9.1%	30.8%	31.3%	68.8%	60.0%
8.自殺を試みたが、死にきれなかった	12.9%	7.3%	0.0%	25.0%	0.0%	18.2%	7.7%	12.5%	6.3%	0.0%
9.まだ「思いとどまれた」とは言えない	12.9%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	9.1%	7.7%	6.3%	0.0%	0.0%
10.その他	12.9%	4.9%	0.0%	25.0%	12.5%	9.1%	0.0%	12.5%	0.0%	20.0%
11.特に何もなかった	9.7%	7.3%	0.0%	0.0%	25.0%	9.1%	15.4%	0.0%	0.0%	40.0%

問 26 【問 23 で「1 自殺したいと思ったことがある」と答えた方にお伺いします】

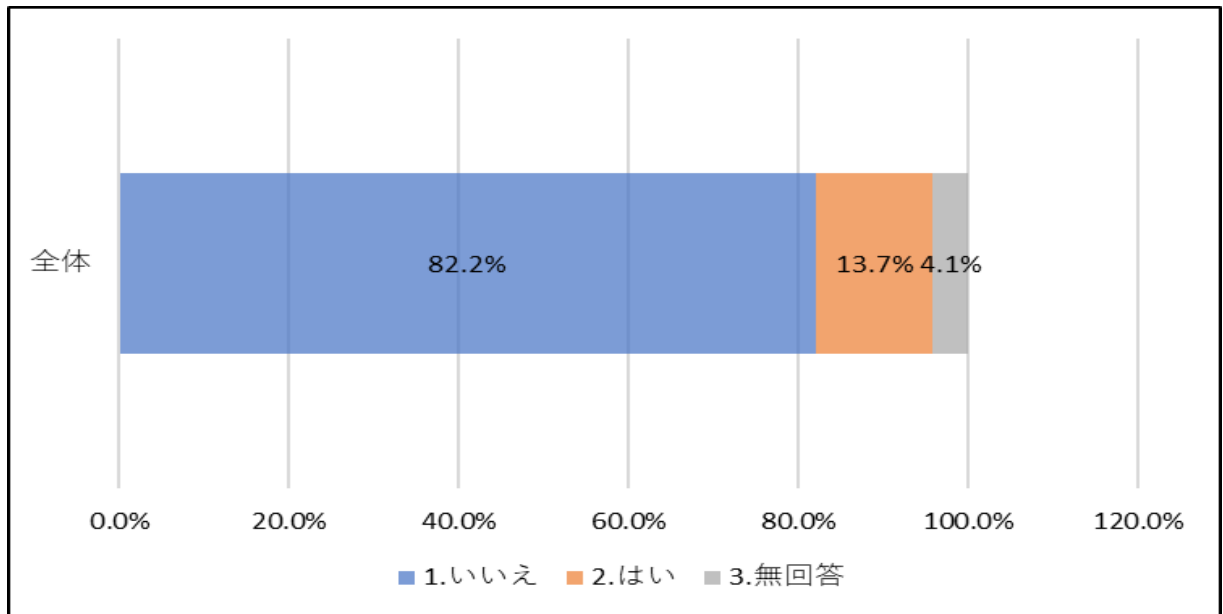
これまでに、自殺未遂の経験がありますか。以下の中で 1 つだけ に○をつけてください。

「自殺したいと思ったことがある」と答えた方（73 人）に、自殺未遂の経験を聞いたところ、「はい」が13.7%、「いいえ」が82.2%となっている。

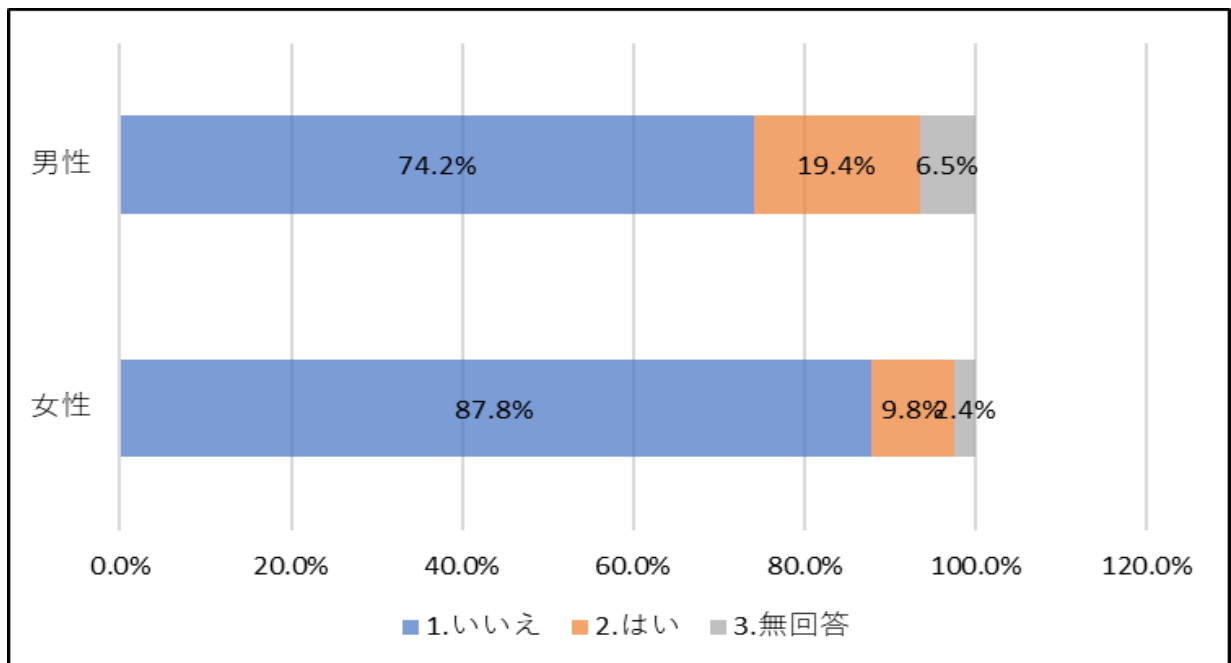
性別でみると、「ある」と答えた方の割合は、女性（9.8%）よりも男性（19.4%）の方が高くなっている。

年代別でみると、「20 歳代」と「30 歳代」が25.0%と最も高くなっている。

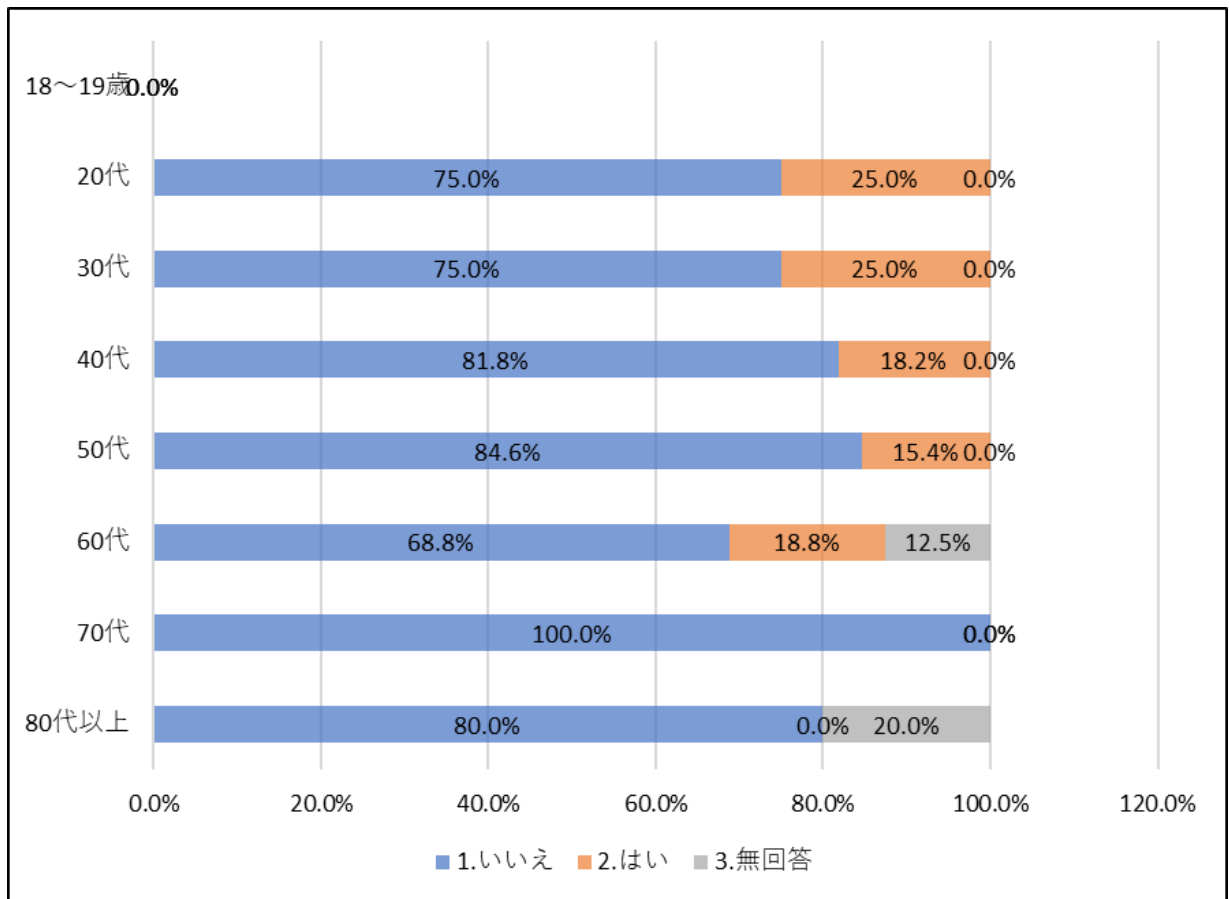
【全体】



【性別】



【年代別】

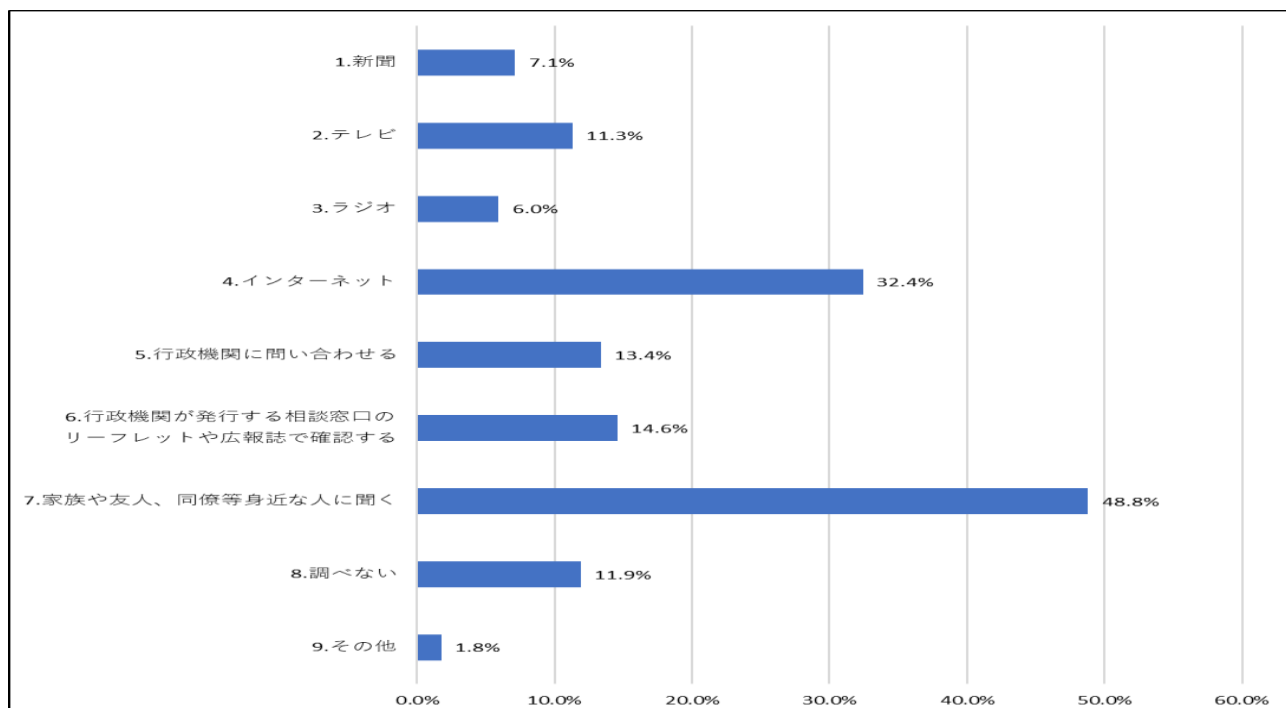


問 27 あなたがこころの悩みの相談をしたいと思った場合、相談先の情報をどのように集めますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「家族や友人、同僚等身近な人に聞く」と回答した方の割合が 48.8%と最も高く、以下、「インターネット」が 32.4%、「行政機関が発行する相談窓口のリーフレットや広報誌で確認する」が 14.6%、「行政機関に問い合わせる」が 13.4%などとなっている。

年代別でみると、「20 歳代」から「50 歳代」の各年齢では「インターネット」の割合が最も高く、「60 歳代」から「80 歳代以上」の各年代では、「家族や友人、同僚等身近な人に聞く」の割合が最も高くなっている。

【全体】



【性別・年代別】

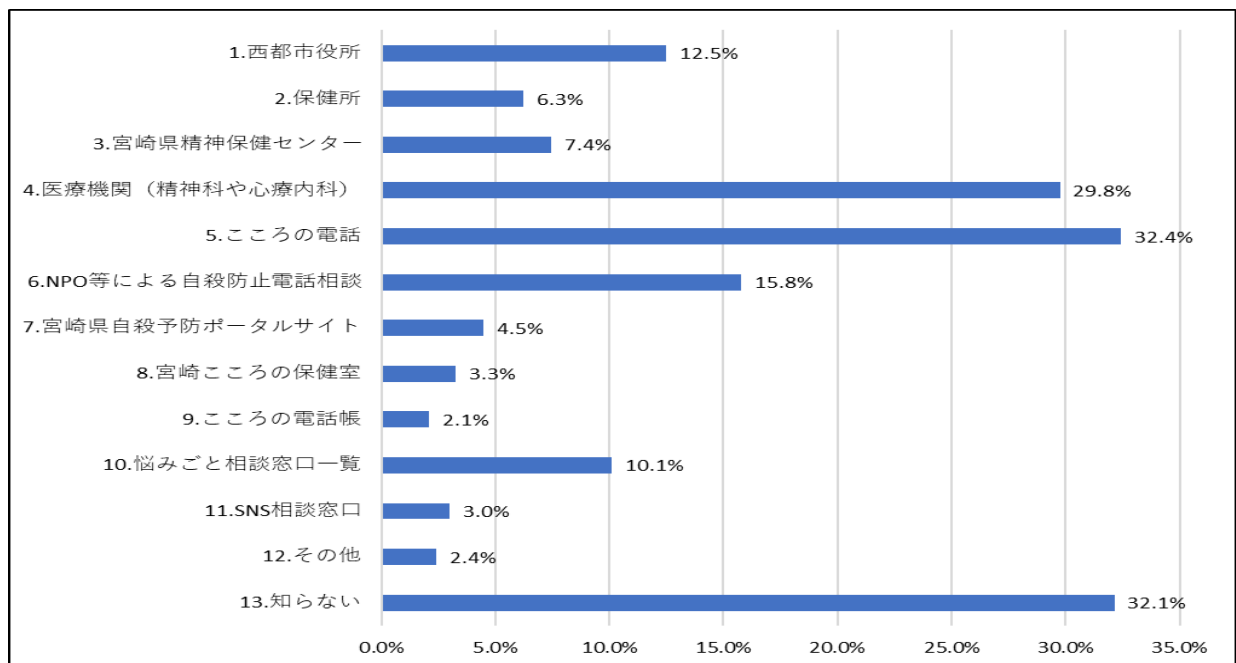
	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1.新聞	6.3%	7.0%	0.0%	0.0%	3.3%	6.7%	6.3%	9.5%	8.0%	7.5%
2.テレビ	9.4%	12.9%	0.0%	0.0%	13.3%	23.3%	4.2%	13.5%	10.2%	11.3%
3.ラジオ	7.5%	4.1%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	2.1%	10.8%	4.5%	11.3%
4.インターネット	31.4%	33.3%	0.0%	50.0%	83.3%	76.7%	52.1%	31.1%	6.8%	3.8%
5.行政機関に問い合わせる	18.9%	8.8%	0.0%	0.0%	10.0%	13.3%	10.4%	17.6%	13.6%	15.1%
6.行政機関が発行する相談窓口のリーフレットや広報誌で確認する	11.9%	16.4%	0.0%	0.0%	10.0%	6.7%	14.6%	24.3%	12.5%	15.1%
7.家族や友人、同僚等身近な人に聞く	45.3%	51.5%	50.0%	50.0%	36.7%	26.7%	47.9%	51.4%	60.2%	47.2%
8.調べない	13.8%	9.9%	0.0%	10.0%	10.0%	6.7%	10.4%	8.1%	14.8%	17.0%
9.その他	2.5%	1.2%	50.0%	0.0%	3.3%	0.0%	2.1%	2.7%	0.0%	1.9%

問 28 あなたが知っている、こころの悩みの相談窓口はどこですか。また、その窓口を案内するサイトやリーフレットで知っているものはどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「こころの電話（電話相談窓口）」と答えた方の割合が 32.4%と最も高く、以下、「知らない」が 32.1%、「医療機関（精神科や診療内科）」が 29.8%、「NPO 宮崎自殺防止センター」や「NPO 宮崎いのちの電話」等の自殺防止電話相談」が 15.8%、「西都市役所」が 12.5%となっている。

年代別でみると、「18～19 歳」から「60 歳代」の各年代において、「こころの電話（電話相談窓口）」と回答した方の割合が高い。また、「30 歳代」から「80 歳代上」の各年代において、約 3 割が「医療機関（精神科や診療内科）」と回答している。一方、「18～19 歳」、「20 歳代」、「50 歳代」、「70 歳代」、「80 歳代以上」の各年齢において、約 3 割が「知らない」と回答している。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1.西都市役所	11.3%	13.5%	0.0%	0.0%	10.0%	6.7%	12.5%	14.9%	13.6%	15.1%
2.保健所	5.7%	6.4%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	4.2%	9.5%	8.0%	3.8%
3.宮崎県精神保健センター	6.9%	7.6%	0.0%	0.0%	3.3%	3.3%	8.3%	9.5%	8.0%	9.4%
4.医療機関（精神科や心療内科）	24.5%	35.1%	0.0%	20.0%	33.3%	33.3%	33.3%	32.4%	30.7%	18.9%
5.こころの電話	26.4%	38.0%	50.0%	20.0%	43.3%	56.7%	31.3%	45.9%	22.7%	13.2%
6.NPO等による自殺防止電話相談	10.7%	20.5%	50.0%	0.0%	16.7%	13.3%	22.9%	20.3%	14.8%	7.5%
7.宮崎県自殺予防ポータルサイト	2.5%	6.4%	0.0%	0.0%	3.3%	6.7%	4.2%	4.1%	5.7%	3.8%
8.宮崎こころの保健室	0.0%	6.4%	0.0%	0.0%	3.3%	10.0%	2.1%	1.4%	4.5%	1.9%
9.こころの電話帳	0.0%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.7%	2.3%	3.8%
10.悩みごと相談窓口一覧	12.6%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	4.2%	12.2%	15.9%	15.1%
11.SNS相談窓口	3.8%	2.3%	0.0%	10.0%	0.0%	3.3%	10.4%	1.4%	1.1%	1.9%
12.その他	1.9%	2.3%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	4.2%	2.7%	1.1%	3.8%
13.知らない	35.2%	29.8%	50.0%	70.0%	26.7%	23.3%	39.6%	27.0%	30.7%	35.8%

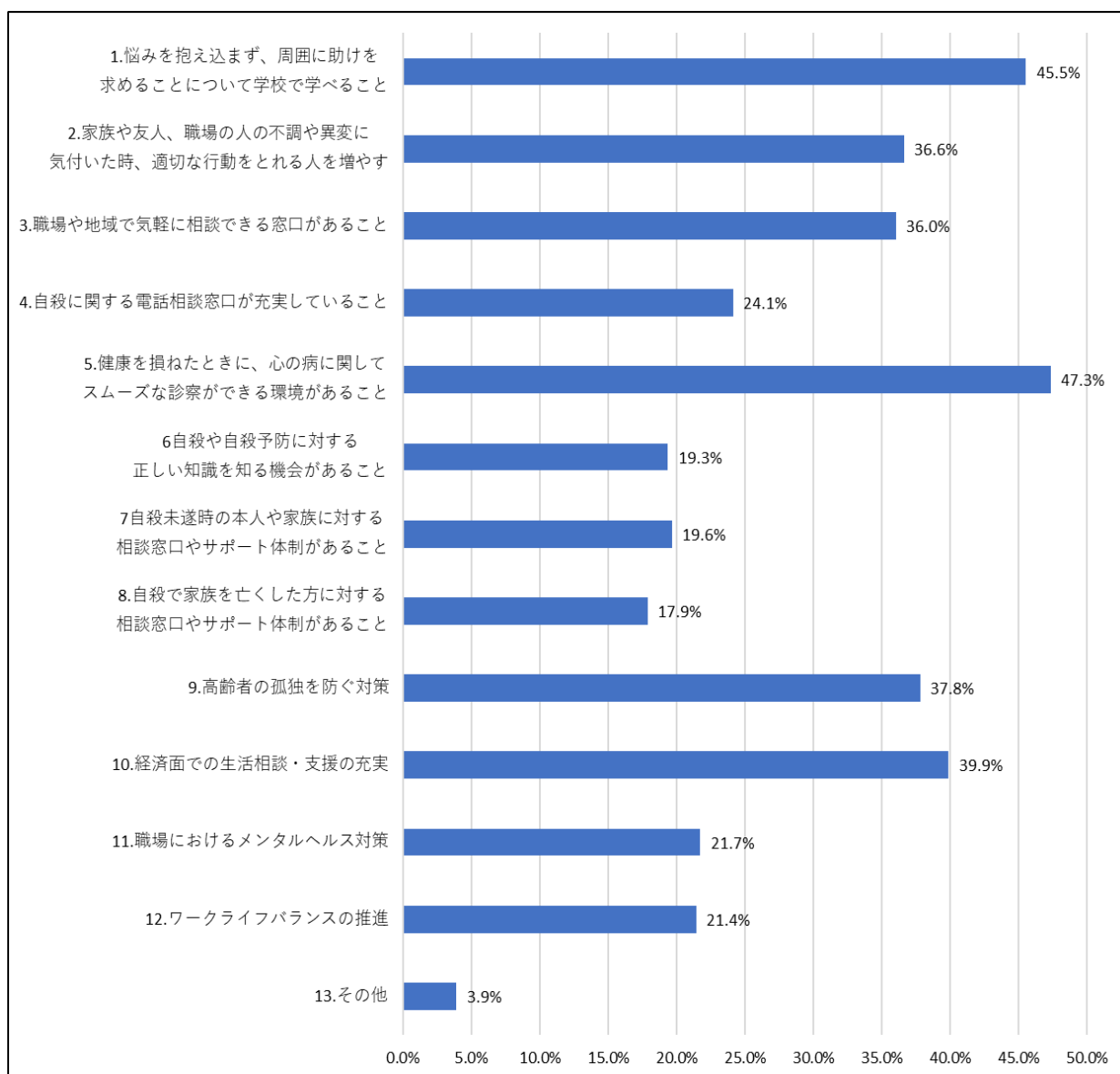
問 29 今後、必要と思われる自殺対策は何だと思いますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

「健康を損ねたときに、心の病に関してスムーズな診療ができる環境があること」と答えた方の割合が47.3%と最も高く、次いで、「悩みを抱え込まず、周囲に助けを求めることについて学校で学べること(SOS の出し方教育)」が45.5%となっている。

年代別でみると、「18 歳～19 歳」から「50 歳代」の各年代において、半数以上が「悩みを抱え込まず、周囲に助けを求めることについて学校で学べること(SOS の出し方教育)」が必要だと回答している。「20 歳代」においては、半数以上が「家族や友人、職場の人の不調や異変に気づいた時、適切な行動をとれる人を増やす」、「自殺や自殺予防に対する正しい知識を知る機会があること」、「自殺未遂時の本人や家族に対する相談窓口やサポート体制があること」が必要だと回答している。また、「50 歳代」から「60 歳代」において、半数以上が「健康を損ねたときに、心の病に関してスムーズな診療ができる環境があること」が必要だと回答している。「70 歳代」から「80 歳代以上」の年代においては、「高齢者の孤立を防ぐ対策」が必要だと回答している割合が高い。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1.悩みを抱え込まず、周囲に助けを求めることについて学校で学べること	45.3%	46.2%	50.0%	50.0%	60.0%	70.0%	54.2%	48.6%	37.5%	24.5%
2.家族や友人、職場の人の不調や異変に気付いた時、適切な行動をとれる人を増やす	34.6%	39.2%	50.0%	60.0%	40.0%	36.7%	41.7%	37.8%	36.4%	24.5%
3.職場や地域で気軽に相談できる窓口があること	33.3%	38.0%	50.0%	40.0%	30.0%	43.3%	35.4%	37.8%	40.9%	24.5%
4.自殺に関する電話相談窓口が充実していること	21.4%	26.3%	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	22.9%	31.1%	29.5%	20.8%
5.健康を損ねたときに、心の病に関してスムーズな診察ができる環境があること	38.4%	56.1%	0.0%	40.0%	46.7%	43.3%	54.2%	56.8%	47.7%	32.1%
6.自殺や自殺予防に対する正しい知識を知る機会があること	17.6%	21.1%	0.0%	50.0%	16.7%	26.7%	14.6%	24.3%	15.9%	15.1%
7.自殺未遂時の本人や家族に対する相談窓口やサポート体制があること	15.1%	24.0%	0.0%	50.0%	20.0%	33.3%	27.1%	24.3%	11.4%	7.5%
8.自殺で家族を亡くした方に対する相談窓口やサポート体制があること	10.7%	24.6%	0.0%	40.0%	23.3%	23.3%	20.8%	17.6%	13.6%	13.2%
9.高齢者の孤独を防ぐ対策	39.6%	35.7%	0.0%	30.0%	13.3%	20.0%	18.8%	50.0%	53.4%	37.7%
10.経済面での生活相談・支援の充実	40.9%	38.0%	0.0%	50.0%	43.3%	36.7%	39.6%	52.7%	31.8%	35.8%
11.職場におけるメンタルヘルス対策	20.1%	22.8%	0.0%	50.0%	46.7%	36.7%	20.8%	29.7%	6.8%	9.4%
12.ワークライフバランスの推進	20.1%	22.2%	0.0%	70.0%	50.0%	43.3%	20.8%	23.0%	4.5%	11.3%
13.その他	3.8%	3.5%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	4.2%	1.4%	2.3%	7.5%

問 30 全国の「小中高生の自殺者数」が過去最多の水準になっています。

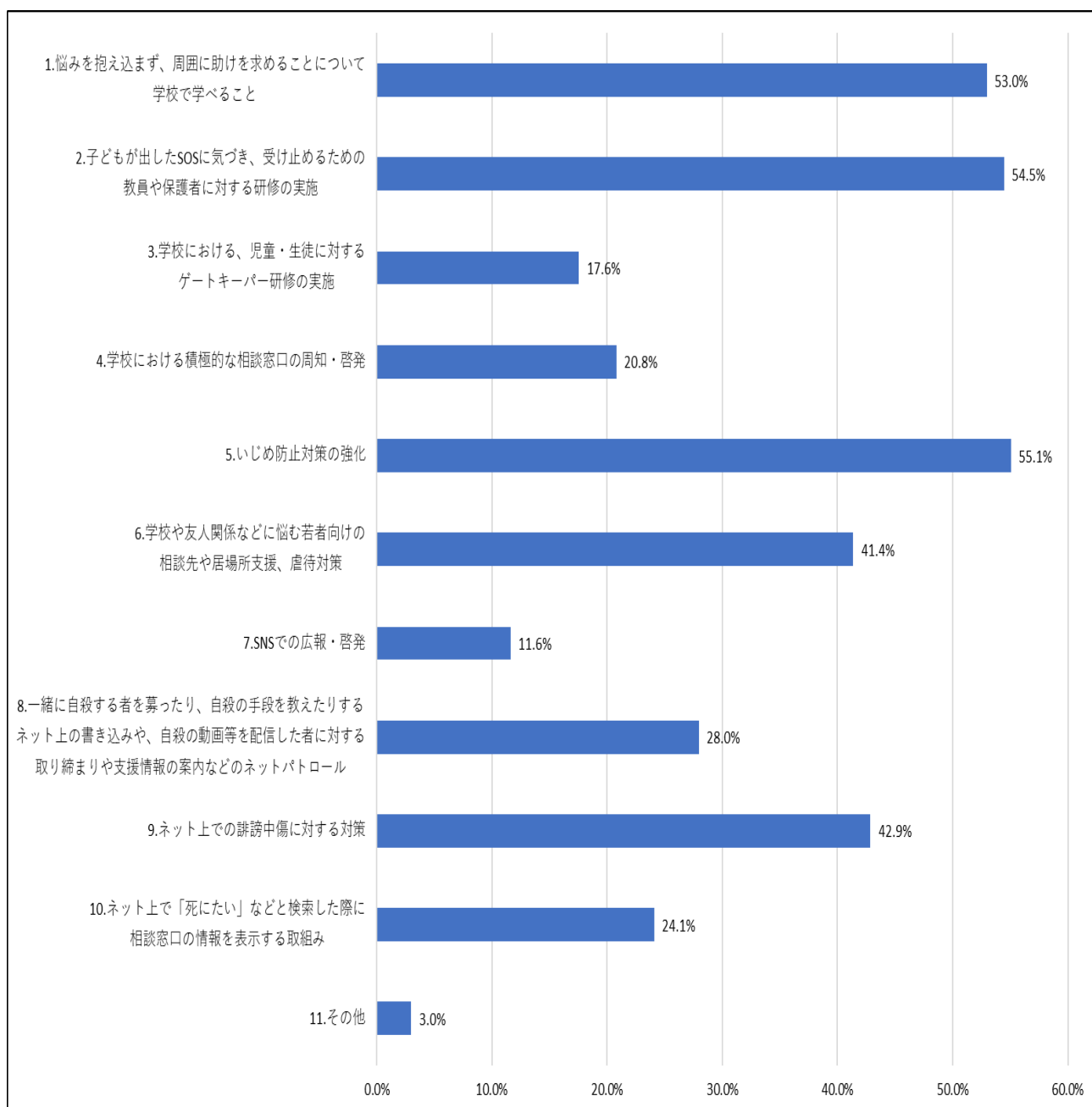
今後、必要と思われる子ども・若者向けの自殺対策は何だと思いますか。 あてはまるものすべてに○をつけてください。

「いじめ防止対策の強化」と答えた方の割合が 55.1%と最も高く、次いで、「子どもが出した SOS に気づき、受け止めるための教員や保護者に対する研修の実施」が 54.5%となっている。

年代別でみると、「20 歳代」から「70 歳代」の各年代において、約半数以上が「悩みを抱え込まず、周囲に助けを求めることについて学校で学べること」「子どもが出した SOS に気づき、受け止めるための教員や保護者に対する研修の実施」が必要だと回答している。

また、「20 歳代」では、「ネット上でも誹謗中傷に対する対策」と答えた方の割合が 70.0%と最も高く、「30 歳代」「40 歳代」において、半数以上が「いじめ防止対策の強化」「学校や友人関係などに悩む若者向けの相談先や居場所支援、虐待対策」が必要だと回答している。

【全体】



【性別・年代別】

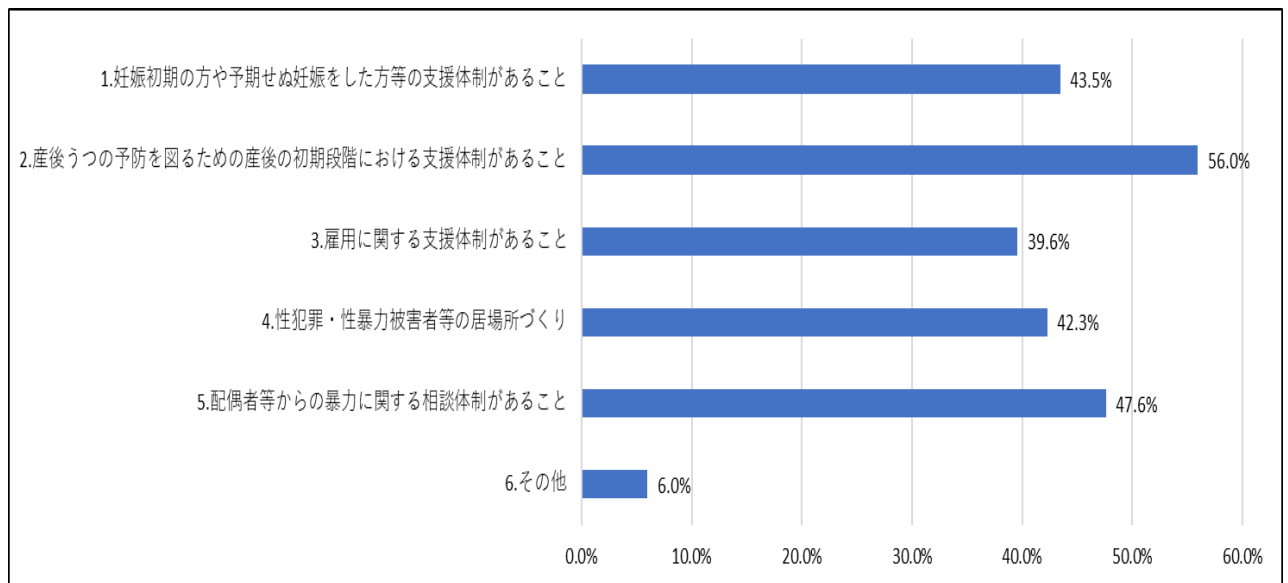
	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1.悩みを抱え込まず、周囲に助けを求めることについて学校で学べること	52.2%	54.4%	50.0%	40.0%	50.0%	53.3%	66.7%	59.5%	54.5%	34.0%
2.子どもが出したSOSに気づき、受け止めるための教員や保護者に対する研修の実施	50.3%	58.5%	0.0%	50.0%	66.7%	53.3%	62.5%	60.8%	52.3%	39.6%
3.学校における、児童・生徒に対するゲートキーパー研修の実施	18.9%	16.4%	50.0%	30.0%	23.3%	13.3%	20.8%	20.3%	15.9%	9.4%
4.学校における積極的な相談窓口の周知・啓発	22.0%	18.7%	0.0%	20.0%	16.7%	10.0%	20.8%	25.7%	23.9%	18.9%
5.いじめ防止対策の強化	52.8%	57.9%	50.0%	20.0%	56.7%	53.3%	47.9%	62.2%	58.0%	52.8%
6.学校や友人関係などに悩む若者向けの相談先や居場所支援、虐待対策	39.6%	42.1%	0.0%	20.0%	40.0%	60.0%	41.7%	47.3%	37.5%	35.8%
7.SNSでの広報・啓発	10.7%	12.3%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	16.7%	16.2%	9.1%	7.5%
8.一緒に自殺する者を募ったり、自殺の手段を教えたりするネット上の書き込みや、自殺の動画等を配信した者に対する取り締まりや支援情報の案内などのネットパトロール	25.8%	30.4%	50.0%	30.0%	33.3%	16.7%	33.3%	36.5%	28.4%	13.2%
9.ネット上での誹謗中傷に対する対策	40.3%	45.6%	50.0%	70.0%	43.3%	46.7%	45.8%	62.2%	37.5%	15.1%
10.ネット上で「死にたい」などと検索した際に相談窓口の情報を表示する取組み	21.4%	26.9%	50.0%	50.0%	20.0%	20.0%	29.2%	28.4%	22.7%	15.1%
11.その他	3.8%	1.8%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	4.2%	1.4%	3.4%	3.8%

問 31 全国の「女性の自殺者数」が2年連続増加しています。今後、必要と思われる女性向けの自殺対策は何だと思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「産後うつを予防を図るための産後の初期段階における支援体制があること」と答えた方の割合が56.0%と最も高く、次いで、「配偶者等からの暴力に関する相談体制があること」が47.6%となっている。

年代別でみると、「18～19歳」と「20歳代」では、「妊娠初期の方や予期せぬ妊娠をした方等の支援体制があること」と答えた方の割合が最も高く、「20歳代」から「60歳代」の各年代において、半数以上が、「産後うつを予防を図るための産後の初期段階における支援体制があること」、「配偶者等からの暴力に関する相談体制があること」が必要と答えている。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1.妊娠初期の方や予期せぬ妊娠をした方等の支援体制があること	41.5%	45.6%	100.0%	90.0%	53.3%	46.7%	45.8%	43.2%	39.8%	30.2%
2.産後うつを予防を図るための産後の初期段階における支援体制があること	52.2%	59.6%	50.0%	70.0%	93.3%	76.7%	60.4%	59.5%	44.3%	32.1%
3.雇用に関する支援体制があること	39.0%	40.9%	0.0%	30.0%	63.3%	40.0%	43.8%	45.9%	35.2%	24.5%
4.性犯罪・性暴力被害者等の居場所づくり	40.9%	42.7%	0.0%	50.0%	50.0%	40.0%	56.3%	50.0%	34.1%	30.2%
5.配偶者等からの暴力に関する相談体制があること	40.9%	53.2%	0.0%	60.0%	50.0%	50.0%	54.2%	51.4%	47.7%	34.0%
6.その他	5.7%	5.8%	0.0%	20.0%	10.0%	3.3%	4.2%	8.1%	4.5%	3.8%

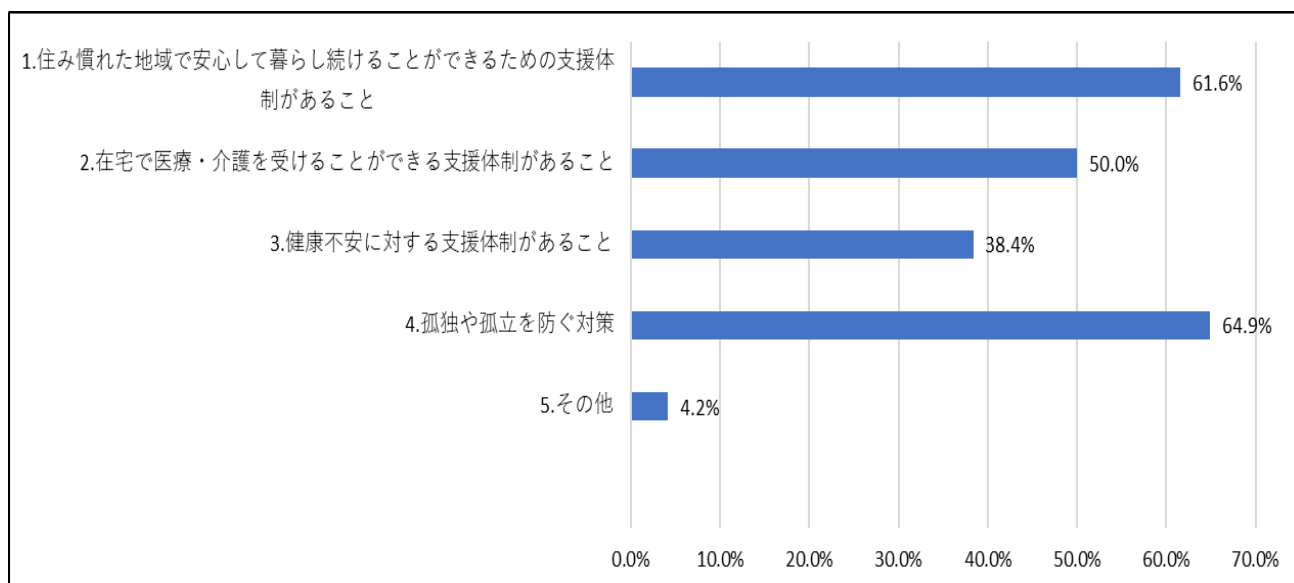
問 32 西都市では、60 歳以上の方の自殺者数が多くなっています。

今後必要と思われる 60 歳以上の方向けの自殺対策は何だと思われますか。 あてはまるものすべてに○をつけてください。

「孤独や孤立を防ぐ対策」と答えた方の割合が 64.9%と最も高く、以下、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるための支援体制があること」が 61.6%、「在宅で医療・介護を受けることができる支援体制があること」が 50.0%、「健康不安に対する支援体制があること」が 38.4% などとなっている。

年代別でみると、「18～19 歳」から「60 歳代」の各年代において、「孤独や孤立を防ぐ対策」と回答した方の割合が高い。一方、「70 歳代」、「80 歳代以上」の各年齢においては、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるための支援体制があること」と回答した方の割合が高い。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1.住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるための支援体制があること	55.3%	67.3%	0.0%	60.0%	56.7%	60.0%	64.6%	62.2%	64.8%	58.5%
2.在宅で医療・介護を受けることができる支援体制があること	45.3%	53.2%	100.0%	50.0%	36.7%	36.7%	43.8%	62.2%	51.1%	50.9%
3.健康不安に対する支援体制があること	40.3%	36.8%	0.0%	30.0%	36.7%	30.0%	37.5%	45.9%	42.0%	32.1%
4.孤独や孤立を防ぐ対策	61.0%	68.4%	100.0%	90.0%	80.0%	63.3%	68.8%	68.9%	59.1%	50.9%
5.その他	5.7%	2.9%	0.0%	0.0%	10.0%	6.7%	10.4%	1.4%	2.3%	1.9%

3. 新型コロナウイルス感染症による影響について

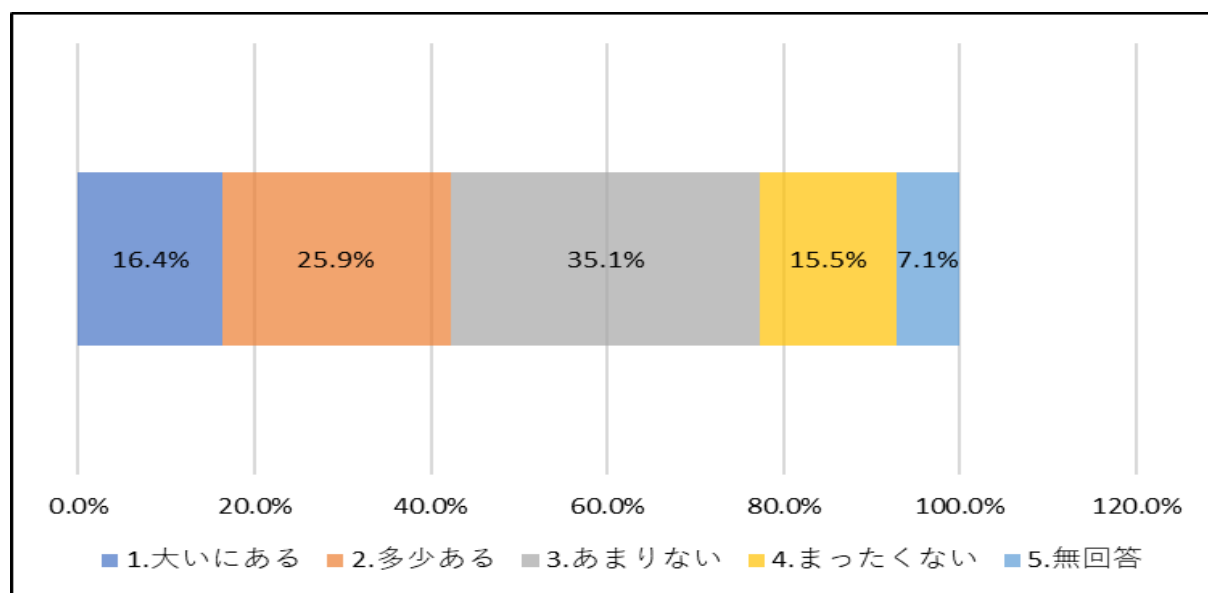
問 33 新型コロナウイルス感染症の発生や感染拡大防止のための対策等があなたのこころの健康状態に影響を及ぼしていますか。この中から 1 つだけに○をつけてください。

「あまりない」と答えた方の割合が 35.1%と最も高く、以下、「多少ある」が 25.9%、「大いにある」が 16.4%、「まったくない」が 15.5%などとなっている。

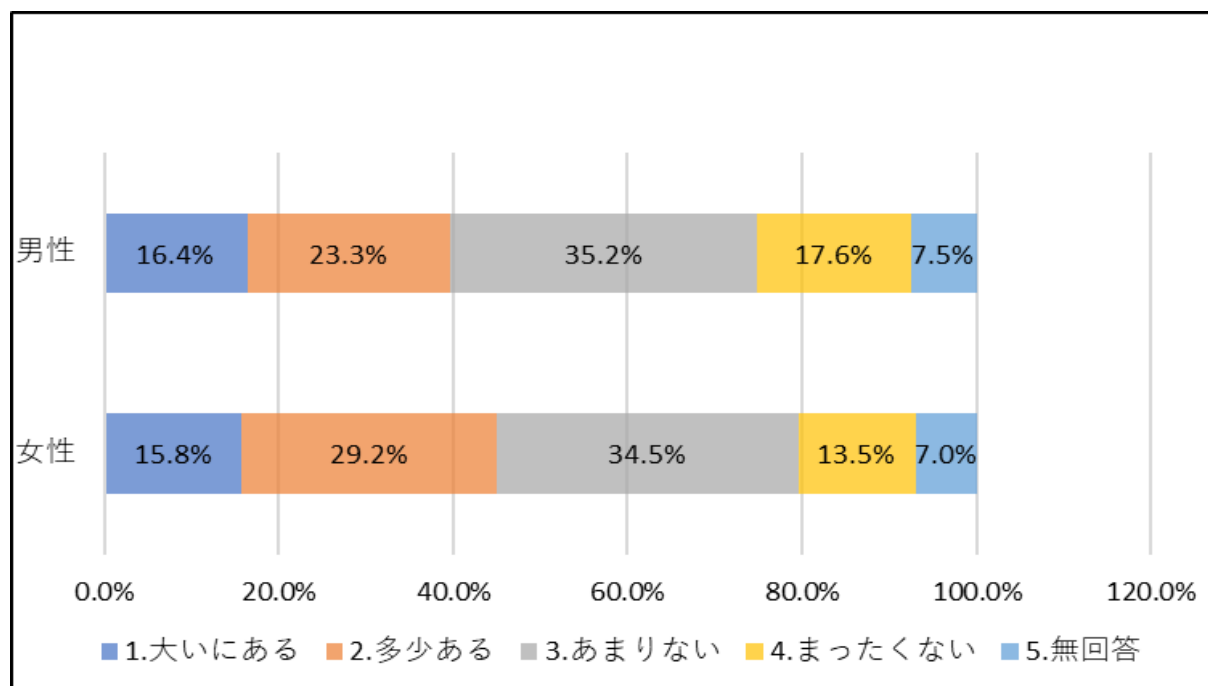
性別でみると、ほとんど差はなく、「あまりない」が男女ともに高い。

年代別でみると、「20 歳代」、「40 歳代」、「60 歳代」の各年代において「大いにある」と「多少ある」を合わせた『ある(計)』と答えた方の割合は、約半数を超えている。

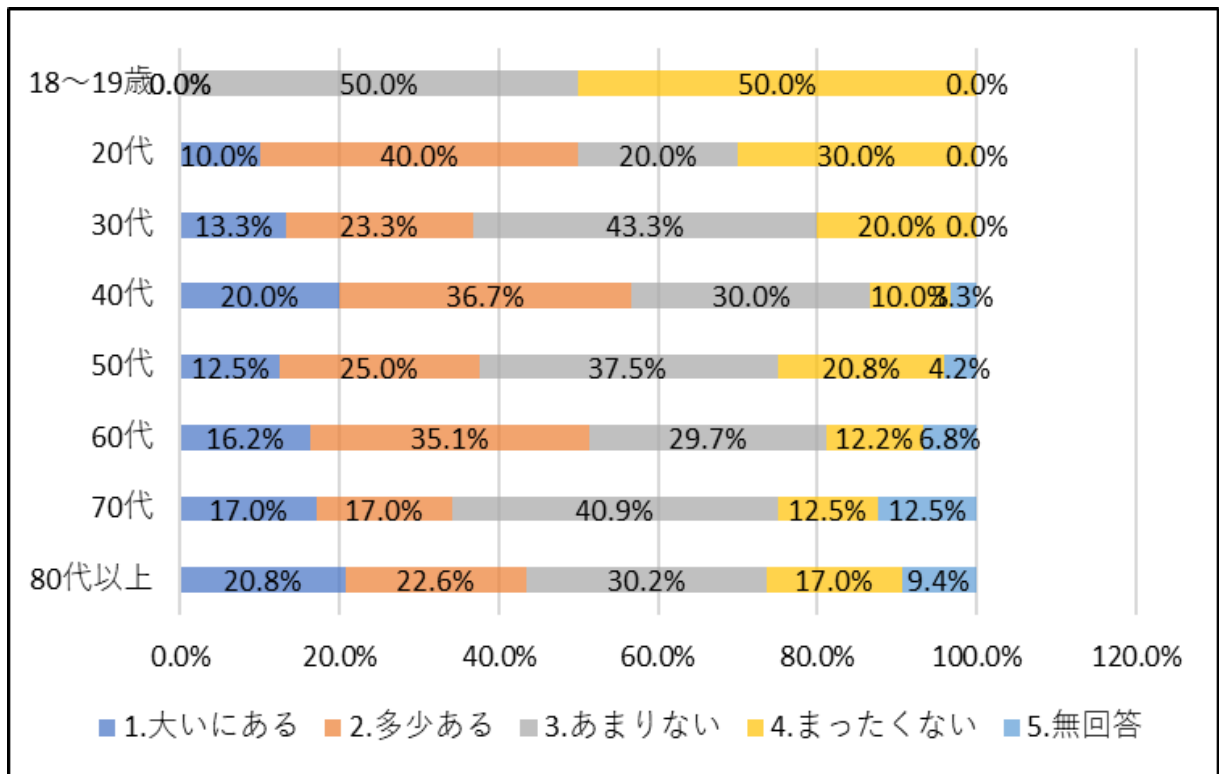
【全体】



【性別】



【年代別】

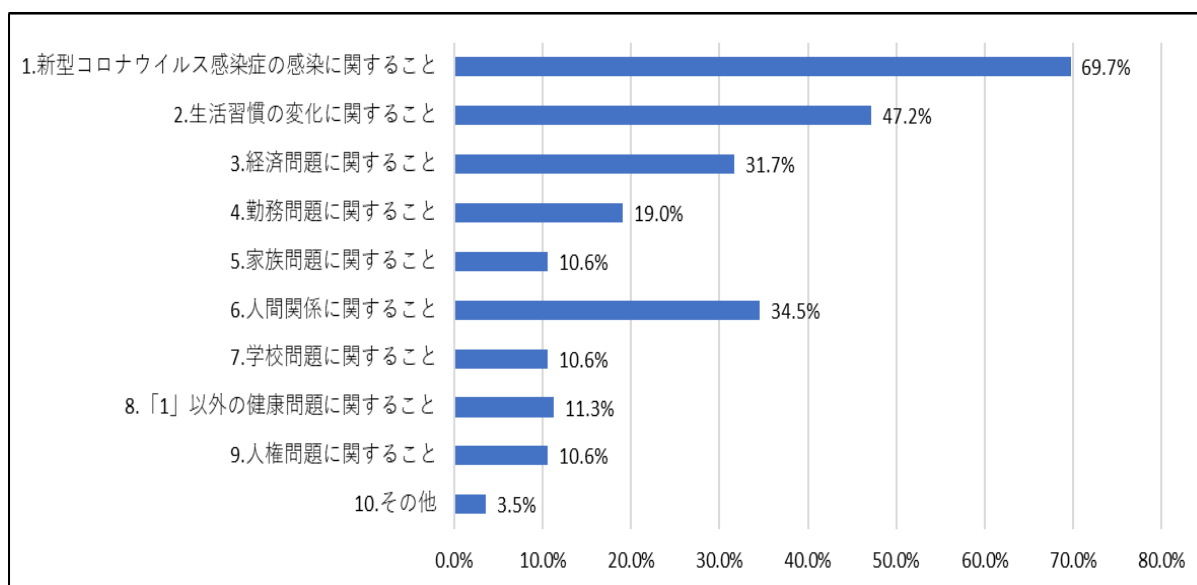


問 34 それは、どのような事柄が原因ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「新型コロナウイルス感染症の感染に関すること」と答えた方の割合が 69.7%と最も高く、以下、「生活習慣の変化に関すること」が 47.2%、「人間関係に関すること」が 34.5%、「経済問題に関すること」が 31.7%、「勤務問題に関すること」が 19.0%、「「1」以外の健康問題に関すること」が 11.3%、「家族問題に関すること」「学校問題に関すること」「人権問題に関すること」がそれぞれ 10.6%などとなっている。

年代別でみると、「18～19 歳」、「30 歳代」を除く年代において、「新型コロナウイルス感染症の感染に関すること」と回答した方の割合が最も高い。一方、「30 歳代」は、「人間関係に関すること」と回答した方の割合が高く、また、「50 歳代」は「経済問題に関すること」と回答した方の割合も高い。

【全体】



【性別・年代別】

	男性	女性	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
1.新型コロナウイルス感染症の感染に関すること	61.9%	76.6%	0.0%	80.0%	45.5%	58.8%	55.6%	81.6%	80.0%	65.2%
2.生活習慣の変化に関すること	50.8%	42.9%	0.0%	40.0%	36.4%	47.1%	50.0%	52.6%	53.3%	34.8%
3.経済問題に関すること	31.7%	29.9%	0.0%	20.0%	45.5%	23.5%	55.6%	28.9%	26.7%	26.1%
4.勤務問題に関すること	19.0%	18.2%	0.0%	40.0%	18.2%	23.5%	22.2%	15.8%	23.3%	8.7%
5.家族問題に関すること	9.5%	10.4%	0.0%	0.0%	27.3%	5.9%	0.0%	7.9%	16.7%	13.0%
6.人間関係に関すること	30.2%	36.4%	0.0%	40.0%	54.5%	35.3%	27.8%	36.8%	36.7%	21.7%
7.学校問題に関すること	11.1%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	29.4%	5.6%	13.2%	6.7%	4.3%
8.「1」以外の健康問題に関すること	12.7%	9.1%	0.0%	20.0%	18.2%	5.9%	11.1%	13.2%	13.3%	4.3%
9.人権問題に関すること	12.7%	7.8%	0.0%	20.0%	27.3%	11.8%	11.1%	2.6%	13.3%	8.7%
10.その他	4.8%	2.6%	0.0%	20.0%	18.2%	0.0%	5.6%	2.6%	0.0%	0.0%